

11. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		旅行代理店（従業員）	・東京オリンピック後に観光回復策が集中的に投下されることを期待している。現状から夏季観光需要の大幅回復は見込めないが、その分、レジャー関連の潜在需要がかなり蓄積しているとみられるため、Go To Travelキャンペーンなどの施策により、市場の景気回復につなげてほしい。
		商店街（代表者）	・ワクチンの普及に伴って、客の行動範囲が広がっていることから、今後の景気はやや良くなる。
		商店街（代表者）	・コロナ禍以前であれば、2～3か月後は出控えの時期となるが、農作業が落ち着く時期でもあるため、周辺地域からの来街者が増加するとみられる。土産、宿泊については余り期待できないが、衣料品、昼間の飲食などで若干の売上アップが期待できる。
		商店街（代表者）	・果物の流通量の増加が見込まれる。雨風などの悪天候による影響が生じない限り、景気はやや良くなる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ワクチン接種が進展することで景気はやや良くなる。夏から初秋にかけての人出はどうしても抑えられないと考えられるため、新型コロナウイルスの感染者は増えるとみられるが、ワクチンの効果で経済活動が上向くことを期待している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染動向にもよるが、消費者の手元資金が蓄えられているようにみえることから、今後の景気は徐々に回復することになる。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響がどの程度出てくるかは予測できないが、来客数が安定して増加傾向にあることから、今後、感染者が爆発的に発生しなければ、ワクチン接種の拡大に伴って、景気は少しずつ回復することになる。
		百貨店（営業販促担当）	・ワクチン接種の進み具合にもよるが、接種を終えた高齢者の来店が着実に増えてきていることから、今後の景気はやや良くなる。秋にはプレミアム付商品券の販売も予定されているため、一定の反動増も見込まれる。
		スーパー（店長）	・2～3か月後には東京オリンピック・パラリンピックも終わり、30～40代のワクチン接種も3～4割は1回目の接種を終えている可能性があることから、今後の景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが終息に向かっていくことが期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染者数の増減に影響を受けている状況はこれまでどおりだが、観光、レジャーを目的とした予約が増加傾向にあることから、今後の景気はやや良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・これまでストップしていた行政の施策が再開されることなどを期待できるため、今後、旅行需要が促進されることになる。
		観光名所（従業員）	・ワクチン接種が進むことで、感染対策をした上での経済活動や余暇活動が今までよりも活発になると期待している。
		美容室（経営者）	・今後、ワクチン接種が進行することで、客の行動が活発になり、経済が活性化していくとみている。現在はシルバー層のワクチン接種が中心であるが、今後、中年層、若年層まで広がっていくことで、現在よりも売上が増加すると期待している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・ワクチン接種が進むにつれて、旅行需要も高まるとみられるため、今後の景気はやや良くなる。
	商店街（代表者）	・コロナ禍の影響が続くことが懸念されるため、今後も景気は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（役員）	・東京オリンピックが始まっていることが消費への追い風になっている。ただ、今後については、どちらともいえないというのが本音である。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあり、今後のまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出の噂もみられるなど、先行きが不透明である。ただ、ワクチン接種が進み、感染者数が落ち着くようになれば、大きく回復する可能性もある。
		スーパー（企画担当）	・今年のお盆の消費動向については、極端な移動自粛がみられた前年とは違い、多少なりとも帰省客が増えるとの予測もあったが、実際には墓参りはするが実家には帰らないという人が意外と多くみられる。消費動向について、非常に読みにくい状況が続いていることから、今後も景気は変わらない。
		スーパー（企画担当）	・高齢者へのワクチン接種が進んでいることで、人流が増加すると考えられる。一方で、東京オリンピックが終わることで消費行動が落ち着くことも考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピックが終わった後の消費動向がどうなるか何ともいえない状況にある。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスについて変異株による感染が増えていることで、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出も視野に入りつつあることから、今後、行動自粛などで景気が下向き可能性もあるが、夏の気温上昇と残暑の影響による売上も見込めるため、全体的な売上は変わらないものとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・今後もまん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出と解除が繰り返されることになる。新型コロナウイルスが終息したとしても元の状況には戻らないことが懸念される。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染動向の先行きが不透明なため、今後の景気を読めない状況にある。
		家電量販店（店員）	・東京オリンピックに伴う需要は期待ほどではなかった。当地の新型コロナウイルスの感染状況は感染拡大までは至っていないが、全体的な感染状況が落ち着くまでは景気が上向くことを期待できない。
		乗用車販売店（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックが終わり、新型コロナウイルスの感染が拡大する恐れがあることに加えて、衆議院選挙などの影響も見込まれることから、年内は景気が良くなる要素が見当たらない。
		乗用車販売店（従業員）	・8月は夏休みやお盆があるため、販売に厳しい面があるが、9月は決算期となるため、売行きは上向くことになる。10～11月はタイヤ交換時期に重なることから、来場者への販売促進が進むことになる。これらのことから、2～3か月先の景気は変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・ここ2か月ほど販売量が停滞気味であり、この先も良くなる要因が見当たらないため、景気は変わらない。
		自動車備品販売店（店長）	・現状の来客数は前年と比べて10%程度の増加傾向にあるが、これ以上の増加となると新型コロナウイルスの感染動向で良しあしが決まってくるため、今後も景気は変わらない。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・東京オリンピックが終わってからのワクチン接種のスピードが景気回復に向けての鍵となる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの感染抑制が不透明であり、先が読めない状況にある。
		高級レストラン（スタッフ）	・2～3か月後には夏のシーズンが終わっている。観光関連の施策が再開されることも考えられるが、東京オリンピック開催後の新型コロナウイルスの感染状況次第の面がある。また、衆議院選挙があると、高級店の売上が低調になる傾向があるため、年内の飲食、観光関係の好景気は余り期待できない。
		高級レストラン（スタッフ）	・当地の地域特性として、新型コロナウイルスの感染拡大傾向にある地域からの客が多くを占めていることが挙げられる。そのため、現在の感染拡大に伴って、ここに来て伸びつつあった来客数が減少に転じることが懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・今よりもワクチン接種が進んでいるとはみているが、2～3か月後の新型コロナウイルスの感染者がゼロになることは考えられない。今年の1月以降、感染者数が増えるか減少するか来客数などに変化がみられないことから、海外のようにマスクをしなくても良い状況が作られない限り、旅行需要は見込めない。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチンの接種率向上が鍵になるとみられる。ただ、これから寒くなる時期を迎えて、感染が拡大しないかが不安である。
		通信会社（企画担当）	・大型店舗での出張販売における今後の集客に懸念はあるものの、毎年秋口に販売される話題の通信端末への需要によってある程度はカバーされると期待している。
		観光名所（職員）	・引き続き今後の先行きに強い懸念を抱かざるを得ない状況にある。とにかくワクチンに期待したいところだが、接種が遅れ気味であることから、少しでも早い接種率の向上を期待している。
		商店街（代表者）	・現状、客は東京オリンピックのことに気が向いているが、単価に対してシビアになってきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が進んでいない状況で、東京オリンピックのマラソン、競歩が実施されるため、人流が活発になることで新型コロナウイルスの感染者が増えることが懸念される。そうなれば、現状よりも景気は悪くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が出てくるのが懸念される。
		スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの感染が一気に拡大してきている。今後については、巣籠り需要は期待できるものの、せっかく回復傾向にあった景気が再び以前の状況に戻ってしまうことが懸念される。
		スーパー（従業員）	・コロナ禍のなか、飲食業、観光業について、回復の見込めない状況が継続することになる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加していることから、今後の景気はやや悪くなる。天候が今よりも良くなるような予報ではないこともマイナスである。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・新型コロナウイルスが終息せず、悪化傾向にあるため、今後の景気はやや悪くなる。
		高級レストラン（経営者）	・観光シーズンに入り、景気がやや上向きにあるとみていたが、新型コロナウイルスの感染者が増えてきたことから、ワクチン接種などが進まない限り、景気は下向きになる。政府が何か新しい対策を採るようになれば違うのかもしれないが、現状、新型コロナウイルスの感染が終息する要素がないため、先行きが不安である。
		高級レストラン（スタッフ）	・前年はGo To Travelキャンペーンなど、観光客を呼び込む施策があったことから、コロナ禍以前に匹敵するような集客を実現できたが、今期に関しては不透明な部分が多い。ワクチン接種もここに来て予約すらできない状況であることから、今後の景気回復はほとんど期待できない。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大によって、サービス業への逆風が強まり、またしても雰囲気が悪くなってしまっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・当地では、8月2～31日までまん延防止等重点措置が適用されることになり、飲食店でのアルコール提供が一切できなくなることから、タクシーの利用も一段と減少することが見込まれる。特に夜間の利用が激減するとみられる。
		タクシー運転手	・今後も新型コロナウイルスの感染拡大が続くとみられ、それに伴い緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの対策が行われることになれば、来客数が減少することになる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスが再び感染拡大してきていることで、何らかの自粛を求められるようになるとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者が増えてきており、今後、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出が行われる可能性が高いことから、今後の景気はやや悪くなる。自治体によるワクチン接種が遅れていることから、客の外出も控えられるようになり、それに伴って景気も落ち込むことになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・委縮してしまった客の購買意欲が上向きにはまだまだ時間が掛かるとみられる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大するとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・東京オリンピック終了後に新型コロナウイルスの感染者が大幅に増えて、第5波が来ることになれば、景況感が相当悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・一時的に盛り上がった東京オリンピックの熱気が冷めて、夏から秋にかけて消費が落ち込むとみられる。新型コロナウイルスの感染再拡大の影響もあり、経済対策がなければ、今後の景気は落ち込むことになる。
	×	商店街（代表者）	・北海道にとって最高の観光シーズンを迎えているにもかかわらず、観光客は全く来ていない。頼みの綱であった東京オリンピック開催も無観客となってしまう、期待していたホテルも、観光関連施設も落胆しており、ショックを隠しきれない状況にある。観光産業への支援は、今年に入ってから何もなく、このままの状態では壊滅もみえてきている。ワクチン接種がある程度進んだ際には大胆な規制解除を実施し、経済を回すようにしないと、北海道の経済は間違いなく壊滅する。北海道の観光シーズンは9月までであり、それまでに何らかの対策を実施しないと冬を越せない状況になってしまう。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・人の流れが増えたことにより、今後1～2か月で首都圏にも、北海道を含めた地方にも感染者が増えることが見込まれる。まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出ということになれば、自粛ムードもあいまって航空機を利用して移動することが難しくなるため、秋までにもう一段階上の落ち込みにつながってしまう。一方で、そうなる前に旅行しようと考えて移動している人も多いとみられるため、現在の人の移動は需要の先食いともみている。
	×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染対策に伴う自粛で客の来店状況が厳しくなるとみられる。一旦ロックダウンをするなどして感染状況をリセットしないと、経済活動もそうだが、働いている社員の安全も守れない。
	×	スナック（経営者）	・今後、景気が良くなるとは考えられない。せめて現状並みの状態に戻るくらいにはなしてほしい。
	×	観光型ホテル（経営者）	・再度、まん延防止等重点措置が適用されることが予定されていることから、今後については一段と厳しい状況となる。知事は必要な措置と発言しているが、補償や経済対策が皆無なため、もはやため息しか出ない。
	×	タクシー運転手	・現在の一時的な観光客の回復による経済効果は限定的であり、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で観光シーズンが終了する頃にはどん底の不景気を迎えることになる。
	×	タクシー運転手	・これから冬に向かっていくなかで、景気はますます厳しくなる。新型コロナウイルスの終息がみえない限り、今の状況と横ばい又は悪化で推移することになる。
企業動向 関連 (北海道)		通信業（営業担当）	・ワクチン接種の進展によって経済活動が本格的に回復することが見込まれ、景況感は現状から大きく改善する。
		家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善することになれば、景気はやや良くなる。
		建設業（経営者）	・手持ち工事量が膨らみ、稼働率が高水準となる。ただ、油、木材、鋼材などが値上がりしていることから、納期や採算に影響が生じることが懸念される。また、例年のことではあるが、人手不足がどの程度になるかはっきりしないことも懸念材料である。
		金融業（従業員）	・コロナ慣れや東京オリンピック・パラリンピック開催によるマインド改善などから人の動きが活発化しており、低調なサービス消費の持ち直しが見込まれる。また、ワクチン接種の進展による景気押し上げも期待できる。このため、感染爆発のような状況とならない限り、3か月後の道内景気はやや良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		司法書士	・ワクチン接種が進むにつれて、人や金の流れがスムーズになり、景気が徐々に回復することになる。ただし、現在、ワクチン接種の予約ができない状況にあり、希望者にワクチンが行き渡るまで、まだまだ時間が必要とみられることから、急激な回復までは見込めない。新型コロナウイルス発生以前の水準に回復するには相当の時間が必要とみられる。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続いているなど、引き続き新型コロナウイルスの影響が懸念されるものの、ワクチン接種の進展に加えて、感染対策を行いながらの経済活動も定着化しつつあることから、今後の景気はやや良くなる。公共工事などの経済対策が順調に発注されていることもプラスである。
		食料品製造業（従業員）	・景気が上向きような案件が見当たらない。
		食料品製造業（従業員）	・3か月後も現状と変わらないことが見込まれる。
		建設業（従業員）	・新規案件情報が上がってこないなど、例年よりも悪い状態にある。そのため、今後も受注量は変わらないまま推移する。
		輸送業（支店長）	・ワクチン接種が進んでいるものの、まだ数か月は新型コロナウイルスの感染者の増加と減少を繰り返す不安定な状態が続くとみられることから、今後も景気は現状と大きく変わらないまま推移する。
		司法書士	・東京都を始めとした首都圏や地方都市での感染拡大が進むことで、再び緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用が行われることが懸念される。政府も新型コロナウイルス対策で手一杯で、景気回復のための施策に手が付かない状況にあるため、景気回復には相応の時間が必要な状態にある。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・現在動いている公共工事、整備新幹線延伸工事、再生可能エネルギー関連工事、民間プロジェクト工事などはしばらく継続する案件であるため、今後も景気は変わらない。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・今後も大きな変化はないとみられるが、引き続き新型コロナウイルスの影響を注視している。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・ものづくりの現場では、新型コロナウイルスの影響がそれほど大きくない。東京オリンピック・パラリンピックが終われば、市場が活発に動くといった話をよく聞くため、今後の景気が少しずつ良くなる可能性もある。
		建設業（役員）	・年度後半分の新規受注がなかなか決まらない。新型コロナウイルスの感染再拡大が設備投資需要の回復を妨げるのではないかと懸念が大きくなりつつある。
	×	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・受注先の会社も含めて、下期の契約が減少するのではないかと懸念が出始めている。
雇用 関連 (北海道)		-	-
		求人情報誌製作会社（編集者）	・農産物の収穫が終わっている時期であり、新型コロナウイルスが終息に向かうことになれば、人の流れが良くなり、景気も良くなっていく。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染者の急激な増加及び緊急事態宣言の発出は企業経営者や労働者のモチベーションを停滞させる要因となりうることから、今後の求職者の転職活動にブレーキが掛かることを懸念している。ただ、企業の求人意欲が大きく落ち込むことはないとみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染が一段と拡大しており、ワクチンとのせめぎ合いの構造となっている。今回の第5波が最後の大波と分かれば、今後、採用活動が一気に活発化するとみられる。いずれにしても東京オリンピック終了後の感染状況次第である。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種が進まない限り、今までのように景気や人の動きが良くなりかけては悪くなるという状況が繰り返されることになる。現状への諦め感も漂っており、東京オリンピック後の人の動きや景気の先行きは見通しづらい。インバウンドが戻ってこない限り、景気回復には相応の時間が掛かることになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種の効果で9月以降に飲食、観光業界の景況感が好転する予感もあったが、第5波の影響次第である。また、雨不足によって農作物の品質や収穫量に影響が出てこないかが心配である。
		職業安定所（職員）	・2～3か月後の状況が改善しているとは考えづらく、それほど大きく変わらないものと捉えている。ただ、10月の最低賃金の改定に当たって、結構大きめの金額での引上げが予定されており、企業の負担が重くなるのが懸念される。
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年から9.6%増加し、新規求職者数は前年から9.2%減少した。6月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント上回る0.84倍となり、当面は現在と同程度の水準で推移するとみられる。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で需要が低迷する一部の業種において不安定な動きが継続しており、予断を許さない状況にある。
		職業安定所（職員）	・管内における新型コロナウイルスの感染者は多くはないが、雇用調整助成金の申請が増えてきているなど、影響が続いていることから、今後も景気は変わらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・長引くコロナ禍に対する国の対応がちぐはぐなこともあり、景気を後押しする要因がほとんど見当たらない。首都圏と異なり、大手企業や老舗企業の少ない北海道では、大学生にとってどうしても内定を得たい企業が少ないため、学生のがむしゃら感もみられず、学生にとってつらい就活が2年連続で続くことになる。
		*	*
	×	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)		観光型旅館（スタッフ）	・いよいよ若い世代でもワクチン接種のスケジュールについて話題が出てきた。ワクチン接種済みの世代が広がり、行動範囲が広がると予測される。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種拡大により新型コロナウイルスの感染が収束することを期待している。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・暑さに加えて、ワクチン接種が増えていけば、客も少し安心して、今まで出てこなかった人も出てくるのではないかと期待している。
		百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が若年層にも進むにつれ需要が上向くと考える。
		百貨店（経営者）	・数か月後にワクチン接種が進んでいることを前提に、消費意欲は上向きになってくる。ただし、モノ消費から旅行などのコト消費へも拡大していくことから、回復する速度は期待するほど早くはないとみている。
		スーパー（経営者）	・ワクチン接種が進み、出歩きやすい状況になるとみている。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進むので景気は少しずつ良くなるとみている。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進めば、週末の来客数上昇が見込める。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種も進むため、購買意欲が増すと予測される。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進むことで景気は改善に向かうとみられるが、人の動きがアウトドアからリモートワーク等インドアに向いていることから、コロナ禍前の状況に戻ることは難しいと考える。
		衣料品専門店（経営者）	・全国的にワクチン接種が進み、出掛けられる状況になり、秋冬物の立ち上がりで少しずつ活気が出てくるとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種が進み人の動きが出てくれば、徐々に景気回復していくと予測する。
	家電量販店（店長）	・ワクチン接種が高齢者を中心に完了し、若者の接種も始まっている。それにより客の購買意欲も増してくるとみられる。今のところマスクをした状態で買物していただくといった環境は変わらないが、今後、客の楽観的な購買意欲が増してくると思われる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店長）	・今の状況は隣接市が発行したプレミアム付商品券の影響が少なからず出ている。終了時は回復すると予想している。
		住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、受注営業により2～3か月後の生産量を確保しているため今月よりはやや上向く。
		観光型ホテル（スタッフ）	・ワクチン接種が終了次第、宿泊希望の客足は伸びるとみている。
		観光型旅館（経営者）	・感染者数の増減で変わるが、ワクチン接種も進んでくるので今よりは良くなるとみている。
		観光名所（職員）	・2～3か月後の景気であれば若干上向いてくるとみている。ワクチン接種が進み、外を出歩きたいという客がどんどん増えてくる。また、今まではリスク回避が主であったが、ある程度のリスクを覚悟しながら出歩くという人も増えているようである。
		商店街（代表者）	・秋になってもワクチン接種は進まず、地元の行事はまだまだ自粛が続くとみている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がこれ以上拡大しなければ東京オリンピック終了後は景気が良くなると予想する。しかし、非常に悲観的な状況なので更に厳しさが続くとみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・今月は東京オリンピックや暑さなど、少し上向きになるような要因がある。しかし、この先また新型コロナウイルスのネガティブな報道ばかりを耳にすることを考えると期待はできない。現状維持をしていくのがやっつである。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・来客数が少なくなっているのは、同業者間の競争が激しくなっているためとみられ、値下げ競争とは関係ない品物の売行きは落ちていない。景気の地力はそれほど弱くはないとみている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスにより、飲食業はもとより観光業にまで影を落としており、夏の盛りにはたたまれない。地元で活気が出て潤わないことには、当業種に目を向けてもらうことも難しい。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種も進み、安心感が出てくるとともに人の動きが出てくる可能性はある。しかし、現在の来客数や購入量の動きからは、購買動向への積極的な変化はみられない。
		百貨店（買付担当）	・今のところワクチン接種以外に好転する要素は見当たらない。
		スーパー（店長）	・来客数と客単価の減少が続いている。ワクチン接種の進捗率も関連しているとみている。
		スーパー（企画担当）	・いまだコロナ禍は続いている。前年ほどではないが、食品小売業に関してはまだ高水準で売上をキープしている。
		コンビニ（経営者）	・ワクチンへの期待にはなるが、ベースとなる客単価や買上点数は堅調でプラスに推移しているため、人の流れ次第である。日中の売上は戻っているが、夜間の動きがまだ戻らない状況が続いている。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進めば人の動きも少し活発になってくる。しかし、変異株の影響で人の動きが鈍いようなので、2～3か月後もそれほど期待はできない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか分からない。景気が良くなるのはまだ先になるとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が減少に転じるまで状況は変わらないと推測される。
		衣料品専門店（経営者）	・東京オリンピック開催も本県には関係なく売上には結び付かず困惑している。お中元商戦も前年割れの状態である。飲食業では酒類の売上は前年の5割減である。
		衣料品専門店（店長）	・2～3か月の間では帰省客を中心としたお盆マーケットがある。高齢者のワクチン接種が終わり、おじいちゃんおばあちゃんのところに行ってもいいねという空気になっていたのだが、首都圏での感染者数増加によって、また閉鎖的な8～9月を迎えるのではないかと危惧している。
		衣料品専門店（店長）	・東京オリンピック後の第5波の感染状況から再び消費に慎重になる客が多くなる反面、ワクチン接種が進み、少しずつ消費に前向きな客が増えてくると予想される。
		衣料品専門店（総務担当）	・コロナ禍のなか同じすう勢であり、収束の兆しが見えるまでは同じ状況が続くと考えられる。
		乗用車販売店（従業員）	・ボーナスが出たり東京オリンピックが始まったりして景気が良くなるかと思っただけ、販売量がなかなか増えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・新型車効果もあり受注量は増えてきてはいるが、半導体の問題もあり長納期の車種もある。生産調整等もあるので、受注が売上に反映されるまでに時間が掛かる。現状維持が精一杯である。
		乗用車販売店（店長）	・サービスを含んだバリューチェーンの業績が前年並みをキープできているので、新車納期の改善が待たれる。
		自動車備品販売店（経営者）	・秋の紅葉シーズンになるが、ワクチン接種が進まないなか感染者数も急増しており、見通しが立たない。
		住関連専門店（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が多大である。感染者数も増えてきているので、急激に回復するという事はあり得ない。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・ワクチンの接種が増えていくが、東京オリンピックによる新型コロナウイルス感染者数の増加が懸念される。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・ワクチン接種で多少は人流が戻るかとは思いますが、それでも通常に戻るにはかなりの時間が掛かるとみている。また、閉店してしまった店も相当数あるようなのでとにかく制服に関しては良い材料がない。今後はスタッフの数も減ってくる事が予想されるので余計に不安である。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況と日常生活のせめぎ合いになると思われるが、このままの状態であれば、何とか景気を維持しながら進めていくことになるかと考える。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がある程度の収束を見ない限り、業界が良くなることも店が良くなることもあり得ない。
		高級レストラン（スタッフ）	・グループ、複数での宴会、食事は現状見込めない。宴会場の使い方を抜本的に変えなければならない。
		一般レストラン（経営者）	・しばらく前だとワクチン接種が進めば来客数も自然と増えるのではないかと期待していたが、ここに来て感染者数が過去最多を更新したこともあり、今しばらくは客が来られない状況が続くのではないかと予想している。年内は厳しいのではないかとみている。
		観光型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピックの開催中は国民感情的に動こうとは思わないのではないかと。
		旅行代理店（従業員）	・夏休みだというのに新型コロナウイルスの感染者数も増加傾向であり、旅行に行く雰囲気になくなっていない。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種は順調に拡大傾向にあるものの、年初に描いた下期以後徐々に海外旅行が段階的に緩和のシナリオは依然全く描けない状況である。加えて、国内旅行においても不透明感がぬぐえず、大変厳しい状況である。秋口以後に、より力強い回復の兆しが出てくるものと想定し各種施策を実施、展開中である。
		タクシー運転手	・一度慣れてしまった生活環境は急に変えることができないと考える。消費が活性化するには時間が必要なので、一般市民の動向から判断すると景気は変わらないと推察できる。
		通信会社（営業担当）	・好転する材料に乏しく、現状のまま変わらないとみている。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン効果が出始める期待感はあるものの、東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染拡大の見方もあり、何ともいえない。
		通信会社（営業担当）	・放送サービスの契約者は、東京オリンピック需要もあり底上げされた分、2～3か月後にはその反動で減少すると予想される。人流が一気に増えていき外出者数の増加が見込まれるため、自宅利用でのWi-Fiを中心とした通信サービスも大きな増加は期待できない。ただ、新規サービスエリアの拡大があるので若干の加入者が期待される。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まりそうにない。
		テーマパーク（職員）	・現在の来客数に東京オリンピックや緊急事態宣言の影響はなく、やや良い状況である。しかし、修学旅行シーズンになると新型コロナウイルスの感染者数に左右されるので、また以前の状況に戻るとみている。
		遊園地（経営者）	・東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染状況次第だが、レジャーへの影響が非常に心配される。ワクチン接種が進むことに期待するしかない。
		競艇場（職員）	・ほとんどのイベントが中止になっているので、来場を促進することができない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数は増加傾向にあるが、ワクチンの接種率によって大分変わってくる。そう考えると、3か月後くらいでは大幅な改善は厳しいので、しばらくは現状が続くとみている。
		美容室（経営者）	・固定客が決まったサイクルで来店するので変わらない。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅受注は相変わらず低迷しているが、賃貸への投資客があり、鉄筋コンクリート造りの集合住宅の受注が続いている。
		その他住宅[リフォーム]（従業員）	・住宅設備機器は特別定額給付金の給付の効果がみられた前年のような状況は見込めない。リフォームは大型工事の問合せが少し増えてきている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増える限りは悪くなる。この先の予約数等をもても増える様子がない。
		商店街（代表者）	・ワクチンの接種が全体的に遅れ、変異株等により新型コロナウイルス感染者数が県内でも増加傾向にある。景気回復には時間を要する。
		スーパー（経営者）	・8月は変異株の感染拡大のスピードが高まり、来店頻度も低下するのではないかと危惧している。ワクチン接種スピードも鈍化しているので、この消費の低迷はこれまで同様にしばらく続くものとみている。
		スーパー（店長）	・ワクチンの接種率がどの程度増加しているかが買物動向にも影響してくるとみている。それゆえに2～3か月後の予測は立てにくい。
		スーパー（店長）	・東京オリンピック、夏休み、お盆の期間の売上への影響は前年よりもあるが、以降はまた落ち着くとみている。
		スーパー（営業担当）	・前年もコロナ禍でのお盆、夏休みであったが、今年の帰省も新幹線予約状況は通年の25%程度である。内食需要で伸長した生鮮も陰りが出ているなど、全体的にはやや悪くなる要素が大きくなっている。
		スーパー（営業担当）	・お盆の帰省は少ない。東京オリンピック後の緊縮財政、新型コロナウイルス感染者数の増加状況によっては巣籠りが拡大してくるのではないかと。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックが開催されていることは良いとしても、恐らく感染拡大は8月一杯続き、感染者数は過去にないくらいの数字になるのではないかとみている。2～3か月先はその収束によるし、ワクチン接種も進むと思うが、今の時点では良くなるとは考えにくく、むしろ悪くなっていくのではないかとみている。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染者数の増加が懸念され、緊急事態宣言の解除が難しい。
		家電量販店（従業員）	・東京オリンピックに対する特需が徐々に少なくなってきて、8月を超えるとほぼなくなってしまう。
		乗用車販売店（従業員）	・現在、販売量、売上に大きく影響は出ていないが、一時工場閉鎖等があり、今後納期に影響が出てくるため、年末の売上台数に多少不安がある。
		その他専門店[ガソリンスタンド]（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、今以上に販売量は落ちると予想される。
		その他専門店[ガソリンスタンド]（営業担当）	・県内での新型コロナウイルス感染者数も増えており、自粛規制が発動されて景気にも影響があるのではないかとみている。
		旅行代理店（従業員）	・夏休みでの売上が伸びず、秋シーズンの売上が仮に伸びたとしても夏休みの売上減少分をカバーするには到底追い付かない状況であり、旅行業としての景気は現状よりも悪化傾向にある。前年度はGo To Travelキャンペーンにより売上減少の補填があったものの、このまま予約状況が回復しないとなれば前年度を大きく下回る結果になる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くとみている。雇用の悪化と、小売業、観光業の先行き不透明から、消費動向はまだまだ下がり気味の状況が続くとみている。また、最低賃金の引上げにより経営者の負担が増すことで残業カットになれば、実質賃金は不透明になる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続く。特に東京オリンピックも開催され人流が増加し、東京隣接県も含め右肩がりに推移している。ワクチン接種の効果で感染者数が激減するまでは当面景気は悪くなる方向に行く。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・東京オリンピックを機に上向くかと期待していたが、コロナ禍の危機は拡大するばかりである。頼みのワクチン接種も進んでいない状況では、秋に向けてもっと悪くなるのではないかと不安が募る。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見えない。ウッドショックによる木材の継続的な高騰を考えると景気の改善は難しいとみている。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、住宅購入を検討する新規来場者の動きが鈍化するとみている。
	×	商店街（代表者）	・現在の東京の感染者数をみると地方でも感染者数が増えることが懸念される。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・現在の東京の状況をみていると、東京オリンピックの終了後は新型コロナウイルス感染者数が拡大することが予想されるので、再び街の経済は暗闇に突入すると考える。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの第5波が地方にも波及し、なおかつ人流が止まることによって、客の買い控えが起こる。
	×	コンビニ（経営者）	・最低賃金のアップが発表されたが、28円アップすると経営的にかなり厳しくなる。本部も無策だろうし、あとどこを削ればいいのか分からない。ワンオペやオーナーの長時間労働が更に増えてくるのではないだろうか。当然店のレベルやサービスは下がる。それを本部は許してくれるのだろうか。辞めていくオーナーも増えると思う。コンビニのフランチャイズパッケージも限界がきている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・予想はしていたが、東京オリンピック・パラリンピックで感染者が激増している。ワクチン接種が進んだとしても2～3か月で状況が収まるとは思えない。政府の取引停止等の外れな対応ではなく、地元自治体も含め、理屈の通った現実的な対策がなければ期待できないと考える。
	×	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種の広がりが一番の景気の回復かと思うが、今年一杯は期待できない。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数がどんどん増えてきている。このような状態が続くと、また緊急事態宣言が続くので、良い流れになるとは思えない。
	×	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックが感染を拡大させているかは判断が難しいが、人の動きが活性化すると新型コロナウイルス感染者数が爆発的に増えているのは間違いない。現在の部分的な制限だけでは押さえ込むのは無理なので景気は下がるしかない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの変異株が出てきているが、今の時点で収束がはっきりしない点が気になる。今後の政府の対策なり動向を注視していく必要がある。
企業 動向 関連 (東北)		建設業（企画担当）	・今の景気の下振れリスクについては、新型コロナウイルス感染症の拡大いかんである。ただ、ワクチン接種は進んでおり、東京オリンピックも始まっているので、これで感染症が落ち着いてきたらそれを契機に上向くものとみている。
		食料品製造業（営業担当）	・プライベートブランド商品の依頼が前年より多い。1つ1つの売上規模は小さいが、良い方向へ動きつつあるように感じている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ワクチン接種に期待している。
		金属製品製造業（経営者）	・受注予測に明るさが出てきている。
		通信業（営業担当）	・人気の機種の新規発売の時期のため、購入が増える見込みである。
		金融業（広報担当）	・一次産品の出荷量がピークを迎える時期である。また、ワクチン接種率アップによる国内観光ニーズの高まりが期待できる。
		広告業協会（役員）	・ワクチン接種が順調に進み、生活するなかでの安心感が生まれる状態になれば、購買意欲も活発になり、販売促進費の増大が期待できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が更に進めば、経済にも変化が出てくるのが予想される。
		公認会計士	・建設関係の業績が少し悪くなっているので心配なところはあるが、ワクチン接種が進めばサービス業、小売、飲食関係の需要が回復し、全体として景気回復が進むとみている。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・東京オリンピックが何事もなく成功裏に終われば通常の生活に戻る。それと同時にワクチン接種が進めば、良くなるのは当然である。
		農林水産業（従業者）	・ももの最盛期が前年より4～5日早くなり、梅雨が明けてからの天候も心配していたよりも良かったので、品質が良く期待が持てる状況である。単価が良くなると予想している。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の再拡大次第でどうなるか先が見えない。緊急事態宣言が再度出たりすると売上はまた減少する。いつまで繰り返すのだろうか。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・東京オリンピックは一部を除き無観客で開催されており、景気浮揚の起爆剤には程遠い。夏の花火大会や、祭りも自粛傾向が強く、ワクチン接種の進捗もここに来て足止め状態である。景気が良くなる実感がない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・東京オリンピックが始まったが、景気に大きく影響するような変化はないとみている。クリスマス商戦が近づくころには変化が現れると予想している。
		建設業（従業員）	・現状では想定される変動要因で大きなものは見込めない状況である。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染は既に第5波に入ったといわれ、新型コロナウイルス感染症対策専門家は、8月はまだまだ増えるとの予想をしている。このような状況だと少なくとも8～9月は景気が良くなるとは思えない。
		通信業（営業担当）	・新規契約につながらなくても、様々な形で客に寄り添う姿勢で接していくのみである。
		金融業（営業担当）	・ワクチン接種が進むまでは厳しい状況が続くことが見込まれる。
		広告代理店（経営者）	・引き続きイベント関連業務の中止等の懸念がある。
		経営コンサルタント	・ワクチン接種の停滞もあり、消費マインドが上向かない。
		司法書士	・変動要因に欠けるため現状維持が想定される。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・ワクチン接種の広がりが鍵とみるが、若年層にまで接種が広がるには、年内一杯掛かるのではないかと予想している。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・この2か月は地域の景況に明るさがみられたものの、町全体としての呼び込み素材に限度があることから、景況がこれまで以上に良くなることは考えられない。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・業種、業態により若干の温度差がみられるものの、総じて受注案件、受注量共に大きな変化はみられない。
		農林水産業（従業者）	・ここ最近の降雨不足と高温により、米やその他の作物の生育が悪影響を受けると予想される。
		食料品製造業（営業担当）	・ここに来てまた新型コロナウイルスの感染者が急増している。観光需要の早期回復を目的とした各施策もしばらくは動かないのではないかとみている。東京オリンピックが終了し、ワクチン接種が進むことで回復することを期待したい。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・公共事業や民間投資の減少により、しばらくは減少傾向が続く見通しである。
	コピーサービス業（従業員）	・物流関係及び一部仕入商品の値上げの案内がきており、コストアップに頭を悩ませている。販売金額に転嫁していく予定ではあるが、新型コロナウイルスの影響を考えるとそう簡単には上げられない。しばらくは我慢するしかない状況である。	
	x	-	-
雇用 関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	・某県への長期かつ保険加入の派遣員数が100名の大台に到達している。この長期契約は今後の2～3か月の景気を支える基盤となる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今後、若年層までワクチン接種が進み、東京オリンピック・パラリンピック終了後も感染拡大が抑えられていれば、人の動きは一気に活発化し経済は動き出すとみている。多くの企業がそのように予測し、そのときの準備をしている。
		人材派遣会社（社員）	・求人数は増加傾向にある。募集背景にも前向きに事業を成長させるための計画によるものが増えてきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・大手製造業の工場や大型商業施設の進出が決まり、大量の求人が見込まれる。
		職業安定所（職員）	・新規求人数と有効求人数を前年6月と今年の6月と比較すると、新規求人数で約300人、有効求人数で約1100人増加しており、前月に続いて増加傾向がみられる。特に新規求人数は前月より約900人増加している。
		職業安定所（職員）	・小さい店舗の廃業がみられるものの、全体としては新型コロナウイルスの影響が収まってきている。東京オリンピック後の感染者数が今後の景気を左右しそうである。製造業における設備投資については上向きの声が聞こえる。
		学校〔専門学校〕	・ワクチン接種が進むことで、人の動きが増え、イベントや行事の実施が拡大すると予想される。
		人材派遣会社（社員）	・新しいビジネスやサービスを開始するなど、飲食店や専門商社、小売といったいろいろな企業が工夫をしていることで、上向きの情報もみられる。しかし、東京オリンピックの開催により感染者数が増えている。プラスとマイナスの要素が相殺されて、それほど変わらない状況がしばらく続くのではないかとみている。
		人材派遣会社（社員）	・東京オリンピックが行われることで、人の動きや経済の動きが多少ある。しかし、9月以降は、新型コロナウイルスへの対応や企業の動きによっては採用や増員の考えが少なくなる可能性もあるので、大きな変化は見込めないと考えている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染、東京オリンピック開催の影響、ワクチン接種遅れなど不確定要素が多く見通せない。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種率は上がってきているが、すぐに景気に影響するとは思えず、現状維持の傾向が続くとみられる。
		アウトソーシング企業（社員）	・新型コロナウイルスの終息がみえない限り変わらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチン接種が進めば経済活動も活発になるが、東京オリンピック開催後の感染拡大が懸念される。
		職業安定所（職員）	・ワクチン接種が徐々に進んでいても、新型コロナウイルス感染症拡大はまだまだ収まる気配はなく一進一退が続いている。経済活動にプラスになる勢いをつくにはもう少し時間が掛かるのではないかと懸念される。
		*	*
	x	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピックの影響から、新型コロナウイルス感染者が更には増える見込み。結果として、飲食を含め観光業界は更なる悪化が想定される。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)		百貨店（店長）	・現状の傾向に加え、新型コロナウイルスのワクチン接種が拡大していけば、感染防止に一定の効果が現れ、人流が更に拡大すると推察する。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が拡大しており、更に経済が落ち込むのではないかと心配している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス次第とみている。ワクチン効果で生活が正常に戻ることを期待したい。しかし、夜間の交通量の減少、リモートワークの定着化等、生活様式が大きく変わったので、新しいビジネス対応をしなければいけない。
		コンビニ（店長）	・今月は夏祭りがほぼ中止同然の催行だったので、来客数もかなり減少している。秋にはプレミアム付商品券の発行もあるようなので、少しは持ち直すのではないかと懸念される。
		一般レストラン（経営者）	・海水浴客の流入や、東京オリンピックによるテイクアウト需要が増えることを期待したい。
		都市型ホテル（総支配人）	・今のところ8～9月は、学生やプロスポーツ団体の予約が多く、このまま実施されればの条件つきだが、やや良くなると見込まれる。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が行き渡ってくれば、秋の行楽シーズンに間に合う可能性がある。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の浸透により、需要が増える見込みである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの感染者数が爆発的に増加すれば話は別だが、過ごし方に慣れてきているので、緩やかに景気は良くなると思う。
		商店街（代表者）	・通常、年金支給月は売上に期待が持てるが、若い方々への新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗次第で、良くなるのではないかと。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・秋口には新型コロナウイルスのワクチンが行き渡って、人々が動くことができるようになってはいるが、まだまだではないかと。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・当店で一番取引の大きい結婚式場、ホテル等の買上が増えない限り、今の状態が続いていく。とにかく、宴会、結婚式等は、ほとんどない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種拡大により、外出への抵抗感の緩和や消費拡大が期待される。一方、足元では再び新規感染者数が拡大傾向にあり、先行きは依然不透明である。向こう2～3か月では、景況の回復には至らない。
		百貨店（営業担当）	・食料品はある程度の売上は見込めるが、主力の衣料品はこの先も不透明である。新型コロナウイルス禍で、来店客数も大幅に低下したままでは、好転することは難しい。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種を完了した客の戻りは想定されるものの、衣料雑貨ゾーンの商材欠落が前年夏から続いており、食料品中心の購買傾向が継続すると予測している。
		スーパー（商品部担当）	・天候不順や値上げ等、ネガティブな要素が多い話ばかりだが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者の減少等で動きが出てきても、すぐには消費に直結しない。
		コンビニ（経営者）	・夏が終わり、来客数も減る。ただし、10～11月にイベント等が行われれば、減少分は回復すると思うので、変わらない。
		コンビニ（店長）	・ワクチン接種が進んでいるものの、新型コロナウイルスの感染者数がまた増えてきているので、2～3か月先も今と余り変わらない。
		衣料品専門店（統括）	・現状の新型コロナウイルス感染防止策では感染に歯止めが利かない。また改めて緊急事態宣言が発出される。いつになったらこの状況から元に戻れるのか心配であるが、頑張らなければならない。
		家電量販店（店長）	・今も大きく変わっていないので、良くも悪くもならないと思う。
		乗用車販売店（経営者）	・東京オリンピックが始まり、医療の専門家は、新型コロナウイルスの感染者が増えると言っている。新型コロナウイルス禍がいつまで続くか分からないことがつらい。相変わらずの半導体不足のなかで、当地域の自動車メーカーは標準的な生産量を守っている。米国工場では、生産がフル稼働状態で、有り難い。
		乗用車販売店（販売担当）	・自動車販売に良くなる要素はない。悪くなるかもしれないが、分からない。
		乗用車販売店（販売担当）	・当社の営業サービス地域では、高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種はほぼ終わってきているが、一般の接種が終わらないと活気は戻らない。今の状態だと接種が進むまで2～3か月掛かるようなので、落ち着かないと景気は上向きにならない。顧客であるホテル業が良くなると当社も良くなるので、今のところ良い材料はない。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きが不透明なことが、不安の原因で購買意欲がかなり低下している。マスクのあり方や報道の仕方などによって、かなり客が影響を受けている。また、政治も、将来的なワクチンの安全性、経済の向上を目指した施策が明確に打ち出されていないので、いずれにせよ余り期待できない感じが、ふだんの生活や客との会話からも読み取れる。
		住関連専門店（店長）	・景気はある程度下げ止まっていて、これ以上は悪くならないと思うが、新型コロナウイルスのワクチン接種が予定より早く進めば、多少は良くなるのではないかと。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・現状維持ぐらいの動きと予測している。幅広い世代で新型コロナウイルスのワクチン接種を始めれば変わるのかは、社会情勢次第である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（経営者）	・正直、想像できない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、感染拡大が止まらなければマイナス、止まればプラスではないだろうか。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊や宴会は東京オリンピック関連団体の受注で、まとまった売上を計上できている。ただし、本来あるはずの見込んでいた内容ではない上、一般の需要回復にはほど遠い状況である。県内の新型コロナウイルス感染者数も増加傾向にあり、見通しが立てられない。
		タクシー（経営者）	・7月は新型コロナウイルスのワクチン接種会場までのタクシー無料券が配布されたため、売上は伸びたが、夜の動きは6～7月と悪かったため、この先も良くないとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン次第のところはあるが、いまだ感染抑制に足りるだけの在庫が確保できていないため、現状が続く可能性が高い。
		通信会社（総務担当）	・販売量は上向くものの、通信キャリアからのインセンティブが減少するため、総じて変わらない。
		テーマパーク（職員）	・夏休み効果で回復を期待するが、首都圏の緊急事態宣言や新型コロナウイルスの感染者数の増加、東京オリンピックの開催等により、期待どおりの回復が見込めない。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率次第と思われるが、今後の来場者動向は不透明である。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んではいるものの、まだ予断は許さない状況である。鋼材価格の高騰やウッドショック等により、景気の低迷はしばらく続く。
		設計事務所（所長）	・東京オリンピック・パラリンピックが終わり、一時的に盛り上がった景気も落ち着くと思われる。
		住宅販売会社（経営者）	・販売状況は悪いままと予想され、回復の要因が見当たらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がかなり出てきて地方にも飛び火しているため、このまま行くとちょっとまずい状況になるのではないかと。
		家電量販店（店員）	・秋に向かって売上の指数は下降していくが、前年比を超えるような商材が、なかなか見つからない。
		住関連専門店（仕入担当）	・ガソリン価格を含め、幅広い商材の値上げも顕在化してきており、新型コロナウイルスの感染拡大の不安要素と合わせて、今後、個人消費は厳しさを増すと予測している。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注残が減少している。
		一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックで人が動き、メディアが新型コロナウイルスの感染者数急拡大をあおるため、やや悪くなる。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・新型コロナウイルスの患者が現在でも増えており、東京オリンピック以降は明らかに増えると思うので、やや悪くなる。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・飲食部門は、東京オリンピック・パラリンピック期間中の巣籠り助長や開催終了後の新型コロナウイルスの感染リバウンドも懸念され、来客が戻るとは想定しにくい。一方、事業所給食は、食材費の値上がりに加えて、最低賃金上昇に伴うパート社員の賃金上昇が、コスト面だけではなく、採用人数の増加を迫ることになり、今後の運営上の重しになると懸念される。
		都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波への危機感が高まっており、外出自粛の流れになりそうで、やや悪くなる。
		通信会社（経営者）	・仕入コストが高騰しているが、今の情勢を考えるとなかなか売価に転嫁できない。今後もしばらくはこの傾向が続くと思われる。
		ゴルフ練習場（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見通せない。
		美容室（経営者）	・高齢者の新型コロナウイルスへの感染は既に鎮静化してきている。ただ問題なのは、40～50代の年齢層に新規感染者が激増していることである。場当たりの接種システムの弊害である。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・お盆を挟んで動きのない月が続くことや新型コロナウイルスの感染拡大が続くため、悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・7月中旬の東京の新型コロナウイルスの新規感染者数増加が止まらない間も、周辺のホテルからは7月後半から8月にかけての宿泊予約のキャンセルが相次いでいるという話は聞こえてこなかった。月末になり、首都圏1都3県への緊急事態宣言が延長、再発出されることとなったが、今後、感染者が増え続けても、旅行計画を立ててしまった人はそのまま実施するのではないかと、9月以降の観光業は、一層深刻な状況になってしまうのではないかと、周りの事業者たちも危惧している。
	×	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの状態が非常に悪く、客が全然来なくなっていることが原因である。
	×	衣料品専門店(販売担当)	・当県も残念ながら8月早々に、飲食店の時短営業要請が出される予定であり、この先、客の出足が良くなる要素は全く見当たらない。総合的に判断しても、新型コロナウイルスのワクチン接種が若い人まで終わらない限りは、このまま悪い一方で進むような気がしている。
	×	家電量販店(営業担当)	・8月のお盆商戦に販促はできているので、来客数を増やし、単価上昇となるよう、プラスワン商材の提案を実施していく。
	×	その他専門店〔靴小売業〕(経営者)	・靴業界のメーカーは海外依存が多く、前年と同じ物しか生産できないとか、新型コロナウイルスの影響で生産されない。製品を運ぶコンテナ船の確保がなく、日本に商材が入荷できない状況が続いている。
	×	都市型ホテル(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が高くなって、自粛要請が解除されない限り、好景気にはならない。
	×	旅行代理店(所長)	・新型コロナウイルスの感染者数減少がいつ頃になるのか、全く見当がつかない上に、ワクチン接種のスピードも鈍化してきている。全く出口が見えず、相当厳しい状況が想定される。
	×	タクシー運転手	・首都圏から人が来なければ、地方のタクシードライバーの生活はなかなか厳しい。
	×	タクシー(役員)	・国の新型コロナウイルス対策が全く駄目過ぎて、あきれている。
企業 動向 関連 (北関東)		一般機械器具製造業 (経営者)	・秋に、新規で立ち上がる自動車関連部門では、当初計画を大幅に上回る数量の要求があり、新規設備導入やフル稼働で対応予定である。また、ロボット関連も好調で、新設ラインで対応するよう要求が来ている。
		化学工業(経営者)	・継続中の引き合いを確実に受注することを目指している。やや良くなると考えている。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・この2～3か月は受注量、取引先の様子が若干上向いている。この調子でいけば、2～3か月先は良くなる。
		金融業(営業担当)	・現在、新型コロナウイルスのワクチン接種が大分進んでおり、2～3か月後については、さらに進んでいる。心理的な効果もあり、景気についてはやや良くなってくると考えている。
		食料品製造業(経営者)	・ワクチン接種が進んでいるなかで、新型コロナウイルス感染者数が減少すれば回復すると思うが、不振な業種ではダメージが大きいのではないかと。
		窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・大きな変動もなく、現状維持できている。
		金属製品製造業(経営者)	・得意先との話からも、変わらない。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況が大分ひどくなってきているので、今は受注が増えつつあるが、また、がくんと落ちる可能性があり、先が見えない。当社売上は過去最低を更新しているため、非常に厳しい。
		その他製造業〔消防用品〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響がまだ残ると考える。
		輸送業(営業担当)	・夏休みに入り、特に、レジャー、バーベキュー、園芸用品等の物量が増える予定である。また、猛暑により飲料水の輸送量も前年を上回る予測だが、燃料価格高騰もあり、利益は薄くなりそうである。
	広告代理店(営業担当)	・良くなる兆しが全く見えない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		経営コンサルタント	・東京オリンピックも終わり、秋のレジャー、行楽シーズンに新型コロナウイルスの重症患者数に落ち着きが見られれば、企業活動や個人の消費活動も後押しされて、地域経済活動も息を吹き返すと期待している。
		司法書士	・ほとんど変わらない。特別大きな仕事はない。やや過疎の街なので、大きな仕事がなくなって、低位安定なのかなという状況である。
		社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるだろうが、世の中の空気が変わって、財布のひもが緩むかどうかは分からない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数、受注件数いずれの状況をもても、特段変化はみられない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者がこのまま増え続けると、人の流れが変わるような気がする。人が出歩かなくなるので、やはり難しくなるのではないかと。
		金属製品製造業（経営者）	・将来の景気は全く分からない。6月は少し良くなったかと思っただが、7月はまたぐっと落ちて、本当に困っている。
		建設業（総務担当）	・公共工事はともかく、民間の動きが非常に悪くなってきている。
	×	建設業（開発担当）	・新年度がスタートして3か月、今期の公共工事発注は大幅減となっており、今後の発注に期待している。ただし、新型コロナウイルス禍で、一層厳しい。多くの業種でボーナス支給ができない状況だが、当社も同様で、従業員に申し訳ない経営状況である。この先も厳しい状況は続き、今期決算は赤字になる可能性があり、先行きが心配である。
	×	不動産業（管理担当）	・来月下旬に管理ビルのテナント撤退が決まった。賃貸面積が大きかったため、家賃収入の大幅減が見込まれる。
雇用 関連 (北関東)		-	-
		人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品の生産計画が高いため、やや良くなる。
		人材派遣会社（経営者）	・東京オリンピック効果で、家電は安定した伸びで、横ばいといった方が良いのかもしれないが、良い。生鮮食料品は、家飲み等もあり、食材関係の調達が生産性を上げていくだろうが、天候が心配である。全般的には横ばいではないかと。
		人材派遣会社（社員）	・業種によって人材需要に温度差があるものの、特に、製造業を中心に需要があり、継続する見込みである。
		職業安定所（職員）	・新規求人、有効求人共に増加しているが、新型コロナウイルスの感染拡大第5波といわれる感染者数増加が、今後どのように影響してくるか分からない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大もあり、飲食、宿泊、関連する卸売業の回復が見込めない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・経済が動き出した半面、新型コロナウイルスの感染が拡大し、感染への懸念から経済はまだ大きくは上昇しないと考えられる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの収束見通しがなかなかなく、まん延防止等重点措置で抑えられていることで、前回の第4波の感染者数のピークと今回の感染拡大までの期間が短いことも考えると、ワクチン接種は進んでいるが、この先に効果があるかどうか見えない。やや不安なところがある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		その他専門店〔雑貨〕 (営業担当)	・人流が回復し、地方からの来街者も増加して、個人消費が活性化される（東京都）。
		その他飲食〔カフェ〕 (経営者)	・まず前提として、新型コロナウイルスの影響で飲食業は壊滅的なので、今より悪くなることは考えにくい。緊急事態宣言が解除されれば、我慢していた人たちが一気に飲食し始めると考えられる。しかし、東京オリンピック後に新型コロナウイルスの感染者数が一気に増えた場合、飲食店に対する営業ストップなどの要請が出る可能性などが考えられ、不安でしかない。現在どうにか経営をつないでいる企業にとって、そのような状況になったら廃業も否めなくなるのではないが。酒を出している店舗や20時以降も営業している店舗には補償があるが、飲食店全体が苦しい状況である。このことを今一度理解し、今後の経済を動かしてもらいたいと切に願っている（東京都）。
		旅行代理店（販売促進担当）	・2～3か月後の9～10月には、新型コロナウイルスのワクチン接種が更に進み、Go To Travelキャンペーンが再開された場合は個人旅行が更に加速する。春に延期した修学旅行や団体旅行等が動き出す時期にもなるので、良くなる（東京都）。
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、少しずつでも行事が復活、再開していくことを願っている。
		一般小売店〔文房具〕 (経営者)	・秋頃には新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、安心して買物ができる状況になることを期待している。また、飲食店が通常に近い営業形態を再開することにより、業務需要も増加すると見込んでいる（東京都）。
		百貨店（売場主任）	・60代以下への新型コロナウイルスのワクチン接種の普及が進むことによって感染者数が減少すれば、中止になっていた物産展やイベントなどで集客が見込める（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・東京都の新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にあるが、一方でワクチン接種も進んできており、外出に対する不安の解消が進み、緩やかではあるが個人消費が伸びる（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種と東京オリンピック効果に期待するが、景気回復の実感には程遠い（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言中の現時点でも、来客数、売上は徐々に回復傾向にある。新型コロナウイルスのワクチン接種の広がりもあり、消費者の意識上で“抑制開放”がますます増大する。“抑制開放”は、まずは旅行などコト消費に大きな動きがあると思うが、新型コロナウイルス禍で変わってきている消費意識は、モノ消費においても、価格は高くても長く愛用でき気に入ったものを購入するため、売上が伸長するとみている（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種効果により、購買力の高い高齢層の消費活性化が予想される。7月時点でもワクチン2回接種済みの高齢層の客足が戻りつつある（東京都）。
		百貨店（経営企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の効果により、徐々に外出の機会が増加すると予想している。9月以降の残暑が気掛かりではあるものの、秋の行楽時は盛り上がりを見せる。人が動くことで購買意欲が高まるため、現在よりも若干良くなる。一方で、最低賃金改定により企業の採用意欲が下がり、雇い止め等による労働環境の変化が気掛かりである（東京都）。
		百貨店（店長）	・先行きは不透明だが、新型コロナウイルスのワクチン接種による集団免疫獲得によって、改善に向かうと想定される（東京都）。
		百貨店（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率の更なる上昇に伴い、消費動向がより改善すると想定している（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の浸透により、人の行動にも良い影響が出る。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、外出を控えていた人が旅行やレジャーに出掛ける気運が高まり、買物をする動機も高まる（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も拡大し、活動的になる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の広がりにもよるが、本当に総理が言うように10月くらいで接種が完了するのであれば、景気や人流においても良くなっていくと思うので、これから売上等も良くなっていくのではないかと期待している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、外出機会が増加すると思うし、そのような状況になってほしい。早く以前と同じ状況になることを望んでおり、良くなることを期待している。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むとともに重症化リスクが低下し、消費マインドが高まる方向に進む（東京都）。
		家電量販店（店長）	・買換えのサイクルは継続的に続くと思われている。
		家電量販店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染症の陽性者数が減少すること、ワクチン接種が若い世代まで進むこと、現在開催中の東京オリンピックが安全安心な大会として無事終わること等ができれば、購買心理に大きく影響を与えると期待している（東京都）。
		乗用車販売店（総務担当）	・決算月でもあり、需要がやや伸びてくると予想している。生産の遅れも徐々に解消するとみている。
		住関連専門店（営業担当）	・政府の新型コロナウイルス感染防止施策よりも、ワクチン接種の普及が行動の基準となりつつある。ワクチン接種自体は今後も着実に進むものと思われるため、景気の回復も連動するものと期待している（東京都）。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も順調に推移しているようなので、2～3か月先には更に外出が増加し、それに伴い、景気が良くなる（東京都）。
		その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・東京以外では緊急事態宣言が解除されていることから、今後は景気が盛り返すと予想している（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・飽くまで希望的観測ではあるが、新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がり、人流が増加する。さらに、Go To Travelキャンペーンが再開されれば、観光業界が息を吹き返してくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・引き続き東京オリンピック需要があることと、東京オリンピック終了後も、恐らく政府がGo To Travelキャンペーンを再開して実施してくれると考えている（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・9～11月にかけて、徐々にではあるが学生団体を中心に団体旅行の見積り依頼が増えてきている。新型コロナウイルスの感染対策の徹底、ワクチン接種の普及などが団体旅行の復活を後押ししている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチンは、6月からは64歳以下の人にも接種を進めているようで、3～4か月後は感染拡大が収まるとみており、多少は経済も良い方向に動く（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染者数は減ってはいないが、ワクチンを接種した人が増えていることにより、皆が安心して多少出歩いているように感じる。海外に比べて死者数が少ないので、このような状況が続けば少しは良くなっていく（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、気分的にも前向きになる（東京都）。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの影響で自粛しているなか、ワクチン効果に加え、緊急事態宣言が解除されれば、エンターテインメント関連にもコストを掛けるようになり、結果的にやや景気が回復することにつながる（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	・案件数が増える兆しが少し見えてきているため、期待している（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展によるマインド転換から、訪問営業機会等の回復を期待している（東京都）。
		パチンコ店（経営者）	・高齢者に対する新型コロナウイルスのワクチン接種が進むなか、東京オリンピック・パラリンピック終了後のウィズコロナに向けた政府の経済対策が打ち出されることが期待される。
		その他レジャー施設 〔複合文化施設〕（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種、治療薬の浸透に期待している（東京都）。
		設計事務所（経営者）	・今月末に契約をしたので、来月からは入金予定がある。
		住宅販売会社（従業員）	・夏から秋にかけて景気は良くなる。在庫をしっかり確保して販売を行えば、順調に推移していく。建築木材のウッドショックが気になるところだが、解消されれば良い方向に向かう。
		商店街（代表者）	・商売の状況は、今までもそれほど良いということはなく、ずっと右肩下がりがだが、今後もまだしばらく新型コロナウイルス感染が収まるようには見えないことから、景気が良くなることは全く考えられない。できるだけ早く感染が収束してほしい。
		一般小売店〔家電〕 （経営者）	・これ以上上下がりようがなく、どうしていいかわからない。廃業する取引先が増えてきて、この先どうなっていくのか。政府にはもう少しはっきりした対策や方向性を出してもらいたい（東京都）。
		一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・旅行など新型コロナウイルスの影響で自粛をしている業種は、新型コロナウイルスが収まれば良くなると思うが、当方のような電気店は物が壊れないと買換えが起こらないので、すぐに良くなるとは思えない。
		一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・東京オリンピックが終了し、新型コロナウイルスの感染状況が厳しくなっていると予想している。秋のキャンペーンやイベント関係が心配である。
		一般小売店〔印章〕 （経営者）	・今でも底のような商売だが、今後も望みは薄く、非常に厳しい。耐えるだけ耐えてみるという経営環境である。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・混とんとしており、先行きが見通せない。
		一般小売店〔生花〕 （店員）	・9月のお彼岸が過ぎてしまうと、ぱったり客が来なくなるので、今とほとんど変わらないと予想している。新型コロナウイルスの影響で、年間を通して客が大分少ないので、少ないなりの状況のまま、ずっとそれが続いていく（東京都）。
		一般小売店〔文具〕 （販売企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が好転しない限り、なかなか通常営業には戻せない。特に、店頭部がなかなか厳しい。また、外務部の方も、緊急事態宣言が再発されると様々な面で制約を受けるので、外回り活動をするのもなかなか難しいという現状がある。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・来月まで緊急事態宣言が解除されないのでは、しばらくは物が売れそうになく、新規の注文も期待できない（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス収束の見通しが余りにも不透明な状態では、将来の景気に対する楽観的な予測は立てられない。ワクチン接種の進捗や治療薬の開発など、具体的な動きが明確にならなければ、明るい兆しは見えないのではないかと（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が高まれば、景気も緩やかな回復基調に乗っていくと予想している。一方で、今後ワクチン接種のスピードが想定どおり進むか、あるいは急増している感染状況が落ち着くかどうかは現時点では判断を許さず、見通しは不透明と言わざるを得ない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンがどれだけ行き渡るかが鍵である。周囲でも20～50代までの社員で接種したのはほんの数人で、集団免疫ができるにはまだ時間が掛かる。一方、仮にワクチン接種が進んだとしても、果たして消費が百貨店に向くのかは疑問である。郊外への引っ越しや旅行、レジャー関連などに向くのではないかと（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言下では次月以降も特に大きな改善は見込めない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が再発出されるなど、新型コロナウイルスの感染拡大が収まる気配は見えず、先行きの不透明感が増している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・商圏内の新型コロナウイルスのワクチン接種が少しずつ進捗し、今後更に接種が進むことや客の自粛疲れから、外出、消費へとかじを切る雰囲気を感じられる。そのため、今後の景気に対しても良くなるという期待感があつたものの、7月下旬に決まった緊急事態宣言地域への追加により、客の動向がどう変化するか分からないことから、余り変わらない。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数は減少に転じると思われるが、2～3か月程度では消費動向が大幅に改善するとは感じられない。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の再発出もあり、営業時間を短縮している。短縮した分、来客数、売上が届かない状況はこの先もまだ続く（東京都）。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス禍が2年目に入り、緊急事態宣言が再発出されているが、やはりもう慣れてしまったというか、我慢できないというか、人の流れが非常に多い。もう以前の日常に戻ったようになっているので、巣籠り需要は起きていない。東京オリンピック中は多少巣籠りもあると思うが、それ以後はまた普通に戻るのではないかと考えている。このまま余り良くない状況が続いていく。
		スーパー（店長）	・売上は良いものの、もうけである粗利率がここしばらく未達なので、3か月先ももうけが厳しく、売上は予算達成するものの粗利率は未達という状況のままかと予測している（東京都）。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス禍による客の購買行動の変化は、今では見受けられない。特に、ワクチン接種が始まってからは、よりその傾向が強くなっている。
		スーパー（総務担当）	・緊急事態宣言が再発出されても、客の流れはそれほど大きく変わっていないなかで、新型コロナウイルス感染者数がまだまだ増加しているため、今後の感染状況によって客の動きが変わると予想される。ただし、給与面、賃金面での大幅な伸びがないなかで、客の購買意欲が急に上がることも考えにくく、また、在宅で必要な物を買物する客がいるため、売上は変わらないのではないかと。
		スーパー（営業担当）	・1人当たりの買上額は前年に比べて落ち込むと思うが、来客数の伸びでそれをカバーする状況が継続する（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・夏休み中、東京に緊急事態宣言が再発出されているので、状況は厳しい。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まる気配が見えず、状況によっては行動制限が強まり、来客数に影響がある（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がもっと進み、接種した人が8割以上にならない限り、大幅な回復は見込めない（東京都）。
		衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスの影響によるリモートワーク、出勤その他もろもろの見通しが立っていない。
		衣料品専門店（役員）	・緊急事態宣言が解除され、旅行や会食等ができるようにならないと、衣料品の需要は少ないままではないかと。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピックの終わりを迎え、景気の停滞が懸念される。政策に期待したい（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくなく、前年度の5割となっている。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響で新車の納期が長くなっている。現状維持が精一杯ではないかと。
		乗用車販売店（営業担当）	・長期休暇や連休などがあるので期待できない。
		乗用車販売店（販売担当）	・全体的に車が動かず、距離を走らないため、ETC、高速道路割引の利用料金も減っており、当社の収益、手数料が大きく落ち込んでいる。そのような状況の中で、2～3か月では新型コロナウイルス感染症が完全に落ち着かず、ワクチンも全ての人には届かないので、変わらない（東京都）。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	・周りを見ても、景気が良くなるような要素がない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・新型コロナウイルス感染者数が増加し、決して良い状況ではないが、休業要請が出ない限り、現在と同じように推移していく（東京都）。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大が心配である（東京都）。
		高級レストラン（経営者）	・東京オリンピック、新型コロナウイルス第5波による感染拡大への不安が解消されない。
		高級レストラン（営業担当）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が解除となっても、そこからの回復には時間を要する（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、来客数が伸びることを期待したいが、2～3か月後ではまだ状況は変わらない（東京都）。
		高級レストラン（役員）	・緊急事態宣言の指示に沿って営業しているが、現在の東京都の新型コロナウイルス感染者数急増による緊急事態宣言の期間延長により、飲食店の時短営業、アルコール販売禁止が解かれずと予測しているため、飲食店の状況は変わらない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・8月にまた緊急事態宣言が発出されるため、客がなかなか戻ってこない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、2～3か月先も多分回復する見込みはない。かなり感染が拡大しているため、飲食業は2～3か月先も恐らく時短営業のままである。酒の提供は駄目、あれも駄目これも駄目ということになると、2～3か月後の景気は相当悪くなり、潰れる店もかなり出てくる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス次第なので、先行きは不透明である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が多少進んでも、結局はこの政府の対策が少々中途半端な感じがするので、余り期待できない。3か月後も新型コロナウイルスは全然収束していないような気がする。
		一般レストラン（経営者）	・東京は今オリンピック開催中で、連日新型コロナウイルス感染者数が増えている。それに伴って、飲食店で酒が出せない状況が何か月も続くと、本当にメンタル面でも追い込まれてしまうし、閉店する店も増えていく。なぜこうなってしまったのか。もう少し政府には考えてほしい（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・政府は、新型コロナウイルスのワクチン供給と接種率を上げるための施策に集中すべきである。そうしないと、外食産業だけを制限していても、回復にはつながらない。部分最適ばかりを考えているが、無策なのではないか（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチンパスポート発行と、陰性が証明された場合における日本入国時の自主隔離の解除がないと、海外旅行の再開は厳しい（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、安心して生活できなければ、旅行需要は増えない（東京都）。
		タクシー（団体役員）	・早期に新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないとい回復は期待できない。
		通信会社（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピック後の新型コロナウイルス感染者数の動向や、ワクチン接種の進捗状況にもよるが、現状と余り変わらず推移するものとみている。客も新型コロナウイルス禍の現状に慣れてきているため、キャンセルや訪問拒否の発生自体は次第に減少する（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいないため、2～3か月先も状況は変わらない（東京都）。
		通信会社（社員）	・東京オリンピック開催で、ムードは前向きになっている。ただし、実際には東京オリンピック関連でのイベント増加はなく、むしろ縮小、中止の傾向が続いている（東京都）。
		通信会社（社員）	・引き続き端末値引きをきっかけにした獲得をせざるを得ない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・人の流れが活発化し、特に都市部からの転入が増えてこなければ、現状からの変化はない。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が徐々に進みつつあるものの、一部で接種の延期が発生していること、また、変異株による感染者数の急増、緊急事態宣言の期間延長、対象地域の拡大等による景気へのマイナス影響が懸念されることから、先行きが見通せない状況にある（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・人が回転していないように見受けられるので、経済も余り回らないと考えられる。当面景気は変わらない（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・特に割引の規制ルールが更新される見込みはないので、今のトレンドが続く。
		競輪場（職員）	・建設中のドームで250競輪という新しいレース形態を展開するまでは厳しい状況が続く、変わらないと予測している。
		その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチンを接種した人が増え、感染者数が減ると思いたいが、そのときの感染状況次第なので何とも言えない（東京都）。
		その他サービス[立体 駐車場]（経営者）	・周りの状況に良くなる気配がないため、悪いままではないか。
		その他サービス[保険 代理店]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、少しは景気の改善がみられると思うが、すぐには売上増につながらず、しばらくは影響が続く。
		その他サービス[学習 塾]（経営者）	・既存の顧客や新規の問合せなどがあり、現在は良くなったとは言えないが、新型コロナウイルス禍においても悪化することなく変わらずに推移している。
		設計事務所（経営者）	・設備設計など、メンテナンス上、定期的な改修設計を要する案件は堅調な部分もあるが、新型コロナウイルスの収束が実感できない限り、現状の厳しさは変わらない。
		設計事務所（所長）	・話は多少あるものの、大半が相談のみで前へ進むわけではなく、コンサルタントまで話がつながらない。物価高も含め、このような状態が続く（東京都）。
		設計事務所（職員）	・どちらの方向に変化する要素も見当たらない（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、現在の不況は続く。早くワクチンと治療薬が普及しないと、景気は戻らない。東京オリンピック終了後に良い結果が出るかどうかは分からない。
		住宅販売会社（従業員）	・来客数、資料請求数を含め、好調ではあるが、特に大きく上がってはいない。
		住宅販売会社（従業員）	・受注量に特段の変化はみられないので、景況感も余り変わらない。
		その他住宅[住宅資 材]（営業）	・東京オリンピック開催とともに、建築資材の需要が一旦落ち着いている。この先も上昇傾向のないまま年末を迎える可能性が高い（東京都）。
		商店街（代表者）	・東京や首都圏に関しては、明らかに東京オリンピックはマイナスと出る。新型コロナウイルスの感染者数に明るい見通しが全くない。東京オリンピック・パラリンピック終了後、無理に開催した反動で、緊急事態宣言など厳しい措置を講じるしかない状況になることは確実である。何よりも、頼みのワクチン供給が間に合っていないことが大きい（東京都）。
		一般小売店[酒類] （経営者）	・取引先である飲食店の状況が変わらない限りは、なかなか改善できないのではないかと。
		一般小売店[眼鏡] （経営者）	・新型コロナウイルス変異株の感染力はすさまじく、第3波、第4波よりも急激に感染拡大している。やはりワクチン接種にかかっていると思うが、今のままのペースだと、50%接種でも11~12月頃までは掛かりそうで、景気悪化が懸念される。
		一般小売店[茶]（営 業担当）	・行楽シーズンにもかかわらず、人出が抑えられた場合は、売上が減少すると予想している。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者数が増加するなか、緊急事態宣言の再発出等、数か月で現状が好転することは考えにくい。
		スーパー（店長）	・消費者には依然として節約志向が根付いており、新型コロナウイルスの感染拡大も収まらないなか、経済活動も業種によって開きがあるので、当面は現状よりも厳しい状況が続く（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がペースダウンし、新型コロナウイルス禍の収束はまだまだ見え、経済は後退の道しか見えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（ネット宅配担当）	・東京オリンピック以降の消費マインド低下の予測に対し、危機意識を持っている。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス感染が再拡大している。
		コンビニ（経営者）	・夏場も終わり、新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか分からないため、どんどん下がってくる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が増えている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、客の動きに変化が出る懸念が大きく、厳しさが戻りそうである。
		コンビニ（経営者）	・来客数もさることながら、客は必要最低限の物しか買わない様子である。
		衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言等が解除されないと回復しない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が増えたとしたことなのか、天候のせいなのか分からないが、まだまだ先が見えない状況が続いている。秋以降に何とか景気が回復することを願っている。
		衣料品専門店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続く。
		家電量販店（店長）	・家電量販店としては、一定の買換え需要はあるにせよ、これから新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと、旅行や外食産業が伸びるとみている（東京都）。
		家電量販店（店員）	・東京オリンピック需要の反動が出る可能性がある。
		家電量販店（店員）	・少し読めないところはあるが、年末に向けて現状より良くなる要素は余りない。東京オリンピックも終わり、AV機器への関心も薄れ、エアコンをメインとした販売も落ちると予想している。
		乗用車販売店（店長）	・購買意欲が薄れているように見受けられる。新型コロナウイルスのワクチン接種後は、車にお金を使わず、違うところに使うようになって感じている。
		乗用車販売店（渉外担当）	・半導体不足、新型コロナウイルスによる部品供給の滞りが販売実績に影響する可能性がある。
		乗用車販売店（営業担当）	・客の収入が安定せず、車を手放す人も増えてきている。緊急事態宣言がいつ解除されるかも分からない。新型コロナウイルスのワクチンは今からでも首都圏に集中させるべきである（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くと思われるので、外出を自粛する人がより多くなる。したがって、来客数及び販売量も大幅に減ると予想している。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかによってかなり変わると思うが、明らかに前年比で売上、来客数が悪く、この傾向は今後も続く。
		一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言の期間延長、新型コロナウイルス感染者数の急増、これでは会社がいつまでもつか分からない。当社は飲食店で真面目に感染対策をしているが、感染対策をしていない飲食店も大変多い。アルコール提供自粛や営業時間を守らない店舗が新型コロナウイルスの感染源である。なぜ取り締まらないのか。真面目にやっている店だけが馬鹿を見ている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・既に4度目の緊急事態宣言が発出されているにもかかわらず、若い人は守っておらず、要請に従わない店もかなり増えているような状況で、新型コロナウイルス感染者数の増大が止まらない。このままだと更に感染者数が増え、東京オリンピックが終わる頃には、かなり深刻に消費を控えるような気がする（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックの終了後に新型コロナウイルス感染者数が増加すると、現状より悪くなる。ワクチンの接種状況にもよるが、感染の収束は不透明で、極めて不安定な状況の中で推移していく。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染者数が急拡大しており、先々の予約の延期や開催中止が多くなっている。ワクチン接種も進んでいるので感染状況は改善されると思うが、抜本的な景気回復策も打ち出せていない状況では、景気が良くなるとは到底思えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで東京オリンピック・パラリンピックが開催されているが、人出が大分増えてしまっているため、これから先にパンデミックなどにより医療逼迫が生じるのではないかと非常に不安である。
		旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言の対象エリアが拡大し、首都圏を中心としたマーケットが冷え込む（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・一番の繁忙期である夏休みでの販売チャンスがない（東京都）。
		タクシー運転手	・世界中がそうだが、とにかく今は新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で、先が読めない、見えない、計画ができないということで、毎日心配している。これ以上ひどくならないように気を付けて自分を守るしかない。
		タクシー運転手	・現在は夏の暑さによる客の増加があるが、これから涼しくなると減る。サラリーマンの需要が新型コロナウイルス以前に戻るかが一番問題なのだが、余り良くなることはないように感じている。東京オリンピック需要がなくなったので、それに対する悪化はない。国からの支援金が出ており、運転手の皆も感謝している（東京都）。
		タクシー（経営者）	・政策次第だと思うが、よほどの策を打ち出さない限り、大分厳しい。確実に景気は悪くなっていると肌で感じている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数の増加に歯止めが掛からない限り、客の購買意欲が改善されるとは思えない。
		通信会社（管理担当）	・まだ底を打ったままの状況である。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、更に悪化する可能性がある。新型コロナウイルスの影響で客の反応が悪くなり、従業員に陽性者が出ていることで、会社としての一部機能が停止する可能性が高い。今後、ワクチン接種済みの証明を伝えながら接客することを計画し、解決の糸口を見いだしていきたい。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・東京都の新型コロナウイルス感染者数が3000人を超えた。理由はそれだけで十分である（東京都）。
		美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束してほしい。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・夏期講習の人数が非常に少なく、新型コロナウイルスの影響で面談もキャンセルになっている。先行きの景気は悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が東京都で3000人を超えているような状況の中では、営業展開が全くできない。行政へのアプローチも、各社が受注を狙っているため営業展開が非常に難しく、従業員の給料支払も滞ってしまうような状況である。9月からは選挙の問題もあるので、一体どうしたらよいのか、事務所で皆と打合せするものの、新しい展開が見えない。
		住宅販売会社（従業員）	・ウッドショックにより販売価格を値上げすることが決まっており、販売量は減少すると予測している。また、請負契約後の未着工案件も増えており、価格の見直しや資材調達が難しく、工期が伸びてしまうことにより、客の希望の工期が約束できず、解約が増えてきている。
		その他住宅[住宅管理・リフォーム]（経営者）	・客と何回か会って話をしなければならぬ仕事であるが、なかなか会う機会がなくなっているため、今後も厳しい状況が続くものとみている。
	×	一般小売店[和菓子]（経営者）	・月初めから緊急事態宣言がまた発出され、人の流れがストップし、売上に繋がらないのではないかと。
	×	一般小売店[家具]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が分からないが、とにかく客が店に入っていない。これから先もこのような感じが続くのではないかと（東京都）。
	×	一般小売店[食料雑貨]（経営者）	・規制の中での商売は、14か月を超えても一向に良くなる兆しが見えない。中途半端な政策よりも、新型コロナウイルスのワクチン接種とロックダウンで、この厳しさから脱却できたと思われる。専門家の意見を聞かないリーダーがかじを取る以上、世界の中で取り残される可能性が高い。
	×	一般小売店[米穀]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により生活バランスが崩れているため、なかなか過去のような生活スタイルには戻らない。物流のリズムも過去とは違っている。あとはワクチン接種の進み具合による（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	百貨店（販売促進担当）	・東京オリンピック後の締め付けにより、更に悪化することが予想される。東京オリンピック中は緊急事態宣言を強められないだろう（東京都）。
	×	スーパー（経営者）	・現在は東京オリンピックの自宅観戦により内食が増えているが、この先はかなり悪くなる。
	×	衣料品専門店（店長）	・東京オリンピックが開催されているものの、新型コロナウイルス感染者数の急増に伴って消費意欲が急速に萎んでしまっている。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染再拡大は、我慢の限界の表れである。しかし、収入減で可処分所得が減少傾向にあるため、消費も冷え込む可能性が大きい（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染者数が急拡大している。当施設は東京に隣接した立地のため、急増している。
	×	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックを開催して喜んでいる政治家の方々が良いが、飲食店経営者は東京オリンピック終了後に結構店を閉めるのではないかと話している。外食業自体がどうなっていくかわからないが、良い方向には向かわない。東京オリンピックを開催したのために、政府は今後どのようにフォローしてくれるのか、する気もないのか、はっきり示した方が良い。
	×	一般レストラン（経営者）	・政府の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置にもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大が一向に収まらないので、現状の景気は良くない。3か月後には改善しているかという点、ワクチン接種が進んでいる欧米の状況に鑑みて、必ずしも楽観はできない。また、東京オリンピック終了後の景気後退を危惧している。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大により、先々も含め案件が発生しない。現在残っている学校や団体も、今後のキャンセルが想定される。
	×	タクシー運転手	・いよいよ東京オリンピックが始まり、新型コロナウイルスの感染者数は増えるばかりで全く予想が立たない。東京オリンピック観戦は家でとなると、外出も減り、ますます昼、夜と仕事が減る。東京オリンピック終了後も感染者数が増える予想されているので、今以上に利用が減る。
	×	ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大による社会経済への影響は計り知れない。また、少子高齢化など、従来抱えていた問題が先送りされており、将来の景気は簡単には期待できない。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・まん延防止等重点措置と緊急事態宣言の発出、解除を短期間に繰り返すことで、宣言に対する国民の信頼が失われており、早期の新型コロナウイルス感染封じ込めにつながるはずがない。延々と続く飲食店への自粛頼みと国民への外出自粛要請のみでは、緊急事態宣言下の国民の行動を変容させることは困難である。3か月後には衆議院選挙も行われ、政界勢力図が変わっていることも考えられるが、本邦には政権担当能力を具備する政党は存在しないことは、現在及び先代の政権政党を顧みれば自明であり、新型コロナウイルス封じ込めによる景気回復を論ずる余地は到底ない。
	×	設計事務所（所長）	・資金等の関係上、なかなか先の計画が立てられない状況のため、先行きの仕事は少なくなる。
	企業 動向 関連 (南関東)		出版・印刷・同関連産業（経営者）
		金融業（従業員）	・東京オリンピックが無観客開催となったことで、飲食店は観戦客の来店が見込めなくなっている。一方、スーパーマーケットでは「ふだんよりも酒や総菜が良く売れており、全体の売上も好調」と、自宅で観戦する客の恩恵を受けているようである（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・仕事量が増えている。賞与や7月の昇給も平年並みである。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるので、感染拡大の抑制に期待している。当社製品の売上は個人消費の増減に左右されるが、これ以上の人流減少がなく、新型コロナウイルスが収束に向かってくれることを期待したい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（経営者）	・これまでの売上の落ち込みは、半導体減産による影響を間接的に受けたものであると分析しており、一時的なものだと考えている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス禍の中、マイカー通勤需要の増加もあり、今後も自動車の売行きは好調に推移する。
		輸送業（経営者）	・夏以降の受注量が増加している（東京都）。
		通信業（経営者）	・身の回りに若い経営者が多いためか、資金調達したもので事業投資して拡大する方が多い印象である（東京都）。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれて、徐々に正常化してくる（東京都）。
		金融業（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が収束に向かうと思われるので、業況も良化すると見込んでいる。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・全体的に仕事が増えている。
		食料品製造業（経営者）	・今の新型コロナウイルス感染者数の増加を見ると、2～3か月では景気が良くなるまでには至らない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・全く先が見えない。様子見の感がある。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・低位安定の見通しである。新型コロナウイルスの影響で客が外出を控えており、店頭に来客数はずっと低調のままできている。また、実用印を作るのは契約する際だが、契約自体が少ないのかとみている。飲食店等のショップカードの印刷も、店の客が少ないためか、1か月に1回来ていた客が今は3か月に1回くらいのペースになっている（東京都）。
		化学工業（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、先行きの不安が高まっており、閉塞感があるので、良くなるとは思えない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・医療品容器関連で大きな案件を抱えているが、新型コロナウイルスの影響で先送りされて進捗状況が悪く、余り明るい兆しはない。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の懸念材料はあるが、現状維持できそうである。
		金属製品製造業（経営者）	・得意先の仕事の回復はまだ先になるようなので、営業に力を入れて、他の仕事を集めて、何とか食いつないでいくしかない。
		金属製品製造業（経営者）	・東京オリンピック終了後の新型コロナウイルス感染状況次第だが、良い方向に向かうとは考えにくい。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの問題や東京オリンピックの終了、ワクチン接種の効果、半導体不足問題など、多くの不確定要因があり、先の景気が読めない（東京都）。
		その他製造業〔鞆〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが大分広がってきていることから、景気に対する見通しもある程度上向きになってきているとの情報が入ってきているので、期待している。
		輸送業（経営者）	・取扱量が増加する要因はなく、今後数か月に状況の大きな変化はない。ただし、燃料価格の上昇が続いており、先行きが大変懸念される（東京都）。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量は低迷が続いている。輸出は全くない。今後も現状が続く予想である。
		広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が伸びないと、不特定多数の人を呼び込む集客イベントの開催はまだまだ難しいそうである。
		税理士	・新型コロナウイルスの感染再拡大から再び緊急事態宣言が発出されており、埼玉、千葉、神奈川も追加されるといわれているが、このままで全然変わらないのではないかと。飲食店、医療、化粧品が悪いなどといわれているが、一方でスーパーなどはとても良いということもあり、どうなるか分からない。今までに経験のないことなので、この新型コロナウイルスの影響で悪い状況が何か月も続くのではないかと（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		税理士	・東京オリンピックによる景気回復は望めず、新型コロナウイルスのワクチン接種による感染者数の減少を待つしかない。飲食店は当然として、アパレル関係も厳しい状況は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・緊急事態宣言の再発出によって経済停滞感が広がり、当社の状態も変わらないものと予想される。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・夏休み期間が終わると、一段落するとみている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で更に悪くなるのではないかと。良くなる要素がない。
		精密機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響による大きな不安定化、原油や材料などの価格高騰と品薄による生産調整がある。半導体機器、工作機械の納期が1年以上になってきている。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大による影響が懸念される（東京都）。
		建設業（経営者）	・設備投資が進むかが鍵だが、今の状況下では難しいようである。
		建設業（営業担当）	・木材、鉄骨等の材料関係の供給が、3か月先も安定してこないと見込まれるため、当月よりもやや悪くなる。
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種者が増えてはいるが、感染者数増加にまだ歯止めが掛からず、東京オリンピック開催の影響も懸念材料である。また、最低賃金がアップすると、経営者にとっては人件費高騰になるので、利益減少の不安がある。全体的にはまだ景気回復までには至らない（東京都）。
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの2回接種が早く進み、感染が収束することを念ずるのみである（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・オフィステナントはともかく、飲食系テナントのなかには賃料減額では先行きが厳しく、営業自体を続けることが困難だと訴えるテナントが徐々に増えてきている（東京都）。
		広告代理店（営業担当）	・東京オリンピック後の新型コロナウイルス感染者数の増加と、政府の感染対策に伴う規制が続くそうである。一方で、世界では日常が復活しつつあるので、国外売上を見込んでいる企業は復調傾向となるが、当社は国内売上が基本のクライアント比重が多いので、先行きは依然不透明である（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続く見込みで、対人折衝の部分についてインターネット等を活用した対応努力をしている事業者は、多少、売上の減少に歯止めを掛けつつある（東京都）。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・最低賃金の値上げが決まったので、契約金額の値上げができなければ利益を圧迫する（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・再び緊急事態宣言に入ったことと、これから新型コロナウイルス感染者数の増加が考えられ、秋も多くのイベントがなくなると思うので、売上は上がらないと予想している（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の増加による規制が今後どうなるのか分からない（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・新型コロナウイルス感染者数の増加もあり、広告宣伝の動きが更に鈍化する。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で経済が低迷しており、政策的になかなか上向きになっていない。恐らくこの状況は当分続くと思うので、景気は余り良くならない。
	×	建設業（経営者）	・東京オリンピックが終わり、新型コロナウイルスのワクチンの接種が早く進めば変わるかもしれない。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が猛威になっているため、これを脱しなければ景気回復は見込めない。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（社員）	・東京オリンピック終了後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むとともに新規感染者数が減少し、外食、レジャー関連の規制が徐々に緩和されることが期待される。
		人材派遣会社（営業担当）	・派遣先からの募集数は2019年比で80%まで回復しており、引き続き募集増の傾向である（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・今後は新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、求人数が更に増えてくることが見込まれる。
		人材派遣会社（社員）	・長期派遣労働者の稼働者数も2020年11月以降、緩やかに上昇トレンドにあるため、引き続き良くなっていく（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・派遣から請負受託への切替えが進み、請負事業の売上が伸びている。アウトソーシング部門の売上は今後も伸びる見込みである（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・自動車業界でEVに関連する開発が増加している。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・採用数が増えれば、全体の売上なども増えていくのではないかと（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・東京オリンピック開催による国民感情の反発により人流が増え、消費が増えるのではないかと（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・現状の施策では、新型コロナウイルス禍に有効打にならず、長期的に影響が続く（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・人材派遣とアウトソーシングの需要がより高まる予想だが、人材紹介の需要見通しがまだまだ厳しい状況から、全体としては変わらない（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン供給量が不透明ななか、経済回復の見通しが立たず、人材派遣の依頼についてもちゅうちょしている会社が多いように見受けられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今が最悪のどん底状態なので、これ以上悪くなると困る。そうならないように何とかしたい。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展と、緊急事態宣言に対する慣れによって今後どうなるか、手探りの状況ではないか。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により感染が収束に向かうことが経済活動復活への要件となるが、東京オリンピック開催による感染者数増加の懸念に加え、首都圏の感染者数がリバウンド傾向にあることなどから状況が急変する可能性があり、先行きが見通せない。
		職業安定所（職員）	・一部の企業では新型コロナウイルス後を見据えて求人を再開する動きがある。一方で、感染拡大により求職活動の停滞、長期化が進むものとみている（東京都）。
		職業安定所（職員）	・有効求人数が2か月連続して減少している。前年比は5か月連続して改善傾向にあるもののマイナス状態に変わりはなく、大きな変化はみられない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、来期へ向けて採用を検討し始めている。インターンシップのイベントは活発になるとみている（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が見通せないなか、次への判断、決断にちゅうちょする姿勢がまだ見受けられる（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が効果的に進展し、人々の不安感が低下しないと、経済は活性化しない。新型コロナウイルスとの共生が必須である（東京都）。
		人材派遣会社（経理担当）	・今月に入り派遣求人数が大幅に減少している。従来、夏場は派遣求人数が減少する傾向のため、全体的に派遣市場は冷え込むと予想している（東京都）。
		求人情報誌制作会社（営業）	・新型コロナウイルス感染者数が増えているという事実と、東京オリンピックが終了することにより、仕事が減ってしまうのではないかと。2～3か月先の景気は下向いていると予想している。
	×	求人情報誌制作会社（所長）	・新型コロナウイルス感染者数が再拡大している。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (甲信越)		都市型ホテル（支配人）	・前年とは違い、無観客開催とはいえ北信越地域の高校総体が行われる等、今年は各種大会が開催される。これに伴う宿泊予約が、入ってきている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・相談が増えてきている。もちろん、新型コロナウイルスの影響もあるが、少人数、低価格、寺社抜きの葬儀スタイルは、新型コロナウイルス感染症が終息しても変わらない感じがする。
		商店街（代表者）	・東京オリンピック・パラリンピックも景気浮揚策にはならず、新型コロナウイルスのワクチン接種に希望をつなげるしなくなっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（店長）	・高齢者の新型コロナウイルスのワクチン接種がほぼ終わっており、その下の世代の接種に移っている。これが進めば店にも客が戻ってくるのではないかと。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種率が向上することで国民が安心感を覚え、新型コロナウイルスの感染者が増えたとしても、人は動き景気は上向くとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染がやや落ち着きが見えたことや、ワクチン接種の件もあるが、今年は暑さが異常で、売上は前年より若干良いかと思っている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンを若い人が接種するようになれば、人は動くと思うのでやや良くなる。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波がきていて、会食の機会が少ないためか、高額でも良い物を食べたいという客の欲求は高まっている。ワクチン接種が進んで、少しでも感染拡大が収まってくれば、以前よりも宴会等は増えてくる。
		一般レストラン（経営者）	・県独自のクーポンに続き、9月から当市のプレミアム付商品券の発売が始まる。新型コロナウイルスのワクチン接種の状況も踏まえ、8月いっぱいでは他県往来客の制限解除も予定されているので、期待値を含め、良くなる。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が完了してきて、徐々に売上が回復してきている。コロナ前と比較すると、まだ50%程度だが、3か月後には65%程度まで回復すると見込んでいる。
		観光名所（職員）	・変異株による感染拡大のリスクは残るものの、新型コロナウイルスによる新しい生活スタイルの定着や大半の方のワクチン接種が終わることで、観光客も徐々に戻ってくると予想している。
		遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、万全な受入体制を整え、積極的に集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの来園客を期待する。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルス禍の収束で、やや良くなる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種もほぼ済んで、少しは落ち着いた日常になっていくことを期待したい。ただし、娯楽に向かう出費を商材購入に向かわせることは、厳しい状況が予想される。コロナ禍による巣籠り生活で、より一層、通販やインターネット購入が定着してきていることも侮れない。
		百貨店（営業担当）	・現在、新型コロナウイルスが感染拡大中なので、ある程度収束しないと、この状況は収まらない。ワクチン接種もまだ2～3か月では終わらないと思うので、接種が終わってからではないかと。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が、県民に行き渡らない限り、景気は回復しない。当市のライブハウスでは現在の建物の解体に伴い、移転準備をしている。仕事が激減しているなかでの決断で、移転先は駅から徒歩3分と掛からない一等地の4階建てビルの3～4階を借りて、10月から営業予定とのことである。新型コロナウイルスの影響で、居酒屋が撤退したことで立地の良い所で営業ができそうだということである。当店では弁当を無料提供して応援している。
		コンビニ（店長）	・今年は暑くなるなどの長期予報もあり、実際暑くなってくると売れそうだが、固形物がなかなか動かなくなるので、それほど変わらない。東京オリンピックも影響が大きく出ることはないので、余り変わらない。
		家電量販店（店長）	・来客数は依然として減少傾向で変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響は今後しばらくは続くともみている。
		自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、客足が戻れば、回復の可能性もあるが、難しいのではないかと。
		スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、これ以上悪くならず変わらないでほしいという意味である。本当に今、大変な病にかかっているような感じで、困っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・周りにちらほらワクチン接種が完了した客もいるので、少し安心感はある。ただし、いまだに新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向に至っておらず、企業等が接待禁止令をまだ解いていないので、今後もなかなか難しいと言わざるを得ない。
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況によるところが大きく、景気は判断できない。感染者数が減少に向かえば、必ず人流が活発になり景気は回復に向かうと予想される。ただし、現状では先が見えないため、動きが止まっている。今後の感染状況が景気回復の鍵であることは間違いない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況によって、大分変わってくるのではないかと。
		通信会社（経営者）	・地方経済の活気はいまだ戻らず、加えて好転する材料もないことから、今後も厳しいのではないかと。
		通信会社（社員）	・今のところ目立った動きはないので、広告等で需要を促進していく必要がある。
		その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、難しい。
		その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・人の動きは大分出てきているようだが、やはり新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないことや、ワクチン接種が大変遅れていることで、先行きは不透明である。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、東京からの避難所的な意味合いでの別荘需要が続いている。
		商店街（代表者）	・回復のめどが全く立たない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、スポーツクラブ等もやまなくなっているせいか、店頭の売上もずっと落ちたままの状態なので、今後も良くない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・東京オリンピックも終わり、季節も変わり、良くなる要素が見当たらない。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が若年層に進めば、外食需要が戻り、内食にとっては逆風となる。
		コンビニ（経営者）	・東京オリンピックが終了し、やや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波が来る可能性もあり、再び入客が少なくなるのではないかと。前々年とデータを比べても、まだ前々年に達していない時期もある。これから再び来客数が減ってしまうのではないかと心配している。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染者数急増で、やや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・繰り返される新型コロナウイルスの感染拡大で、さすがにどうしようもない状況に陥りそうである。廃業、倒産が加速するのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・日々、新型コロナウイルスの感染者数が増加していることで、先の予約キャンセルが増えてきている。ワクチン接種者が増えないことには団体利用等は見込めないため、接種が遅れている状況では先行きが見通せない。また、接種者が以前より確実に増加している現状でも、客の様子は接種開始前とさほど変わっていないことが、この先の大きな懸念でもある。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がみられない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・電子部品の欠品を主因として、当社売上の上位である車両販売の納期が大幅に遅れている。
	×	その他専門店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が始まって最大のピークで、東京都の感染者数は3865人と爆発的に増えている。この山を、素人の自分が推測しても、谷の最低になるのに1か月や1か月半では終わらないと思っている。2～3か月は掛かり、ワクチン接種もあるが、非常に今までと違った局面で厳しいのではないかと。
	×	スナック（経営者）	・11月までに希望者への新型コロナウイルスのワクチン接種が終わるとのことなので、忘年会シーズンは営業できるとみているが、それまでは我慢しなければならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・当県独自の県民割引施策の利用停止がやはり大きく影響する。当社の予算枠の750万円が終了し、追加で500万円もらったが、それが使用できなくなる。更にGo To Eatキャンペーンの使用もできなくなる。2週間で、レストランで約250万円分のGo To Eatキャンペーンの利用があったので、使えなくなると影響が大きい。	
	×	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される。感染者数が収まらない限り、今の状況が良くなることはない。高齢者のワクチン接種は進んでいるが、若年層の接種も早期に進んで、徐々にでも景気が回復することを願っている。	
	×	設計事務所（経営者）	・現在抱えている仕事が終わると次の予定が少ないため、従業員の手があいてきてしまう。	
企業 動向 関連 (甲信越)		金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調で、良くなる。	
		電気機械器具製造業（営業担当）	・この先数か月分の生産量は、ある程度確保できている。	
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・2～3か月後に新型コロナウイルスのワクチン効果が出て、旅行や会食ができるようになり、徐々に回復することを期待している。	
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せて、やや良くなるのではないかと。	
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・首都圏を中心に、新型コロナウイルスは感染拡大傾向にあり、東京オリンピック終了まで続く予想する。また、都内の取引先から街の様子を聞く限り、感染は止まらないようである。東京オリンピック後に、一層の感染予防策等、一時的に経済活動が制限されると思うが、秋にはワクチン接種の拡大とともに上向きになってくる。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・期待はワークショップのみである。製品受注は予測すら立たない。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注見込みは上向きではあるものの、半導体供給が不透明であり、見込みどおりの受注となるかが不透明である。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品の入荷状況次第で良くなると思うが、入荷見通しの立たない状況が懸念される。	
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないと、景気に明るさも見えてこない。	
		金融業（調査担当）	・製造業の改善が続く一方、非製造業は悪化の見通しとなっており、格差の更なる拡大が予想される。	
		金融業（経営企画担当）	・東京オリンピック・パラリンピック開催等の好条件はあるものの、東京都を中心に、新型コロナウイルスはいまだ収束がみえない。衆議院議員選挙を控え、政治や新型コロナウイルス禍の両面で、今後の景気動向が見通せないため、回復、後退共に判断が付かない。	
		食料品製造業（製造担当）	・緊急事態宣言発出中で販売点数は落ち込んでおり、売上は減少する。	
		×	食料品製造業（営業統括）	・新型コロナウイルスの変異株がまん延して、収束の気配がみられず、酒類業界は今年は見通しの付かない状況に陥っている。また、同業他社では原料購入量を買控えるメーカーも出てくると考えられる。
		×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず、毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)		-	-	
		職業安定所（職員）	・ワクチン接種が始まって、依然として感染者数は増加している。人々は、新型コロナウイルス禍の生活に慣れてきており、消費や行動に余り自粛している様子がみられない。	
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むため、やや良くなる。	
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種により、景気への期待感が見込めるため、やや良くなる。	
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスに対する不安から、先の見通せない状況が続いている。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	・7月下旬に新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増加してきているため、今後ワクチン接種が若年層に行き渡るまでには数か月の期間が必要となる。それまでは景気回復と求人募集は厳しい状況が続く。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（営業担当）	・年末にかけては夏のボーナス時と同様に収入減となり、消費にも影響が出る。

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		コンビニ（商品企画担当）	・ワクチン接種の進捗による集団免疫獲得により、外出控えが緩和し人が動き始めると予測する。
		一般レストラン（経営者）	・今は東京オリンピックの最中で、結果的に新型コロナウイルスの感染状況がどのようになるのか分からないが、皆に高揚感があって、良くなるかもしれない。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が進むため、そろそろ落ち着くと思う。
		商店街（代表者）	・若年層へのワクチン接種の増加により、景気はやや良くなると判断した。
		一般小売店〔惣菜〕（店長）	・ワクチン接種が進んでいるため、人の動きが活発になる。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・ワクチン接種が進むにつれて、買物に出掛ける機会も増えていくことを期待している。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は続くと考えられるが、秋期の受注増加が見込まれる。
		百貨店（企画担当）	・5～7月の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の期間は、来客数は増えていたものの売上は伸びなかったが、7月12日から県独自の厳重警戒措置に切り替わったタイミングで、消費者の購買意欲に変化が感じられる。要因として、長期にわたる規制が一段落したことや当社主客層の高齢者に対する順調なワクチン接種が挙げられる。来客数は前年比で30%以上伸びており、売上も前年だけでなく日別目標を超える日が出てきている。今後は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大等のマイナス要因が発生しなければ、景気は上向くと考えている。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルス変異株の発生、まん延が懸念されるものの、国民の多くがワクチン接種の2回目を終えることで、ビジネスとレジャーの両面からの人流増加が期待できる。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種が進むにつれ、各種イベントや催物が徐々に開催されるようになる。それに伴い外出する機会が増え、需要も増えて来客数増加が見込める。
		百貨店（計画担当）	・今のところは余り感じないが、今後ワクチン接種の効果が出てきて、来客数増加が見込まれる。
		スーパー（営業企画）	・東京オリンピックによる消費への刺激とワクチン接種の進行により、若干景気は上向くのではないかと。
		スーパー（販売担当）	・ワクチン接種が進むと、たくさんの方が出掛けるようになるため、来客数は今よりもっと増え、売上が上がると思う。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進み、感染者数が落ち着いていけば、行楽客中心に客の動きも少しずつ活発になることが予測される。この影響により、週末中心に来客数が伸長し出すと考える。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進んで、Go To Travelキャンペーンが再開すれば上向く。
		コンビニ（店長）	・競合店との競争力、店舗オペレーションの優位性によって、更に差別化が図れると考えられる。
	コンビニ（店長）	・ワクチン接種が進み、その影響もあって人出が増えていくようになると、売上、来客数共に増える予想である。	
	衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種の普及により外に出掛けることが増えるため、冬物衣料の購入は増えるように感じる。	
	衣料品専門店（売場担当）	・ワクチン接種が進むなか、高齢層による消費が進むと思われる。	
	衣料品専門店（売場担当）	・今はスーツの上下よりもワイシャツにパンツのセットを買う人が多いが、お盆明けからは、恐らく例年どおり上下のスーツを求める客が多くなると思う。	
	乗用車販売店（経営者）	・ワクチン接種が今より行き渡れば、状況改善が予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が大きく増加しても、東京オリンピックは開催されているなど、世間的には感染拡大を自分事とは捉えていないように感じる。来店客からは、無理やり経済が回り始めさせられているようにも感じるとも言われ、年末に向かって、これまで抑えられていた購買意欲が表に現れると期待する。
		乗用車販売店（従業員）	・全体的な流れと客の様子から、悪くないと思う。購買意欲は見受けられるように感じる。
		乗用車販売店（従業員）	・秋に向けて生産が正常に戻ると聞いているので、受注残の解消には期待していきたい。ただ、ここに来て新型コロナウイルス感染が拡大してきているので、消費マインドが落ち込まないか心配である。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・ワクチン接種率向上により人と会いやすくなる。
		高級レストラン（経営企画）	・自粛は当面続くが、ワクチン接種が飛躍的に進むことにより、通常の営業に近い形になることを期待している。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・ワクチン接種が進めば、心理的にも前向きになってくる。
		観光型ホテル（経営者）	・足元では新型コロナウイルスの感染が広がっているが、ワクチン接種が進めば今より悪くなることはないという見通しが立ち、現状よりは良くなると思う。ワクチン接種に対する抵抗感もあるようだが、接種が進むことによって徐々に景気回復の道筋がみえてくる。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響を脱して景気回復を期待している。
		旅行代理店（経営者）	・ここ数か月ずっと続いている新型コロナウイルスの感染拡大が少し収束に向かうと思われる。ワクチンも接種する人が増え、少し改善するのではないかと思う。
		通信会社（営業担当）	・今年中は、微妙ではあるが増加が見込まれる。
		美顔美容室（経営者）	・8月から年末までセット商品の販売があり、人気商品は注文のあった客の再購入がある。
		美容室（経営者）	・2～3か月先は少々涼しくもなってくるだろうし、ワクチン接種の2回目を終えた客も多いだろうから、段々と良くなってほしい。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・個人住宅の新築、工場の設備投資や企業の事務所改装などの引き合いがきており、今後を期待している。
		商店街（代表者）	・コロナ禍が落ち着くまでは、特に変化は期待できない。
		商店街（代表者）	・製造業や小売業で極端に稼働が低下しているため、今のところ来店客数の動きからしても、減少傾向には変化がない状況である。
		商店街（代表者）	・良くなる要素が見当たらない。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が大分行き渡るとは思われるが、景気回復にはまだ時間が掛かりそうである。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・早く自由に出歩ける世の中になってほしい。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・東京オリンピックが無事に終われば次は衆議院選挙である。この選挙の結果次第ではいろいろ変動すると思う。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新型コロナウイルスのリバウンドで、まだまだ客の自粛があり、飲食店への客足は限定的で以前のように戻ってこないと考えられる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・ワクチン接種が進み新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、景気回復は望めない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・まだまだワクチン接種の効果期待するのは無理である。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・東京オリンピックは思った以上に盛り上がりなかった。人との関わり合いが余り増えず、3か月先もギフト業界では今の状態が続く好転しない。残念だが人との付き合いの幅は広がらないと考える。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		百貨店（売場主任）	・購買意欲のある客が来店しても商品がないため、取り寄せ等でなかなか売上には結び付かない。インポート品も入荷が遅いため、売上としては厳しいと思う。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、来客数の減少につながるの痛い、休業協力要請等がなければ、一定程度の売上は確保できるのではないかと想定している。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス第5波のパンデミックがすごく、営業自粛の状態に戻る想定も必要と考える。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染予防のワクチン接種効果を期待したいところであるが、ここ数日の様子を見てみると、観光地に足を運んでもらえる状況には遠いように思う。
		スーパー（店員）	・夏の花火大会や盆踊りなどのイベントが中止になり、その影響は大きいと思う。東京オリンピックの自宅観戦による飲食の売上に期待している。
		スーパー（商品開発担当）	・売上はほぼ例年どおりに推移しているため、前年比で見ていくと100%を切るのではないかと考える。新型コロナウイルス関連需要に対しての差額が大きいと、それを埋める対策もなく、今後も苦戦が続くと考える。
		スーパー（販売担当）	・小売業では、新型コロナウイルスの感染が落ち着いてからの伸長策が問われている。企業の対応が業績を左右する状況が顕著になりそうのため、全ての企業が明るくなるとは言い難い状況を強く感じている。
		スーパー（支店長）	・東京オリンピック明けには新型コロナウイルスの新規感染者数が更に加速して増える可能性があり、とても明るい希望が持てるようには感じない。ますます消費も冷え込むと思われ、明るい希望が持てない。本当に不安と心配しかない。
		スーパー（総務）	・新型コロナウイルス第5波の到来、変異株と不安要素が多く、明るい未来がまだみえない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加は気になるのだが、販売量には下げ止まりを感じる。ワクチン接種が進んで、徐々に回復するのではないかと。
		コンビニ（企画担当）	・回復が進むことを期待していたが、新型コロナウイルスの感染者が急増しており、回復スピードが減速する可能性がある。
		コンビニ（エリア担当）	・コロナ禍ではあるが、来客数は5%伸張し、そのお陰で米飯も8%の伸張を維持していることから、極端にコロナ禍でも来客数減少にならないと思われ、今月と比較して変わらないと予想する。酒類やデザートも好調で、家庭用需要も安定してきていると思われる。
		コンビニ（店長）	・3か月前よりは来客数が上昇したが、本来の7月の売上にはやや遠い。新型コロナウイルスの変異株を中心とした感染者数増加の影響はいずれ当地にもやってきそうで先行き心配である。
		コンビニ（商品開発担当）	・東京オリンピックによる効果を期待したいが、新型コロナウイルス感染拡大に落ち着きがみられないため、当面は厳しい流れが続くと考える。
		コンビニ（本部管理担当）	・足元のプラス材料の恩恵を受け、今後も右肩上がりの業況を期待したい。しかし、東京オリンピック後のコロナ禍の状況は最悪と想定しているため、景気に対する期待感を持っていない。
		衣料品専門店（経営者）	・65歳以上のワクチン接種が進んでいるため、少しずつでも人出が戻ることを期待する。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・早くワクチンを広めてもらわないと、ウィズコロナの形がみえない。
		家電量販店（店員）	・半導体不足で商品の手配が厳しくなるかと思ったが、今のところ影響は少ない。しばらくはこの良い状態が続くと思う。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・東京オリンピックが終わればお祭り気分も冷め、新型コロナウイルスの感染拡大によるマインドの冷え込みがありそうである。残暑でエアコンが売れそうだが、来客数減少で新型コロナウイルス発生以前の売上までの回復は見込めない。
		家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数の減少には至らない。
		乗用車販売店（経営者）	・新車販売は半導体不足の影響がまだ続くと思われる。反面、中古車市場は活況となっている。
		乗用車販売店（経営者）	・全般的に先の見えない不安が客にも見受けられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売が確実に見込める要素がなく、新型車が出て売れば今ある車種が売れなくなるだけで販売の増加にはつながらない。新規客がほとんどないため、販売に関しては自社客からの乗換えを促進するしか方法がない。
		住関連専門店（営業担当）	・東京オリンピックで新型コロナウイルスの影響が中断したような形で、市場も動きが鈍い。ただ、住宅案件では、水回りを中心に細かい物件ではあるがリフォーム工事などが出ている。商業施設も、少しずつ年末から来年に掛けての商談が入り始めている。
		その他専門店〔茶器〕（店員）	・まだまだコロナ禍は続くと思う。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・前年までの巣籠り需要もなく売上も落ち着いてきているが、例年並みに戻っている様子で、前年が良すぎたため前年よりは売上が1割程度減ってきている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前々年比マイナス12.7%、来客数は前々年比マイナス19.4%である。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種を含めて、まだまだ良くなる可能性がみえてこない。
		一般レストラン（経営者）	・少し先が見通せない状況である。新型コロナウイルスの感染者数も増えてきているので、やや心配である。
		一般レストラン（従業員）	・新型コロナウイルス変異株のまん延により、自粛モードが長引く。
		バー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症次第である。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・コロナ禍のなかでも消費者の消費意欲は衰えていないと感じる。しかし、新型コロナウイルスの影響により営業自体に制限が設けられている業種にとっては、先行きが見えない。
		観光型ホテル（支配人）	・変わらないというより全く想像も付かない、分からないといった方が正しい。今の感染状況では東京オリンピックが終わるか途中でも、関東圏だけではなく当地方まで何らかの宣言が発出される可能性が大いにある。秋以降に入りかけている宿泊宴会の予約もどうなることか心配でならない。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気は変わらないと判断した。
		都市型ホテル（営業担当）	・ビジネス利用の停滞、団体利用の停止で個人利用が頼りだけが見込み薄と考えると、現状と余り変わらないと予測する。
		旅行代理店（経営者）	・振興施策で旅行需要は増えているが、期限が8月31日までなので、それ以降の動向が不安である。
		旅行代理店（経営者）	・ワクチン接種率いかにあるが、着実に収束するという実感がなければ、居酒屋、レストランや駅前のコンビニ等には在宅勤務の影響がある。人出が戻ってきているといっても、新型コロナウイルス発生以前に戻るのには、まだまだ先になる。
		旅行代理店（経営者）	・ワクチン接種が11～12月くらいまでは掛かりそうなので、しばらく状況が良くなるとは思えない。国民の80%がワクチン接種をしたら、ワクチン接種済みの人はGo To Travelキャンペーンで旅行ができるというような話をすれば、ワクチン接種率も上がりそうに思われる。安心、安全で旅行できるような雰囲気を作ってほしい。
		旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種の進捗次第と思う。修学旅行にも、実施に当たってのガイドラインが示されプレーキが掛かっている状況である。年内の旅行需要回復は期待薄である。
		タクシー運転手	・例年8月は旅行や帰省などで人の移動があり忙しくなる月だが、緊急事態宣言の対象が増え、当地もまん延防止等重点措置の対象となるかもしれない、なかなか正常には戻らないため厳しい。
		タクシー運転手	・業界的に、一度落ち込んだ景気はなかなか戻らない。
		通信会社（サービス担当）	・ほとんどの家庭で光回線が普及しているため、たとえ新規契約があっても他社からの乗換えなどで実質はプラスマイナスゼロである。
		テーマパーク（職員）	・先行きが見えない新型コロナウイルスの感染状況、前年秋のGo To Travelキャンペーンのような施策が期待できないとなると難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数もかなり多くなってきていて、ワクチン接種も減速した。東京オリンピックも無観客となり今後の不安が増した感じである。
		ゴルフ場（支配人）	・今後2～3か月先の入場者予約数は、前年の同日比を上回っている。前年8月以降の入場者数は新型コロナウイルス感染症の影響を余り受けていない数字なので、景気は変わらず、好調に推移すると思う。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・当地に関しては新型コロナウイルスの感染者数が多くないものの、行政の指導もあり外出者数は少ない。夏休みで多少学生の乗車があるが、一般客の利用は少なめである。夏のイベントの中止等もあり、回復を期待できない。
		美容室（経営者）	・ワクチン接種がかなり普及してきているが、新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、また客足が悪くなると考える。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・猛暑が続けば移動用商品群の出荷が伸び悩むため、残暑が長く続かなければと祈るばかりである。
		設計事務所（経営者）	・不安定な状態のまま推移している。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加もあり、まだこの状況は続くと思われる。
		住宅販売会社（従業員）	・金融機関で貸付けの期間が40年という長期が始め、少しだけ月額返済額が減少したことで新築住宅への意欲が湧いてきたように思われる。しかし、総返済額は増え、貸付金利の上昇があった場合に返済に耐えられるのかという不安がある。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・賃貸業界では第2の繁忙期に入るので期待はしているが、緊急事態宣言発出の有無で大幅な修正が必要になる可能性がある。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・東京オリンピック期間中はまだ何とかなると思うが、終わった後に新型コロナウイルスの感染状況も更にひどくなるだろうし、恐らく大変な状況になると考える。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況がもう一度悪くなると思われる。
		百貨店（販売担当）	・東京での緊急事態宣言発出後、来客数はゆっくり下がりがつづいた。
		百貨店（業績管理担当）	・直近では売上が少しずつ回復してきているものの、足元で感染の拡大が続いており、来客数や売上に悪影響が出ると考えられる。
		百貨店（販売担当）	・この先緊急事態宣言が発出されないとは限らないため、見通しを立てるのは難しいが、良くなることはしばらく見込めない。
		スーパー（店長）	・2～3か月先には一般の人のワクチン接種も進んでおり、新型コロナウイルス感染への危機感が今より更に薄くなり、以前の生活へと戻っていくと思われる。ただし、今以上に来客数が増えることはない。
		スーパー（ブロック長）	・東京オリンピック期間中に新型コロナウイルスの感染者数が増えて、また緊急事態宣言の発出ということになれば、食品小売業には少し追い風かもしれないが、大きな伸びは期待できないと考える。
		コンビニ（店長）	・ワクチンの職域接種の遅れや他地域では感染が再拡大しているため、ワクチン接種では抑えられないと思う。
		コンビニ（店員）	・今がピークで、ここから来客数が減少傾向となる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が急速な広がりを見せ始め、緊張感のある数字を目にしている。今後の広がり次第では、経済にも今までにない影響が出そうである。
		乗用車販売店（販売担当）	・世界的な半導体不足により、今後入荷してくる車もそうであるが、いろいろなオプションが削除されている。それに不満を持つ客も多く、半導体不足が影響してくると思う。
		乗用車販売店（営業担当）	・東京オリンピックが終わった後の盛り下がりに加えて、増え続ける新型コロナウイルス感染者と、商品も部品不足で生産遅延の案内がメーカーからきており売物がなくなっているため、見通しは悪い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックと当地では国体があり、同時期に衆議院選挙が行われることを見越すと、客足が伸びるとは思えない。3つのイベントは、本来景気回復を見込めそうなプラス要因だが、新型コロナウイルスの感染が絡むと、景気は180度反転しているように思える。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・第5波の新型コロナウイルス変異株の影響で、東京オリンピック後の景気マインドの押し下げが懸念される。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス第5波の変異株による感染の急拡大で、今まで以上の打撃を受ける予感がする。ワクチン接種の進み具合にもよるが、旅行業界の復活はまだ半年以上は無理だと感じる。
		通信会社（企画担当）	・インターネット利用におけるWi-Fiの必要性が薄れている可能性もあるが、4月以降、客からの引き合いが減ってきている。インターネットを低料金のスマートフォンに一本化して節約しようとする動きがあるのかもしれない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス特需の在宅勤務の回線需要がほぼ落ち着いてきた。
		レジャーランド（職員）	・新型コロナウイルス第5波の予兆があり、最繁忙期である8月には感染拡大がないことを願いたい。ワクチン接種ペースが鈍化していることから、秋～冬季の集客予測の見直しが必要である。
		観光名所（案内係）	・街全体の様子を見てもやはり人通りは少ない。これから2～3か月で良くなるという要素は何もみえない。新型コロナウイルス感染症の動向が気になる。
		パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響で客が来店を手控えている。
		理美容室（経営者）	・まだまだ皆出歩かないため、景気は余り上向きにならないと思う。
		設計事務所（職員）	・依然としてコロナ禍ということで、景気の良くなるような方策が全くみえていない。
		住宅販売会社（従業員）	・販売の後押しがなくなり少し落ち着くと思われる。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・商談、見積りも増えてはきているが、受注、契約まではなかなか結び付かない。景気が前向きな方向に向かっていないため心配である。
	×	スーパー（販売担当）	・3か月後に近隣に大型ショッピングセンターがリニューアルオープンする。
	×	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染がこのまま落ち着けば景気は良くなっていくと思うが、今の雰囲気を見るとどう考えても第5波でもっとひどい状態になりそうである。皆のワクチン接種が終了する前にまたひどい状況になってしまうことを懸念する。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルス変異株の広がりとそれに対する国、地方自治体の対応次第である。宿泊は先週からキャンセルが急増した。レストランの予約もない状況である。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは難しい。
	×	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・ワクチン不足もあり、情勢の安定がみえてこない。
	×	理容室（経営者）	・仕事が減るばかりである。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客は外に出ない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・特に衣料品の価格が少し上がっているため、実質的に住宅ローンに回す金が少なくなり、今後は分譲住宅も厳しくなると思われる。
企業 動向 関連 (東海)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・製造業は全般的に増産傾向にある。材料不足が一番の問題点になりつつあり、車ですえもIC、鉄の不足で生産調整している。これが解消してくれば更に増産も可能な状況である。工作機械を新規で頼んでいる同業者が多い。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・現在感染が拡大しつつある新型コロナウイルス感染症は、ワクチンの普及とともに沈静化すると思われ、景気は徐々に回復していくものと考えられる。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・ワクチン接種の浸透で、更に人流が増加していくと思う。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数は高い水準で停滞しても、重傷者数や死者数が減少することで、インフルエンザと同程度のリスク意識になり、経済活動が復活していく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（経営者）	・ 今後はワクチン接種が更に進み、徐々に外出する人が増加すると予想する。売上は徐々に回復していき、前年を上回ると思われる。
		不動産業（経営者）	・ 表面的に顕著には現れていないが、生活環境の改変を望む客が多いと推測する。
		広告代理店（制作担当）	・ 秋口にはワクチン接種が終わっているとの見通しだが、逆に気持ちの緩みでリバウンド感染が出る予想もあり、期待はできない。
		会計事務所（職員）	・ 1年以上にわたるステイホームに嫌気が差してきている。ワクチン接種も進んできていることから、少しずつ外出は多くなっている。東京オリンピックが終われば、東京オリンピックもやれたことだしという意識から、外へ出掛ける人も増えてくると思う。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・ 東京オリンピックが開催されたが、全国的に新型コロナウイルスの感染者数が日々増加して、特に若い人でワクチン接種がまだ済んでいない人の感染が多い。例年9～10月は秋需が見込まれるが、これらの影響で今年はその状況ではなく、現状の景気が続くものと思われる。
		化学工業（営業担当）	・ 需要の好調が継続する。
		化学工業（総務秘書）	・ 東京オリンピックが終われば感染対策に集中するよう政府、マスコミが先導し、景気は消沈気味になる。一旦収束を迎えられるように、もうしばらく耐えるしかない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・ 客に目一杯納期を延ばしてもらっている状況なので、しばらくは生産が追い付かない状況が続くそうである。新規開拓分野であるキャンプ用のセラミックス製品も、予想以上に好調であり、OEMの依頼も入っている。
		金属製品製造業（経営者）	・ 引き合いも減少しており、引き続き良くない傾向が続くと考える。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・ 受注量、販売量の見込みから、景気は変わらないと判断する。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・ 人員を増やしてもすぐには効果が出ず、納期遅れなど他社の問題には対応が困難である。
		建設業（経営者）	・ 政治家のリーダーシップがなさすぎて、これでは日本は本当に不安で仕方がない。
		建設業（営業担当）	・ 当社は生活に関わる職業のため、直接的には右往左往しない。外仕事で受注する仕事においては、業種や各企業のやり方によって景気の良いところから仕事が出てきたりする場合もある。これから先の数か月は、どちらともいえない状態であろうと思う。
		輸送業（従業員）	・ 足元の新型コロナウイルスの感染拡大状況を考えると、いつ前年のように荷主の動きが止まってしまうか分からない。
		輸送業（エリア担当）	・ コロナ禍で一度通販を利用した客は、引き続き利用する。安定して増加している。
		通信業（法人営業担当）	・ 国の税収が60兆円を超えている。政治主導の経済政策の効果かもしれないが、企業によって状況は分かれている。
		金融業（従業員）	・ 東京オリンピックでも海外からの感染者はほぼないに等しいが、日本の景気がどうなるのか心配をしている人が非常に多い。景気と感染症対策が両立するかと考えると、どちらともいえない。
		金融業（従業員）	・ ワクチン接種のスピードが減速している。また、ワクチン接種が進んでも、今までと変わらない生活を送らざるを得ない状況である。新型コロナウイルスは感染拡大の傾向にあることから、景気は変わらないと思う。
		金融業（企画担当）	・ 新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるため、人々の行動も慎重になっている。新規感染者数が減少していかないと行動も変わらず、景気回復に向かわないとみる経営者が多い。
		行政書士	・ 売上は伸びないで現状維持である。
		会計事務所（職員）	・ 7月の売上も例年並みとなった。この先も新型コロナウイルスの感染拡大が、少なからず消費者の動向にマイナスの影響を与えることになるが、コロナ慣れ、ワクチンの普及もあり、景気については、現状より悪化することも良くなることもないと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他非製造業〔ソフト開発〕(経営者)	・現在の経済を取り巻く環境を考えれば、非常に悪い状態も考えられる。特許申請から4か月ほどたったが、本業が忙しくなかなか手が回らない製品開発を早め、早く立ち上げる必要がある。
		食料品製造業(営業担当)	・受注量回復の要素が見当たらない。取引先においても深刻な状況である。
		食料品製造業(経営企画担当)	・東京オリンピック、お盆休みと人流が激しくなる反動で、9月以降の消費マインドの減退が懸念される。
		鉄鋼業(経営者)	・好転する要因がない。鉄鋼メーカーから我々販売サイドだけへの一方的な大幅値上げが続き、中小企業の経営を圧迫することしか起こらない。日本のものづくりを潰す気であると思えない。
		金属製品製造業(従業員)	・仕事量が秋から増えるという見方もあれば、今年度中は動かないという見方もあり先が見えないが、原材料コスト高は間違いないので、余り良い状況ではない。
		一般機械器具製造業(営業担当)	・コロナ禍の自粛の反動で、引き合いや受注が増えているが、今度は半導体部品の不足で自動車の生産にブレーキが掛かっており、設備投資の見通しは明るくない。
		電気機械器具製造業(経営者)	・3か月以内に再度鋼材値上げの話が届いている。値上げはされるし納品はされなくて、全体的には単価が上がり生産販売が困難になると思われる。
		輸送用機械器具製造業(総務経理担当)	・インドネシアやタイで新型コロナウイルスの感染者数が増えているということで、自動車会社の生産量が下がってくる。その分部品数も減るため、自動車部品会社の売上は少々下がるのではないかと考える。
		建設業(役員)	・当エリアでも供給過多の影響で完成在庫が増えてきた。他社は大幅値引き販売で処分している。ウッドショックや新型コロナウイルスなどマイナス要因はあるが、住宅の景気対策など特に目立った施策がないので厳しくなる。
		輸送業(経営者)	・東南アジアにおける新型コロナウイルスの感染拡大で、必要物資が不足し始めており工場の稼働に影響が広がると思われる。
		輸送業(エリア担当)	・東京オリンピックが終わって一時の特需が絶えてしまう。ワクチン接種が段々と進み楽観的なムードが漂い始めているが、実体経済の回復の裏付けとなるような様々な要因、土地が売れ始めているとか建設受注の予定が増えているという話は周りから聞こえてこない。むしろ東京オリンピック以降はどうなるのだろうという声が一般的であるため、景気は下がっていくのではないかと考える。
		通信業(法人営業担当)	・一強他弱となる飲食店に限らず、多様なチャレンジが生まれない業種が増えていくと、経済が停滞し、生活は潤わず、心もすさむ。経済的な豊かさとは別の次元での幸福を感じる方法を知らない日本人の心は、この先どんどん沈み、経済とともに悪い循環になっていくと感じる。
		新聞販売店〔広告〕(店主)	・依然として折込チラシの受注が低調である。
		公認会計士	・新型コロナウイルス感染症の影響で多額の負債の発生や収益性が低下した企業があり、これらの改善には10年程度掛かると考えられる。中堅・中小企業の生産性向上や事業承継対策の解決には、相当程度の時間が掛かると考えられる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕(社員)	・新型コロナウイルスの影響で稼働日が減り、遠方の客も来店できないため、期待することがまだできない。
	x	出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が所々に出ている。今のうちに手を打っておかないと本当に大変なことになる。実際に周りをみても、給料が下がっている、売上が減っている、失業しているなど、本当に目も当てられない状態になっている。これからどんどんもっと悪くなると思う。
雇用 関連 (東海)		-	-
		人材派遣会社(企画統括)	・東京オリンピック開催の効果による景気回復が見込まれる。
		アウトソーシング企業(エリア担当)	・今後も自動車生産における景気は良くなると予想するが、半導体不足が今後の生産に影響を与える懸念がある。景気が上向き足かせとならなければと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染状況は不透明だが、ワクチン接種が進む高齢者を軸に人の動きが戻ってくると思われる。
		職業安定所(所長)	・新規求人数が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同期と比較して、緩やかではあるが増加傾向にある。
		職業安定所(職員)	・製造業においては、半導体の納入遅れ等により一定日数の操業停止等を余儀なくされる事業所が多く今後不安はあるが、受注件数そのものは増えており、半導体の問題が解決すれば、景気は回復方向に向かっていくと思われる。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染状況もあるが、製造業を中心に少しずつ景気の回復傾向にあると感じる。
		職業安定所(職員)	・ワクチン接種が進むことで、求人は更に増えると思われる。
		職業安定所(次長)	・産業別新規求人数を前年同月と比較すると、増減にばらつきはあるものの全体では増加しており、特に基幹産業である製造業での増加傾向が続いている。コロナ禍での感染拡大の懸念から先行き不透明感は強いものの、徐々にアフターコロナに向けての期待と準備の動きが出始めた感がある。ただし、引き続き変異株の感染拡大に注視していく必要がある。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・お盆明けから転職希望者の活動意欲も上がり、年末や年度末の転職に向けて潜在需要が顕在化してくる可能性もある。
		人材派遣会社(経営企画)	・特段変化の要因はない。
		人材派遣会社(営業担当)	・求人数は横ばいから増加傾向にあるが、求人と求職のミスマッチから採用数は増加していない。
		人材派遣会社(営業担当)	・東京オリンピック開幕とともに新型コロナウイルスの第5波もきているため、先行き不透明感が強い。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響を注視していく必要があるが、好転する要素は見当たらない。
		民間職業紹介機関(窓口担当)	・無観客開催の東京オリンピックで経済効果も当初ほど期待できず、再び新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されている状況下で、先の見通しは明るくないと感じる。
		学校〔専門学校〕(就職担当)	・本学学生の大半は医療関係への就職であるが、前年と比較して採用数が減少しており、採用試験の回数も減少している。全国的にも採用試験日程が早い当県において、他県から受験する学生が増加している。
		人材派遣業(営業担当)	・東京オリンピック・パラリンピック終了後の新型コロナウイルス関連の規制に左右されると想定するが、回復の兆しが見えない。
		人材派遣会社(社員)	・客は夏季のリゾートホテルなので2~3か月先は悪くなるが、来月の予約は好調で足元の利用は多くなる。
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・4連休や東京オリンピックで新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に悪化しており、今後、秋に向けての状況には大きな不安がある。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染症による雇用調整が長引くなか、雇用調整助成金等の助成措置だけでは経営が滞り、資金繰り等による倒産・廃業等が徐々に発生し始めている。
	×	人材派遣会社(営業担当)	・主要客との受託契約は、10月からの予算削減が計画上決まっており、エンジニア稼働率の低下が確実である。

7. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北陸)		*	*
		商店街(代表者)	・ワクチン接種を急ぎ、人が集まれる環境にすることが何よりも重要である。
		百貨店(販売促進担当)	・ワクチン接種の進み方次第だが、旅行や冠婚葬祭等の集いが回復するとみている。アパレルや雑貨など関連した買物が増えるの見込んでいる。
		コンビニ(経営者)	・地域共通クーポンの使用が出てきている。
		コンビニ(店舗管理)	・集団免疫獲得による新型コロナウイルスの沈静化に期待している。
		コンビニ(営業)	・ワクチンに期待しているので、収束に向かえば来客数は戻ってくる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・前年や今年の悪かった点を精査し、学習して修正してするため、良くなるとみている。
		一般レストラン（統括）	・ワクチン接種が進み、現在の新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着くため、10月以降は人の動きが活発化すると見込んでいる。
		観光型旅館（経営者）	・ワクチン接種率の向上に伴い、行動規制が緩和され、旅行に出掛ける人も増えるとみている。また、秋以降にGo Toキャンペーンの再開も検討されているようで、今後に期待ができる。
		商店街（代表者）	・街中のイメージアップのため、商店街でワクチンの職域接種を計画しているが、ワクチン不足のため、まだ予定が立っていない。安心して買物できる環境が整うまで、まだ時間が掛かりそうである。
		一般小売店〔事務用品〕（店長）	・ワクチン接種が進んで感染状況が落ち着けば、来客数の増加が見込めるが、まだ先行きが見通せない状況では、現状の変化は見込めない。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、今後の動向もどうなるか本当に分からず、何とも言えない。
		百貨店（売場主任）	・当初は、今後2回のワクチン接種が進み、それまでの買い控えの反動によるリベンジ消費を期待していたが、ワクチンの3回接種が必要であれば状況の改善は期待できず、しばらくは厳しい状況が続くと見込んでいる。
		百貨店（営業企画）	・ワクチン接種が進めば、少しずつ行動範囲が広がり、購買意欲も出るとみている。
		百貨店（販売担当）	・東京オリンピック終了まで新型コロナウイルスによる感染者数の大幅な増加を予測しており、10月頃までは引き続き苦戦する。一方、11月をめぐりにワクチン接種者数の増加を見越せば、現状以上悪化しないとみている。しかし、改善には必需品以外の需要が必要で、年末年始までの改善はほとんどないと考える。来年の春前には、旅行や帰省、人の集まりなどが少し回復すると見込んでいる。店舗側の仕掛け次第では特需が発生する可能性もある。
		家電量販店（本部）	・ワクチンの効果に期待はあるが、冬に向けて感染者数が抑えられるかが課題である。
		乗用車販売店（経営者）	・異業種と情報交換を行っているが、コロナ禍での景気予測が大変難しい状況である。まだしばらくは変わらないとみている。
		乗用車販売店（役員）	・ワクチン接種は徐々に進んでいるが、50代以下の世代への接種が年内一杯必要とみられている。その結果、飲食業や宿泊施設を含む観光業界の回復は来年以降となり、それまでは現状とほぼ変わらない状態が続くと考える。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・毎回のことだが、これ以上悪くなってほしくないという願望である。日本全国が暑い状態で、冷房による電気代がかさんでいる。店舗には高額の酒類なども置いてあることから、クーラーを切らずにずっとつけたままで店の中を一番涼しい状態に保っている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・感染力が高い変異株への警戒心はこれまでの波とは異なった感染抑制の行動になる可能性があり、長期化を懸念する。9月中旬頃まで第5波の影響が出るとみている。65歳以下のワクチン接種が早期に進み、感染者数が抑えられた状態が続かないと本格的な回復には向かわないだろう。
		高級レストラン（スタッフ）	・8月はまん延防止等重点措置の適用で営業時間が20時までで、アルコール飲料の提供が禁止のため、2～3か月後にはその反動で集客は増えるの見込んでいる。また、ワクチン接種が進んでいることは追い風になると考える。
		一般レストラン（店長）	・ワクチンの効果に期待したいが、まだまだ新型コロナウイルスの波に翻弄されそうである。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がなかなか収まらない状態では目途が立たず、いつまで忍耐が続くか分からない。
		観光型旅館（スタッフ）	・県民宿泊割引は7月1日に開始されたが、予約停止となり、さらに、予約済みでも一部日程で県民宿泊割引の適用と観光クーポン配布の対象外となった。夏休みに入り予約は純増傾向になってきていたが、今後の影響を懸念する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・ワクチンの接種率が上がれば、団体旅行も少し戻ってくるかと思っていたが、東京での感染者数が3000人以上となり、客の希望も打ち砕かれるのではないかと考える。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が収まらないことから大きな変化はなく、まだ暇な状態が続くとみている。
		タクシー運転手	・外出自粛が定着しており、ワクチン接種が終わる10月後半から11月までは、このような状態が続くのではないかとみている。
		通信会社（職員）	・キャンペーンを打っても来客数や販売の増加は大きく見込めず、現状維持で精一杯である。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス商戦に入る時期だが、今のところ大きな変化がみられない。利用料金について他社との価格競争が激化していると感じる。
		通信会社（営業担当）	・特に目立つ新商品がでない限り、大きな販売増加は見込めない。
		通信会社（店舗統括）	・なるべく支出を控えるような傾向があるので、今後も変わらないとみている。
		通信会社（役員）	・特段ポジティブなイベントもなく、通信、放送共に新規契約者数は良くも悪くもなく推移するとみている。
		パチンコ店（経理）	・景気を左右するような要因が見当たらない。
		その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	・やはりワクチン接種の動向による。小規模な市町村では、64歳以下の接種が始まるようとしているが、中核都市ではまだまだ先の話で、年末以降まで世の中の活性化が遅れそうである。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が1週間前から急激に増えているが、ワクチン接種が進んでおり、現在の景気の状態は変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・1棟当たりの価格は高くなる要因が多く、今後販売数は減るとみている。住宅の付加価値を高め、割安感のある商品提案が重要になってくる。件数が減っても売上が余り減らないよう、中身の濃い商品の提案をすることが大切になると考える。
		住宅販売会社（従業員）	・ワクチンの効果により経済が上向きになれば、注文住宅の受注高も上昇するのは早いとみている。
		一般小売店 [精肉] (店長)	・デイリーの動きが悪いということが一番にある。競合店の出店等もあり、その辺りがマイナス要素ではないかと考えている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスに対する政策が不透明である。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加し始めているため、飲食店は廃業に追い込まれそうである。
		スーパー（仕入担当）	・東京オリンピックや気温による売上上昇は一時的なものだとみている。感染拡大や東京オリンピックの反動による景気への影響は否めないだろう。
		スーパー（店舗管理）	・人口が減少しているなかで店舗が増えている。また、大手チェーンも進出してきて、更に競争が激化する。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息がみえないなか、景気の回復基調も鈍く、客は全てに慎重である。
		乗用車販売店（従業員）	・売上に関しては当初の計画を達成しており悪くはなっていないが、半導体不足等の不安材料がある。
		自動車備品販売店（役員）	・新型コロナウイルスの感染が再燃し、再び自粛ムードが高まっている。ワクチン接種が進んでいるが、外出や人流の多い所への警戒感が変わっていない。この状況が数か月は続くとみている。
		競輪場（職員）	・変異株の拡大により、緊急事態宣言の発出圏内での場外発売が中止になることが予想され、発売機会の減少に伴って売上も減少する可能性がある。
		住宅販売会社（従業員）	・東京オリンピックで新型コロナウイルスの感染者数が少しずつ増加し、景気回復は厳しいとみている。
		住宅販売会社（営業）	・現在、住宅ローン控除期間の延長に対する申込期限である9月末に向けた駆け込みが発生していると推察されるが、10月以降の受注に関してはプラス要素はなく、悲観的な予測を立てざるを得ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	商店街（代表者）	・7月26日より飲食店への時短営業要請が出され、観光客の入込が期待できない。例年8月末から行われる地域の伝統的な観光行事で秋の観光シーズンが始まるが、今年も中止である。そのほか、秋の大型イベントもほとんどが中止である。前年はGo To Travelキャンペーンの影響で売上は好調だったが、今年はキャンペーンが始まる見込みを全く感じない。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・時短営業や酒類の提供禁止などの措置を執れば、当社の取引先である飲食店や料理店に客が訪れるわけがない。感染拡大の1つの要素であることに疑いはないが、余りにも飲食店への狙い撃ちが過ぎると考える。また、当地に政令指定都市があるわけでもないのに感染が拡大していて、地方で突出した感染者数になったため、まん延防止等重点措置が適用された。どうしてこのようなことになるのが訳が分からない。
	×	コンビニ（店長）	・東京オリンピックが終わり、感染が拡大している状況である。ほぼ以前のような自粛状況になると考える。特に、週末の児童向けスポーツイベントの中止が深刻で、売上の悪化に直結しそうである。
	×	住関連専門店（役員）	・8月を迎えようとする今、全国的に新型コロナウイルスの感染に関する数字が過去最多を更に上回った状態で悪化している。また、消費が旅行など外に向き始めている様子から悪くなる。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・現状も悪いが、新型コロナウイルスの変異株による感染拡大で更に悪く感じている。感染拡大により、政府や県、市の対応も日々変わり、明日何が起こるかも分からない異常な状態で、先行きは全くみえない。
	×	テーマパーク（役員）	・ワクチン接種の加速化によって新型コロナウイルスの感染が落ち着くと考えるが、全体的に現在の政策や取組ではなかなか感染者数が減る傾向は期待できず、厳しい状況が続くとみている。
企業 動向 関連 (北陸)		繊維工業（総括）	・ワクチン接種が進み、消費意欲が高まることを期待する。
		食料品製造業（経営企画）	・ワクチン接種が進むことは単純にプラス材料だと考える。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車関係については、半導体不足によるメーカーの生産調整の影響はあるものの、順調に受注は伸びてきている。オートバイ関係は更に好調で、海外市場向けを中心に一部では生産キャパシティを超える受注が入っている。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・生産用機械、工作機械の受注が増えている。
		輸送業（管理会計担当）	・足元では新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、ワクチン接種の広がりや、東京オリンピック効果もあり、やや持ち直してくるとみている。
		司法書士	・駅周辺の再開発や、新型コロナウイルスの感染状況が良くなることなどを見越しての投資や新規事業が進むとみている。
		税理士（所長）	・良い意味か悪い意味か分からないが、新型コロナウイルスに皆が慣れてきている感じである。慣れて油断していると思うが、その分だけ前年より目に見えて活動が活発になっていると考える。間違いなくワクチンによって、ある程度新型コロナウイルスのパンデミックが終息するという期待もあり、恐らく景気は、今までのリベンジも含めて良くなるのではないかとみている。
		化学工業（総務担当）	・受注状況は、今後も変わらず推移するとみている。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・全国各地での感染者数のリバウンド、及び東京オリンピック関係の国内外からの人流増加による感染拡大への懸念もあり、なかなか本格的な回復には至らないと考える。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注量から見て、変わらない。
	輸送業（役員）	・まだしばらくコロナ禍は続く。	
	通信業（営業）	・ワクチン接種の進捗度合いや東京オリンピック後の感染拡大状況を見据えると、当面は現状と変化がなく、市場も様子見の状況が続くとみられ、景気の活性化も望める状況にはない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、業種により企業業績は二極化している。需要期を迎える観光関連業種は大きなマイナスである。飲食業も同様に厳しい状況である。底打ちの兆しがあった景気も一時的に冷え込む可能性がある。
		不動産業（経営者）	・法人関係で物件を取得したい、あるいは賃貸で借りたいという話が少しずつ出てきている。また、住宅会社関係に少しずつ動きが出てきている。
		精密機械器具製造業（役員）	・ワクチン接種率の伸びを超える感染者数の増加に伴い、残念ながら緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象エリアが増えてきている。現時点では2～3か月先までのスパンで、景気的好転をイメージできる材料がなかなかない。
		建設業（経営者）	・国土強靱化政策は継続されるとみているが、東京オリンピック後は新型コロナウイルスの更なる感染拡大が予想され、この対策に国費が費やされるとみている。しかし、交通、飲食、宿泊関係の回復が見込めず、個人消費が回復しない。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルスの終息が依然として不透明である。資材価格の動向も先行きは依然として不透明である。
		金融業（融資担当）	・東京オリンピックのなか、緊急事態宣言の延長や地域拡大措置となっている。自粛の動きが限定的な状況とはいえ、活動に制限が課せられることになり、先行き不透明感が増し、悪影響を与えることになると考える。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が急増している。
	x	-	-
雇用 関連		-	-
(北陸)		人材派遣会社（役員）	・派遣の登録件数が全く増えない。僅かな求人数のマッチングに苦労している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・積極的な雇用の話が余りない。
		職業安定所（職員）	・直接雇用の求人ではなく、派遣求人が増加傾向にあり、景気回復にはもう少し時間を要するとみている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・若年層にも、ワクチン接種率が高くなっていくにつれて、求人等を含む経済活動も活発になるとみているが、まだ時間が掛かりそうである。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素が見受けられない。
		人材派遣会社（社員）	・契約期限切れとなる案件の更新依頼が減少している。自社社員が担う範囲の拡大、体制変更にて乗り切りを図るため、求人数が伸びない状況である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染が全国的に再拡大の傾向にある。県内も例外ではなく、再び経済活動が停滞するものとみている。
		職業安定所（職員）	・ワクチン接種は進んでいくが、新型コロナウイルスの威力がそれよりも勝る。そのため、特に飲食や宿泊サービス、販売等の人気のある職種や求人の多い職種で、非常に厳しい状況が続くと考える。
		x	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		通信会社（企画担当）	・デジタルトランスフォーメーションに取り組む企業の増加が加速するため、デジタル関連業界は景気が更に良くなる。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・ワクチン接種率の上昇に伴い、人の動きが戻ると予想される。
		百貨店（売場主任）	・自粛疲れによる外出の増加で、来客数が増えている。また、高額品の売行きが伸びており、海外への渡航などを控えた分が、ぜいたく品などの消費に回る傾向がみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染の沈静化が期待できる。それに伴い、来客数も増えることから、現状よりも良くなることが予想される。ただし、新型コロナウイルス発生前のライフスタイルには戻らず、売上も戻らないと考えられるほか、取引先も商品供給の抑制を図るなかで、大幅な改善は期待できない。
		百貨店（企画担当）	・ワクチン接種が行き渡るため、良くなると予想しているが、直近の新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ると、簡単にはいかないとも感じられる。
		百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加は続くが、ワクチンの接種が進むことで、病床の利用率や重症者数が大きく増えないことが予想される。また、ワクチンを接種済の客を中心に、抑えられていた消費マインドが活発化してくる。
		百貨店（販売推進担当）	・秋にはワクチン接種もかなり進む。旅行者などが増えれば、それに伴って関連商材の売上も上向きになると期待している。
		百貨店（外商担当）	・百貨店の主要客である高齢層のワクチン接種がほぼ完了となるほか、中年層の接種も進むことから、新型コロナウイルスの感染が抑えられ、消費意欲の向上が予想される。
		百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、東京オリンピックは無観客で開催されている。関係者や市民の感染防止などの動きが抑制効果となり、消費へのプラス効果はかなり控えめとなる見通しである。またワクチンの接種は、供給の減速でペースダウンしている。コロナ禍以前の日常生活を取り戻すのはまだ先となるなか、秋の衆議院選挙も絡み、景気の回復には時間を要すると予想される。
		百貨店（販促担当）	・ワクチン接種が更に進み、新型コロナウイルスの重症者数が増えなければ、消費の増加が期待できる。秋口の衆議院選挙も控え、景気対策の実施にも期待できる。それに伴い、秋～冬にかけては本格的な消費の反動増が期待でき、御褒美消費などにスポットを当てた品ぞろえで需要を喚起したい。
		百貨店（サービス担当）	・状況は現状と大きく変わらず、東京オリンピックや夏休み、お盆休みなどの効果で購買意欲が増すと予想されるが、新型コロナウイルスの感染者数の増加が懸念される。
		百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているものの、ウイルスへの慣れで、客の心理が前向きになってきている感覚もあり、ワクチン接種後の来店が徐々に増えている。まだ予断は許されないが、ネット通販やリモート販売といった新しい買い方が浸透する一方、やはり店頭での買物体験を楽しみたいというニーズによって、買上率の上昇につながっている。
		百貨店（マネージャー）	・ワクチン接種が20～30代でも進み、新型コロナウイルスの感染者数が減少に向かえば、消費が戻ってくると予想される。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が急増しているが、想定範囲内で収まれば、今後も良くなる。特に、長らく買い控えが続いていた富裕層の高齢者については、9月初旬頃からの来店が増加が見込まれる。
		百貨店（売場マネージャー）	・東京オリンピック開催後の、新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、一定の収束に向かえば景気の改善が見込める。
		百貨店（売場マネージャー）	・当店の商圏内のほか、和歌山県全体でもワクチン接種が進んでおり、接種を終えた65歳以上の客が増えつつある。今後は来客数の増加とともに、旅行用品や身の回り品などの消費拡大につながってくる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響は出るものの、ワクチン接種などが進み、以前のような悪化が続くとは考えられない。
		コンビニ（店員）	・暑さの影響で、冷たい物が売れる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・ワクチン接種が進み、人流や消費が増えるため、少しずつ景気は回復していくと予想される。
		高級レストラン（企画）	・ワクチン接種による旅行需要の回復のほか、Go Toキャンペーン、自治体による観光支援事業の再開により、やや良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（総務担当）	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染による死亡者数も減少する。安全を確保することで、人の往来も少しずつ増えたと予想される。
		都市型ホテル（客室担当）	・東京オリンピックによる新型コロナウイルスの感染拡大は気になるが、ワクチンの接種率が上がれば、抑えられていた観光需要が回復する。
		旅行代理店（役員）	・旅行に対する県民割が始まれば、近郊への旅行需要の更なる拡大が期待できる。
		タクシー運転手	・自粛疲れや、ワクチン接種による安心感もあり、外出が増えつつある。新聞をみても、旅行の折込チラシが増えているため、今後はホテルや駅周辺の人の動きに期待している。
		タクシー運転手	・東京オリンピックが開催されていることもあり、少しずつ活気が戻ってきたと感じる。
		通信会社（経営者）	・製造業を中心とした受注状況の改善が期待される。
		通信会社（社員）	・自宅で楽しむというトレンドは、当分変化しにくい。また、リモートワークも定着してくるという予想から、全体としては良くなっていく。
		テーマパーク（職員）	・子供たちが夏休みに入ったため、家族層による旅行や外出の雰囲気は醸成されつつある。あとはきっかけをいかにうまく提供できるかであり、何となく表面化しつつある外出意欲を、うまくつかまなければならぬ。
		観光名所（経理担当）	・10月に入れば、若い世代もワクチンを1回は接種できると予想される。接種したくてもできないという、今の状況とは異なるため、更に新型コロナウイルス感染症の収束への期待が広がってくる。
		ゴルフ場（支配人）	・ワクチン接種が進み、東京オリンピックも無事に終了すれば、生活は安定し、景気も良くなる方向となる。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・ワクチン接種が進むことにより、外出の意欲が高まる。
		住宅販売会社（総務担当）	・ワクチン接種の増加に伴い、客の動きが少し始めている。
		その他住宅[展示場]（従業員）	・住宅展示場はコロナ禍でイベントが中止となり、立ち寄り客は激減したが、モデルハウスの見学予約数や出展企業の契約は増加傾向にあるなど、家を建てる計画のある実需客は増加している。
		その他住宅[住宅設備]（営業担当）	・2～3か月後には、ワクチン接種が進んでいることを期待し、少しは生活環境にも良い変化が出てほしい。
		商店街（代表者）	・まだしばらくは大きく改善する状況にはない。
		一般小売店[花]（経営者）	・社会的に落ち着かなければ、景気の回復は見込めない。
		一般小売店[時計]（経営者）	・季節が変わり、マスクをしていても少し過ごしやすくなるが、ワクチン接種が若年層にどの程度広がるのか、全く予想が付かない。4回目の緊急事態宣言が発出されるため、景気を含めた日々の生活について、先行きは楽観視できない。
		一般小売店[事務用品]（経営者）	・世間の目はしばらく東京オリンピックに注がれるが、経済の停滞は戻らない。元々夏枯れの時期であるため、更に枯れ果ててしまいそうである。
		一般小売店[野菜]（店長）	・東京オリンピックが始まり、本来であれば好景気になるところが、小売店や飲食店は苦しい状況が続いている。このままの状態が続くようであれば、今後も期待できない。
		一般小売店[呉服]（店員）	・呉服を扱っており、高齢者の客が多いため、外出の自粛が続いていると感じる。新型コロナウイルスの感染がもう少し収まれば、景気も上向くと考えている。
		一般小売店[菓子]（営業担当）	・お盆を控えているが、まん延防止等重点措置の影響もあり、景気の回復は難しい。
		百貨店（売場主任）	・食料品については、外出や外食を控え、自宅でおいしい物を食べる流れが続くと予想されるため、総菜を中心に好調が続く。ただし、まだまだイベントなどの自粛ムードが続くため、ファッション関連では厳しい状況が続くと予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（マネージャー）	・全国的な新型コロナウイルスの感染第5波の拡大が懸念されるなか、緊急事態宣言が再発出されるおそれがあり、業況の業種間格差が明確になると予想される。小売や流通関連では、ワクチン接種による心理的なプラス効果もあるが、一進一退の状況が続きそうである。また、東京オリンピック・パラリンピック終了後の国民の反応にも注意する必要がある。
		百貨店（店長）	・ワクチンの接種状況次第である。若年層の人流が変わることはないため、新型コロナウイルスの感染率が下がらない限り、景気は変わらない。
		百貨店（特選品担当）	・現時点では先行きが全く分からない。業況が良くなり始めたら、緊急事態宣言が発出されるという繰り返しであり、ワクチン接種が進んでも、新型コロナウイルスの変異株が新たに出現して猛威を振るう。小売業という視点からは、正直なところ、将来が全く見えない。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の感染急拡大は不安であるが、ワクチンの接種が相当進むことを考えると、来客数の回復が見込まれる。生鮮食品といった調理素材の動きの回復が期待される。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種率の上昇はプラス要因となるが、首都圏は東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるほか、衆議院議員選挙などによる国政の変化次第で、更に景気が後退する懸念がある。関西も首都圏の景気に左右される可能性が高く、予断が許されない。個人消費は、国内旅行の増加や海外旅行の復活、社会や学校行事、コンサートなどの回復が鍵となる。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種は進んでいるが、新型コロナウイルスの感染者数が減らずに、今のような状況が続けば、景気にも変化はない。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種は増えているものの、依然として新型コロナウイルスの感染者数が多いため、飲食や旅行、イベント関連は厳しい状況が続くと予想される。
		スーパー（店員）	・お盆には墓花、仏花がよく売れるが、野菜は単価が安い物が多い。果物もよく売れるが、近年は農家が人手不足なのが、すぐに出荷が終わり、品物がそれほど入ってこないケースが多い。それに伴い、大きな変化はないと予想される。
		スーパー（店員）	・今よりも良くなるとは思えないが、大きく下がることもないと予想される。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や、緊急事態宣言の影響が懸念されるが、客もこのような状況での買物に慣れてきている。パニックになることもなく、売上は高水準での推移が予想される。
		スーパー（販売促進担当）	・ワクチン接種の完了時期が、秋～冬頃になったとしても、外食、観光産業が回復し、徐々に中食や内食から需要が戻るの、22年度以降になると予測している。今から3か月後では、まだまだ現状の傾向が続いていると予想される。
		スーパー（開発担当）	・コロナ禍で販売量も余り伸びていない。飲食業も営業時間の制限があり、売上が上がっていないため、今後景気が良くなる可能性は低い。
		コンビニ（経営者）	・様々な規制が解除されれば、販売量が変わってくるため、先行きに期待している。
		コンビニ（経営者）	・社員が出勤しなくても、問題なく業務を遂行できることを各企業が知ったため、今後もビジネス街の人出は戻らず、低水準のまま推移することが予想される。また、再び緊急事態宣言が発出されたとしても、一般市民の行動はもう余り変わらないと感じる。
		コンビニ（経営者）	・東京オリンピックの終了や、最低賃金の引上げ、新型コロナウイルスの感染拡大など、良い材料がないと感じる。
		コンビニ（店長）	・最低賃金も変更されるため、企業による新たな雇用の難くなる。
		コンビニ（店員）	・緊急事態宣言の発出により、またしばらくは現状維持となる。景気の変化する兆しは見られない。
		コンビニ（店員）	・緊急事態宣言下であり、周囲の店も様子を見ながら動くことと予想されるため、来客数への影響は不透明である。来客数全体としては戻りつつあったが、現状維持か、少し減ることも予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染収束も見通せず、現状維持が精一杯である。
		衣料品専門店（経営者）	・ある程度、会合などの動きが元に戻るのには、ワクチン接種が進んだ11月以降と考えている。それまでは一定の影響が残る。
		衣料品専門店（店長）	・7月に限らず、今年に入ってから緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返され、来客数は悪い状態のままである。3か月後には秋冬商戦ということもあり、期待しているが、8月からは緊急事態宣言が発出されるため、来客数はそれほど見込めない。一刻も早い、ワクチン接種率の上昇と、新型コロナウイルスの感染収束を願っている。
		衣料品専門店（販売担当）	・また大阪で緊急事態宣言が発出されるが、今の状況で出されても、何も変わらない。一方、客には購買意欲がみられないため、売行きは伸びない。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・サラリーマンによる来店や購入が非常に少ない。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加で、在宅率が上がり、来客数も厳しくなる。一方、感染者数が減少すれば、今よりも来客数が増え、景気も若干回復すると予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・先行きが不透明である。
		乗用車販売店（経営者）	・ワクチン接種は進まず、新型コロナウイルスの感染者数は増える一方である。たまに中古車は売れるが、勢いが無い。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、緊急事態宣言が全国で発出される可能性があるため、今後も厳しい状況が続く。
		住関連専門店（店長）	・営業への規制が長引き、また他の気候条件なども重なっているため、先行きは楽観できない。悪い状況のまま秋を迎えることも予想される。足元の客足の鈍さも、ワクチンの接種が遅れ、世間の不安が解消されていないことが原因の1つである。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まるかどうかで、景気は左右されるが、ワクチンの接種が国民全体に広がれば上向いていく。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・次の衆議院選挙のために新型コロナウイルス対策を利用する政治家が多く、全く先行きが見えないため、経済は良くならない。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・明日からの4度目の緊急事態宣言により、恐らく客の動向は変わらないが、収入の減少や将来的な不安により、買い控えが広がると予想される。緊急事態宣言が解除になったとしても、以前のような景気に戻るまでには相当な時間が掛かる。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・ワクチン接種の増加による不安の解消などで、人流が増えている。さらに、それに伴う新型コロナウイルスの感染者数の増加で、緊急事態宣言が発出されるなど、先が見えない。固定客に対していろいろ提案を行い、細々と販売を続けているが、以前のような売上には戻らない。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・ワクチン接種の拡大で、新型コロナウイルスの重症者数や死者数が減少し始めれば、消費のアップにつながる。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・ワクチン接種の開始後も、新型コロナウイルスの感染は拡大傾向にある。東京オリンピックの開催も無観客になるなど、状況は好転していない。緊急事態宣言の発出地域が拡大される可能性もあり、良くなる要素は見当たらない。ただし、生活必需品の動きについては、現状維持が続くと予想される。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・ワクチン接種の拡大による、来客数の増加を期待したい。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・最近では、何かキャンペーンをしたときにしか受注量が増えない。
		高級レストラン（スタッフ）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染の収束時期がみえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・周辺企業はテレワークなどを除き、普通に業務を行っているが、外食禁止令が出されているケースも多い。その結果、飲食店を利用せずに、路上やコンビニで飲酒する動きも増えているが、これでは景気回復にはつながらない。少しでも早く、新型コロナウイルスの感染の原因を突き止めることが、景気回復への一番の方法である。
		一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置などの繰り返しとなっている。期限が過ぎれば人流が押し寄せ、新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、人の流れがなくなるという状況が繰り返されている。
		一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えても、余り気にせず、外食を楽しむ傾向にあるが、更に客が増える要素はない。
		観光型旅館（経営者）	・今の新型コロナウイルスの感染状況をどう判断し、人流に対応するかによって左右される。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少していない。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・先の宿泊予約は以前と変わらず、余り動きはない。土曜日の宿泊に限って、直近や当日に予約が入り、稼働率が毎週15%ほど伸びている。レストランもいつもと動きは変わらず、新型コロナウイルスの感染者数が増えても、現在のようない動きが続くと予想される。一方、宴会や会議にはまだ動きが見られない。
		旅行代理店（店長）	・緊急事態宣言の発出は8月31日までであるが、その後もどうなるかは分からず、景気が回復するとは思えない。
		旅行代理店（支店長）	・東京オリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍で盛り上がりつつも、その間に新型コロナウイルスの感染が落ち着かなければ、現在の悪い状況からは変わらない。実際の動きが増える予感はない。
		タクシー運転手	・景気の良くなる要因が見当たらず、政府が必要な政策を用意しているのかも不透明である。全てがうまく回っていくような歯車を細かい部分から回し、雪だるま式に景気が拡大するような政策を期待している。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に大きく左右される。前回の緊急事態宣言時と同様に、休業を余儀なくされる店舗も出ると予想される。
		観光名所（企画担当）	・東京オリンピックが始まり、人々の気持ちの緩みか、来場者数が少し増えている。ただし、東京オリンピックが終わった後の状況がみえないため、基本的には今の状況から変化はないと予想される。
		遊園地（経営者）	・まん延防止等重点措置による事業活動の制限が続いているほか、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあるため、現時点で将来に明るい見通しを持つことができない。全世代へのワクチン接種が早期に実現することを切に願っている。
		競輪場（職員）	・ここ数年の傾向と変わらない動きとなっている。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が発出されることになれば、状況は悪くなる。
		競艇場（職員）	・依然として電話投票やインターネット投票が高水準で推移しており、しばらくは今の状況が続くと予想される。あとは、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・東京オリンピックの開催で経済が動いていることは体感できている。このままワクチン接種と新型コロナウイルスの感染の抑制が進み、日常を取り戻す動きが活発化すれば、景気は上向きとなるが、現時点では判断が難しい。
		その他レジャー施設 [複合商業施設] (職員)	・ワクチン接種の進捗や、新型コロナウイルスの感染者数、重症者数の動向次第である。
		その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・プロ野球の公式戦の入場者数は、依然として5000人が上限である。8月にはコンサートも予定されているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるため、予断が許されない。全体として、3か月後の状況は不透明であり、現状と変わらないと予想している。
		美容室（店員）	・単価が上昇する一方、来店周期が延びる傾向は、しばらく変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス[マッサージ](スタッフ)	・アロマオイルマッサージで服を脱ぐため、例年は冬よりも夏の方が来客数は増えるが、今年は新型コロナウイルスの影響で不透明な状況である。
		住宅販売会社(経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が劇的に減少するまでは、今の状況が続くと予想される。
		その他住宅[情報誌](編集者)	・高額消費の好調に伴い、以前よりも高額物件の動きが活発化しているものの、新型コロナウイルスの感染収束の見通しが不透明になっているため、心理的な悪影響が拭えない。
		百貨店(マネージャー)	・ワクチン接種の年代は広がるものの、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大や、中間層の消費意欲の減退などで、積極的な消費は見込めない。
		百貨店(宣伝担当)	・月末にかけて新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向になったほか、ワクチンの接種がなかなか進まないことから、主要客層である40代以上の客足が再び鈍くなっている。夏休みでも帰省や外出を控える人が多く、関連消費の伸び悩みも予想される。
		スーパー(店長)	・店員の募集をすると、以前よりも希望者が多いなど、引き続き失業者が増えていると感じる。
		スーパー(店長)	・コロナ禍による影響は大きく、モノに対する必要以上の出費は、引き続き抑えられる。
		スーパー(企画担当)	・大阪にも緊急事態宣言が発出されそうである。新型コロナウイルスによる特需といわれた売上はもうなく、自力での売上確保が必要である。
		スーパー(企画担当)	・新型コロナウイルスへの慣れで、自家需要が以前の水準に戻りつつある。
		スーパー(社員)	・前年度は多くの店舗で食品部門の売上が大きく伸びた。今後しばらくは、その反動減が続くと予想している。
		コンビニ(店長)	・新型コロナウイルスの感染者数が増え続けているため、今後は緊急事態宣言が発出される可能性もあり、心配である。
		コンビニ(店員)	・夏休みのシーズンが終われば、少し落ち着く。
		家電量販店(経営者)	・半導体不足により、年内は商品の欠品が続くようで、販売量の減少につながることを予想される。
		家電量販店(店員)	・東京オリンピックのようなイベントがあるにもかかわらず、特需の動きが見られない。さらに、今後は購買意欲を高めるような材料も見当たらない。最低限の買換え需要はあるとしても、単価が下がっているため、売上が全体的に右肩下がりとなることは避けられない。
		家電量販店(店員)	・新型コロナウイルスの影響は、これから家電量販店にも遅れて出てくる。
		家電量販店(営業担当)	・東京オリンピックの開催後、経済にどのような影響が出るのか分からないため、先行きが不安である。
		家電量販店(人事担当)	・前年が巣籠り需要で好調となった反動が予想される。秋に向けて白物家電の処分を進め、秋の調理家電の需要につなげていきたい。
		乗用車販売店(経営者)	・半導体の不足により、自動車の生産が遅れている。新車の購入に要する時間も長くなり、売上が伸びない。
		乗用車販売店(販売担当)	・半導体不足により、今月以降の自動車の生産に影響が出てくる。生産が遅れば、車も入荷しないため、販売台数は再び減少することが予想される。
		乗用車販売店(販売担当)	・ワクチン接種の鈍化や、4度目の緊急事態宣言の発出など、景気回復を期待するには厳しすぎる環境である。
		その他小売[インターネット通販](経営者)	・収入の減少による先行き不安のため、景気は悪くなる。
		一般レストラン(企画)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、飲食業への販売制限が更に厳しくなる。ワクチンの接種が進み、感染者数に変化が出るまでは、厳しさが増すと予想される。
		その他飲食[自動販売機(飲料)](管理担当)	・また緊急事態宣言が発出される。まん延防止等重点措置との違いは今一つ分からないが、上向きになる要素はない。この状況では、打つ手もないという雰囲気を感じられる。
		観光型ホテル(経営者)	・8月2日からは酒類の提供も規制されるため、予約の動きが止まっている。
		観光型旅館(経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が増え、またいろいろな制限が出てくる可能性がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染第5波が生まれつつある状況で、各部門の予約率が下がっている。食事を伴う宴席の予約はほぼ皆無であり、会議利用のみの収入となっている。一方、宿泊部門では長期滞在客以外は当日予約の客が増えるなど、事前に予約せず、直近で安価なホテルを探す動きが多い。食堂はランチこそ好調であるが、やはりディナー営業で苦戦を強いられている。
		都市型ホテル（フロント）	・8月以降、レジャーでの利用による回復を見込んでいたが、ここへきて緊急事態宣言が再び発出されることになり、非常に厳しい状況となっている。ビジネス利用についても、1泊2食付のプランや、デユースのプランを強化して取り込んでいく予定である。
		タクシー運転手	・法人関係の営業回りなどで、予約が回復する見込みが全くない。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・緊急事態宣言が繰り返されるなか、外出の自粛以外に打つ手がなければ、景気回復は困難である。
		住宅販売会社（経営者）	・なかなか先の見通しが立たないなか、閉塞感が漂っている。
		住宅販売会社（従業員）	・分譲マンションの販売単価は徐々に上昇しており、購入希望者の条件とのかい離が出てくることが予想される。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で所得の減少がみられるため、景気の後退が予想される。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・ワクチンの接種が進まない。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・大阪でも8月から緊急事態宣言が発出される見通しであり、また悪い状況に逆戻りとなる。
	×	百貨店（企画担当）	・当地域では、8月からまん延防止等重点措置が適用されるため、消費者心理への悪影響が懸念される。
	×	スーパー（経営者）	・観光業の動向が景気に大きく影響する当地域では、緊急事態宣言の発出で様々な業種に悪影響が出る。
	×	コンビニ（経営者）	・8月2日から緊急事態宣言が発出されるため、最初はビジネス街の人出が10%ほど減少するが、何度も宣言が出ているため、日が経つにつれて、徐々に人の流れが増える可能性がある。
	×	衣料品専門店（経営者）	・服を買わない状況に慣れてしまい、新しい服がなくても生きていけるという感覚をもち始めているため、今後も売れないと感じる。
	×	家電量販店（企画担当）	・大変な猛暑が続いているが、夏物商戦の時期が半月ほどずれ込んだ影響で、販売のタイミングを逃している。さらに、将来への不安から所得を貯蓄に回す傾向が強まっており、しばらくは消費の拡大につながりにくいと予測される。
	×	住関連専門店（店員）	・緊急事態宣言がまた発出されるなかで、良くなるわけがない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染第5波が強まっているほか、東京オリンピックの開催による海外からの入国もあり、感染がかなり急速に拡大している。このような状況で経済がうまく回るわけはなく、商売としても来客数の大幅な減少に困惑している。今後、景気は悪くなる一方となる。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響が続く。
	×	観光型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・緊急事態宣言が再発出され、いつになれば収束するか分からない状況では、更なる落ち込みが予想される。
企業 動向 関連 (近畿)		繊維工業（団体職員）	・ワクチン接種が進むにつれて、いろいろな物が動き出す。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・ワクチン接種が更に進み、ようやく景気回復の期待も出てきている。今後は業種を問わず、景気が全体的にやや良くなると予想される。
		金属製品製造業（経営者）	・受注は安定しており、新規商品の引き合いも増えてきている。
		金属製品製造業（開発担当）	・繁忙期に入るため、忙しくなると予想されるが、コロナ禍により不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（経営者）	・良くなることを期待しているが、コロナ禍がなかなか落ち着かないのに加え、半導体に関する世界的な流れが非常に悪い。ただし、先行きに不安は感じているが、3か月程度の短期間であれば、良い動きとなりそうである。
		通信業（管理担当）	・東京オリンピックの開催で景気は良くなりそうだが、東京では緊急事態宣言が発出され、その他の都市でもまん延防止等重点措置などの影響で、景気は少し良くなるか、足踏み程度と予想される。
		金融業（副支店長）	・今後3か月で、ワクチン接種率もかなり上がると予想され、徐々に景気は回復していくことが予想される。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・さすがに新型コロナウイルスの感染者数は減ると予想される。東京オリンピックも無事に終わることができれば、緊急事態宣言の発出地域もなくなる。今後、まさに啓ちつの時期を迎えられることを期待したい。
		食料品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあり、新たにまん延防止等重点措置の要請も検討されている。再び悪い状況に戻ることも想定されるため、先行きに不安を感じる。
		食料品製造業（営業担当）	・7月の4連休以降、新型コロナウイルスの変異株の感染が広がっており、人の流れが止まるため、売上に大きな変化はない。
		木材木製品製造業（経営者）	・主な仕入先である海外の取引先は、新型コロナウイルスによるロックダウンや政府の規制により、生産体制が整わない状況にある。うまく感染が収まれば、8月には生産ができるようになるが、今のところは全く見通しが立たない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大、半導体の不足といった問題が解消されるとは思えない。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・今年に関しては、余り変化はないと予想している。
		化学工業（経営者）	・日々の受注額は2～3か月前から例年並みに戻っており、上振れ要素もないことから、景気はしばらく変わらない。
		化学工業（管理担当）	・取引先からは、現状が続くとの情報を得ている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・今後数か月の見通しとしては、最悪の状況に変化はないと予想される。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・新型コロナウイルス対策での人流の抑制が続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・受注は今後もう少し悪化傾向か、横ばいの動きが続きそうである。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・東京オリンピックに伴う需要の増加が余りみられない分、開催後の減少も小さいと予想される。
		輸送用機械器具製造業（役員）	・大型搬送設備の引き合いや問合せが増えないため、売上や利益の増加が見込めない。
		建設業（経営者）	・今の市場をみると、今後も厳しい状況が続くと予想される。
		建設業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの感染状況により、取引先の設備投資も変化してくる。先の読めない不透明な状況である。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大もあり、9月頃までは広告の出稿は戻りそうにない。
		広告代理店（営業担当）	・紙媒体、Web媒体共に、広告売上が2年前とは変化がない。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・今後も現状のような動きが続き、すぐには変わらない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・ワクチンの接種が進む一方、東京を中心とした新型コロナウイルスの感染者数の急増が、やがて関西にも波及してくる。東京オリンピックの開催に伴う、海外からの渡航者による感染が追い打ちを掛けないことを祈る。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・コロナ禍の状態で、余り前には進めなくなっているため、堅実に取り組むしかない。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・東京オリンピック・パラリンピックが終了した後の、新型コロナウイルスの感染状況次第となる。ワクチン接種が進んだ後にどうなるのかが不透明であり、現状は何とも言いようがない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		繊維工業（総務担当）	・靴下の販売額が伸び悩んでおり、同業他社でも同様の動きとなっている。コロナ禍による影響は、消費者にとって必要性の高い業種から徐々に回復していくため、靴下の回復は遅れることが予想される。
		繊維工業（総務担当）	・お盆などで営業日数の少ない時期を迎えるため、集客状況が気になる。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・2～3か月後のプラス要因を探しても見当たらない。もう少し先を見据えた仕切り直しが必要となっている。
		金属製品製造業（営業担当）	・原材料価格の更なる値上がりが予想され、採算の悪化が懸念される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・大阪でも新型コロナウイルスの感染者数が増えてきているため、先行きが不透明である。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・兵庫県では緊急事態宣言、まん延防止等重点措置は解除されたが、東京では緊急事態宣言が発出された。新型コロナウイルスの新規感染者数は増え、感染第5波が始まっているため、まだまだ影響は長期化することが予想される。
		建設業（経営者）	・周辺でも新型コロナウイルスの感染者数が増えてきた。今後は巣籠り傾向がますます強まり、消費マインドが落ち込む恐れがある。
		建設業（営業担当）	・来年以降の設備投資計画の延期や、変更の動きが増えていると感じる。
		輸送業（商品管理担当）	・来月から緊急事態宣言が発出されるため、酒類の販売が減少する。
		輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、外出を控える人が増えると売れないため、配達件数も増えない。
		金融業（営業担当）	・東京オリンピック・パラリンピックの終了後に、新型コロナウイルスの感染者数が増えることになり、良い方向には進まないと予想される。
		経営コンサルタント	・今の状況よりも良くなる兆しはほとんど見当たらない。政府の様子を見ていても、新型コロナウイルスの感染収束は見通せないため、良くなるとは思えない。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染者数が過去最多となり、医療体制がひっ迫しつつあるなか、東京オリンピックや夏休み、お盆などでの感染拡大の不安が増している。景気の状態はかなり厳しい。
	×	化学工業（企画担当）	・東京オリンピックの特需には期待できないほか、食品の原料価格の高騰は続いている。販売価格への転嫁はタイムリーに進まないため、先行きが懸念される。
	×	輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスによる不況で、お中元が前年比で減少した分、利益が落ちている。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、空き店舗が増えつつある。兵庫県では今のところ緊急事態宣言は発出されていないが、感染者数が増えつつあるため、今後は発出の可能性が高く、景気は悪くなると予想される。
	×	その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・今期の業績の悪化で、来期の広告宣伝費を引き締める企業が増えると予想される。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せないため、対策が打てない。
雇用 関連		人材派遣会社（支店長）	・ワクチン接種が完了すれば、間違いなく回復すると予想される。
(近畿)		人材派遣会社（営業担当）	・ワクチンの接種も進み始め、各企業の活動が以前の水準に戻りつつある。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、変異株の感染者数も増えているが、人の自制心はどんどん緩んできていると感じる。人が動けば消費も増え、景気も上向いてくると予想される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・緊急事態宣言の発出により、新型コロナウイルス関連の求人が増加する。
		人材派遣会社（経営者）	・コロナ禍の状況次第である。派遣社員を水道の蛇口のようにうまく使ってきた企業は、こういうときにも慌てずに淡々と進めており、派遣会社も安心して取引している。一方、景気は一進一退の状況が続くそうである。
		人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスの感染者数が激増しており、ワクチンが行き渡るまでは、今のような景気が続くと思われ。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	・東京、大阪を始め、大都市では新型コロナウイルスの変異株による感染拡大が続き、今後どこまで拡大するかが見通せない。東京オリンピックが始まり、夏休みも迎えたことで、緊急事態宣言下でも人流は減っていない。東京オリンピックの開催やワクチンの接種による経済的なプラスを、感染拡大によるマイナスが相殺することになると予想される。
		職業安定所(職員)	・新規求人数には、製造業の一部で改善がみられるが、新規求職者数も徐々に増加傾向にあるため、景気全体に変化はない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染者数次第である。
		民間職業紹介機関(職員)	・新型コロナウイルスの感染が収束しないため、状況は大きく変わらない。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・求人数の推移は大きく変わらないと予想される。ただし、事務職の求人は年々減っているため、職種を限定して志望する学生は苦戦することになる。また、3か月後には来年度の採用を見据えた、冬のインターンシップの募集が始まる。当社のアンケート調査では、募集企業数は前年から微減となっているため、来年度の採用予定数が注目される。
		人材派遣会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染者数の増加と、ワクチン接種の広がりによるバランスにより、景気の回復度合いが変わる。
		アウトソーシング企業 (管理担当)	・通常の仕事が減り、厳しい状況が続いている。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの変異株の感染拡大や、人流の増加により、企業の間には警戒感が広がるおそれがある。求職者の動きは、ワクチンの接種が2回終わるまで本格的な就職活動を控える傾向が顕著であり、特に高齢者や基礎疾患がある人の間で目立っている。それに伴い、今後2～3か月で雇用情勢が本調子に戻るとは考えられない。
		学校〔大学〕(就職担当)	・以前よりも先行きが見通せるようになってきている。ワクチン接種の状況にもよるが、新型コロナウイルスの感染者数が減少すれば、正常な状態に戻ることが期待される。ただし、東京都の感染者数の増加は気懸かりであり、予断を許さぬ状況に変わりはない。
	×	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いている。2～3か月先の売上も、前年比で70%の予想である。
	×	職業安定所(職員)	・7月は新規求人、新規求職共に、前年比で増加傾向となっているが、新型コロナウイルスの感染再拡大による、企業の採用活動や求職者の再就職活動の減退が懸念される。

9. 中国(地域別調査機関:公益財団法人中国地域創造研究センター)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)		観光名所(館長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進めば、乗客数が増加し、景気は良くなる。
		競艇場(企画営業担当)	・2か月後に、全国発売のG1競走が開催されるため、売上が増加する。
		商店街(代表者)	・人出が徐々に元に戻っているため、消費も上向く。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、景気が好転する。
		一般小売店〔靴〕(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、消費が元に戻る。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、乗客数が回復する。今年は旅行や外出など秋の行楽予定が入る客が増加する。
		百貨店(外商担当)	・今後、更に新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、百貨店の主要客である高齢者の消費マインドが向上する。
		百貨店(売場担当)	・東京オリンピック・パラリンピックが終了、新型コロナウイルスのワクチン接種率も上昇し、景気も落ち着いてくる。
		スーパー(店長)	・前年の夏と比べ、今年の夏は客の購入状況が比較的良くなっている。お盆の帰省予定や周辺の様子から判断すると、8～9月以降、景気はやや良くなる。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるため、数か月後には、観光客など遠方からの乗客数も増加する。
		スーパー(店長)	・乗客数や売上が徐々に回復していく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響を受けなければ、好調を維持できる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、景気は少し良くなる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・今後、観光客や出張などで訪れる県外客が増加すれば、景気はやや良くなる。
		コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が薄れているため、景気はやや良くなる。
		家電量販店（販売担当）	・猛暑によりエアコンの動きが良くなると、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・商品の改良等と生産の見通しが立てば、景気はやや良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスに慣れ、自粛にも飽きてきた客の動きが活発になりつつあり、今月前半から販売量が増加していることから、今後、景気はやや良くなる。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン効果で景気はやや良くなる。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人々が安心して出掛けられるようになれば、観光客や買物客が戻ってくる。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、今後、更に動きが活発になる。
		一般レストラン（経営者）	・3か月で新型コロナウイルス発生以前の状態まで回復することは難しいが、今後、景気は多少良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックの終了で、人々が日常に戻るため、来客数が回復する。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種をした人が久しぶりに来店したり、修学旅行の予約電話などが増加したりしていることから、景気は現状よりやや良くなる。
		都市型ホテル（総支配人）	・10月以降、トップシーズンを迎えるが、大会や団体などの先行予約は例年ほど伸びていない。ただ、一定の動きが出ているため、今後、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が減少しているため、人出が増加しつつあるが、東京オリンピックの開幕で人々の気分が高揚し、人の動きがさらに活発化する。
		通信会社（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、全般的に活動意欲が高まることで、景気が少しずつ良くなっていく。
		テーマパーク（業務担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大すれば以前のように景気が悪くなるが、現状のままであれば、来客数が徐々に増加する。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、消費者の気持ち前向きになり、景気はやや良くなる。
		商店街（代表者）	・酷暑から外出する人が少なく、人の流れや物の動きが悪くなっており、今後も景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加し、来客数が減少するため、景気は良くならない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症が終息しないと、客が百貨店で買物したり、食事をしたりする気分にならない。
		百貨店（営業担当）	・若い世代の新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人出は多くなるが、今のままでは都市だけでなく、地方でも感染者数が増加するという危機感がある。外出の自粛が続き、巣籠り需要は続くが、衣料品などの回復はまだ先になる。
		百貨店（外商担当）	・現在、東京オリンピックの開催や新型コロナウイルスの影響で、多少厳しい状況ではあるが、何とか踏みとどまっている。今後も、当面は厳しい状況が続く。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの状況が変わるとは考えにくく、近隣への競合店の出店もあるため、厳しい状況である。客の購買意欲が大幅に低下する要因は見当たらないものの、プレミアム付商品券事業のような客の購買意欲が高まる要因もないため、景気は現状維持となる。
		スーパー（店長）	・来客数が元に戻りつつあるが、新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、現状から判断すると、今後も景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（業務開発担当）	・秋の季節商材が出回る頃には新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、客の購買意欲も変化していると思うが、景気が良くなるとは判断できない。
		スーパー（営業システム担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加傾向が続くと、巣籠り需要が残り、現在の景気を維持する。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、来客数が増加しているが、最近、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加してきたので、今後、景気は良くならない。
		コンビニ（エリア担当）	・前年の8月に競合店が出店して以降、来客数や売上が伸び悩んでおり、今後も状況は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・今後、急激に景気が良くなることはない。
		衣料品専門店（代表）	・東京オリンピックが終わり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、客の外出機会が増加し、洋服を購入するようになる。ただ、テレビから感染情報を得て、ステイホームを続ける客も出てくる。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの動向次第ではあるが、現状では景気は変わらない。
		家電量販店（店長）	・今後も来客数に変化はない。
		家電量販店（店長）	・今のところ景気が上向き要因がないため、不景気が続く。
		家電量販店（企画担当）	・大規模な景気対策が打たれなければ、景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・来客数が減少傾向にあるが、新型車が投入されるため、現状から変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新規の来客数は増加しているが、客の節約傾向が続くため、景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・客が必要な車は購入するが、必要でない車の買換えはしないので、景気は変わらない。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが全く不透明である。新型コロナウイルスによる部品の欠品もあり、明るい材料がないため、景気は変わらない。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにより、生活習慣が少しでも元に戻ることを期待したいが、景気が良くなるとは考えにくい。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・商品やサービス等を変えて経営を立て直しているが、今後も新型コロナウイルス発生以前の売上にはなかなか戻らない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が激減すれば、景気も上向くが、感染者数の増減が続く間は、景気も一進一退が続く。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・客の自粛意識は薄れているが、新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるため、依然として危機感を持っており、景気がすぐに良くなることはない。
		観光型ホテル（営業担当）	・県内の感染者数が増加傾向にあるため、景気は良くならない。
		観光型ホテル（副支配人）	・最近、再び新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、宿泊の予約が大幅に増加することはない。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、大きな起爆剤であるGo Toキャンペーンの再開計画でも発表されないと、先行きの見通しが判断できない。企業や法人の新型コロナウイルスに対する警戒は続いており、宴会の需要は今後も厳しい状況になる。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人の動きが良くなることを期待するが、夏休みの需要も上がってこないことから、まだ数か月はこの状況が続く。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、Go To Travelキャンペーン等が再開しない限り、景気は良くならない。
		タクシー運転手	・観光客が多少なりとも増加しているが、新型コロナウイルスの影響もあるので、景気は変わらない。
		通信会社（企画担当）	・最大手キャリアの工事遅滞の解決が長引いている。オンラインサービスやネットサービスの活用度は高まっているが、新規サービス、高単価サービスへの移行が進まない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・このままの状況が続けば、景気は上向かず、小康状態が続く。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・景気が良くなる要因がなく、利用料金の延滞額も前月から大きな変化はないので、今後も景気は変わらない。
		テーマパーク（営業担当）	・県の観光に関する補助金が停止となったことや、近隣で新型コロナウイルスの感染が拡大しつつあり、地元客の外出自粛が見込まれることなどから、景気は良くならない。
		テーマパーク（管理担当）	・東京オリンピックは開催したが、景気に変化はなく、今後も景気は良くならない。
		観光名所（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が今のペースで進むのであれば、感染者数は増減を繰り返し、景気も現状を維持する。
		ゴルフ場（営業担当）	・今後、県境を越える移動の自粛が解ければ、景気は良くなっていく。
		美容室（経営者）	・景気は余りいい状況ではなく、今後も良くならない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加している状況で、8月はお祭りやイベントが中止になるため、景気がどん底になる。
		設計事務所（経営者）	・現在、新型コロナウイルスは落ち着いているものの、感染者数は微増を続けているので、今後も客が住まいに関する動きを控える。
		設計事務所（経営者）	・来客数や客からの問合せが増加しないため、景気は変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・東京オリンピックの開催で一時的に高揚感が高まったが、すぐに元に戻るため、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・客の購買意欲が低下するため、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・お中元商戦は前年より早く動き出しているが、お盆までの状況を見ないと、不安である。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種状況によって変わってくるが、巣籠り需要が少しずつ薄れてきているため、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明で、人々の生活が萎縮しているため、景気はやや悪くなる。
		百貨店（経理担当）	・地方でも新型コロナウイルスの感染が拡大しているので、今後、景気はより一層厳しい状況になる。
		百貨店（営業企画担当）	・直近のお盆商戦も、里帰りする人や旅行客の減少で厳しくなる。新型コロナウイルスの感染者数が急増し、新型コロナウイルスのワクチン接種の完了もまだ先になるため、景気はやや悪くなる。
		百貨店（販売計画担当）	・個人所得や商品供給の減少で、景気はやや悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が徐々に増加しており、景気が良くなる材料も見当たらないことから、景気はやや悪くなる。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が現実味を帯び、イベントやチラシ等積極的な販売施策が取りづらいため、景気の先行きは不透明である。来客数も毎月減少しており、今後、景気はやや悪くなる。
		スーパー（財務担当）	・当面は、東京オリンピックのテレビ観戦等により、家庭で食事をする機会が増えるため、売上は前年並みとなる。東京オリンピックが終了し、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと、外食が増加し、売上が減少する。
		乗用車販売店（店長）	・新型車が発売されるが、購入層が限られるため、大きな期待はできない。客への代替提案を行うが、反応は良くない。広告宣伝を強化しているため、長期的には効果は現れるが、当面は厳しい。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が予定より少し遅れているため、景気はやや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・例年9～11月は売上が減少する傾向にあり、客の外出や外食自粛の定着で、夜間の飲酒を伴う食事スタイルも低迷が続くため、景気はやや悪くなる。
		バー（経営者）	・新型コロナウイルスの第5波が訪れるため、景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・今月の状況がかなり良いので、今よりは悪くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が増加し、夜の飲食街が閑散としているため、今後、景気はやや悪くなる。
		通信会社（広報担当）	・景気回復の兆しがなく、客が買い控えをしている状態で、新型コロナウイルスの第5波が訪れる懸念もあるため、景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあるため、客の外出機会が減少する。
		住宅販売会社（営業所長）	・住宅ローン減税や補助金等の利用期限も迫っており、経済を活性化させるためには、政府主導の新たな対策が必要である。何もなければ、客が今購入に動く理由がなく、景気は良くならない。
	×	商店街（理事）	・若年層の新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでおらず、東京オリンピック終了後の感染者数の増加も懸念されるため、景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・東京オリンピック終了後の景気対策がなく、新型コロナウイルスのワクチン接種後も自粛を強いられているため、現状では消費の回復は見込めない。
	×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化するため、景気は悪くなる。
	×	乗用車販売店（統括）	・半導体不足と新型コロナウイルスの影響で、先が読めない。
×	美容室（経営者）	・2～3か月では人の動きは良ならず、巣籠り需要が定着しているため、景気は良くならない。	
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・今後、繁忙期が訪れる。
		繊維工業（監査担当）	・行事やイベントなどが、徐々に開催され始め、人の動きが出てきているため、秋口には商売がやや活発になる。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、景気はやや回復する。
		鉄鋼業（総務担当）	・今後、徐々に客の動きが出てくる。
		輸送業（支店長）	・新型コロナウイルス感染症の終息後も宅配需要は微増となる。
		通信業（営業企画担当）	・ITに関する投資の動きに大きな変動は起きない。
		不動産業（総務担当）	・例年どおりであれば、景気は今年よりは良くなる。
		食料品製造業（経営者）	・東京オリンピックが開催しても、景気に変化がなかったため、今後も変わらない。
		食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況から判断すると、景気は変わらない。
		木材木製品製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むが、東京オリンピック終了後に景気が落ち込み、住宅業界の景気も横ばいとなる。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるため、今後も景気は良くならない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大口案件対応がしばらく続くため、多忙な状況が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・現在の好調な受注状況が2～3か月は継続する。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子、電池材料素材の販売量はこれ以上増加しない。
		金属製品製造業（総務担当）	・受注が定時工数以上に戻っていることは好材料だが、納期対応のための超過勤務や原材料価格の高止まりが業績回復の阻害要因となっており、今後も景気は変わらない。
		一般機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスの状況が2～3か月前から変化しておらず、今後も不透明な部分があるため、景気は変わらない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・現時点では、景気は特に変わらないと想定しているが、半導体不足や部品単価の値上げの影響により、景気が悪くなる可能性もある。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスは安定しているが、今後もダイオード問題が続く。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・半導体不足の影響で受注量は回復しない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・土地等の資産を売却する業種もあれば、設備投資に土地を探している業種もあり、全体では、景気は現状を維持する。
		建設業（総務担当）	・予定物件もあり、この先1年程度は大きな変化はない。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症が終息しておらず、しばらくは影響を受けるため、景気は変わらない。
		輸送業（総務・人事担当）	・客の動向に大きな変化はなく、今後も景気は変わらない。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かず、今後も景気は余り変わらない。
		金融業（融資企画担当）	・半導体不足が解消されない限り、今後も地元完成車メーカーの国内生産の低下に伴う地元部品メーカーの受注減少や操業度の低下が続く。
		金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗が鈍く、感染者数が増加傾向にあるため、今後も企業の業績回復は見込めない。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		会計事務所（経営者）	・今後、東京オリンピック終了による喪失感が景気にマイナスの影響を及ぼす可能性がある。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスの変異株が再び猛威を振り出ししており、今後、緊急事態宣言やそれに準ずるものが発出されると、景気はやや悪くなる。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・半導体不足により製品関連機器に関してメーカーからの供給が滞っているため、今後、景気はやや悪くなる。
		x	*
雇用 関連 (中国)		-	-
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率の上昇に伴い、経済活動が新型コロナウイルス発生前の状況に戻る。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むため、景気は今後、緩やかに回復する。
		職業安定所（雇用関連担当）	・海外需要により、製造業で回復に向かう動きが出ているため、景気はやや良くなる。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・新型コロナウイルス感染症の終息に向け、求人を検討している企業が増加しており、地元大手自動車メーカー関連の業務が拡大するとの予測もあるため、景気はやや良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・市場が落ち着きつつあるものの、景気が上向き要素もないため、今後も景気は変わらない。
		人材派遣会社（支店長）	・3か月後に景気が良くなる要因が見当たらないため、今の状況が続く。
		人材派遣会社（支社長）	・新型コロナウイルスの第4波を抜けて、各企業の生産活動が活発化してきている感じはあるが、今後、景気が良くなるかどうかは分からない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの第5波の懸念が拭い切れず、飲食イベント等の実施の見通しも立たないため、当面は今の状況が継続する。
		職業安定所（所長）	・宿泊業界には、業況に改善はないが、今後のワクチン接種の進捗状況を見て募集活動を再開するかどうか判断するとの話もあるが、現状では景気は変わらない。
		職業安定所（事業所担当）	・令和3年度になり、新規求人数が徐々に増加しているものの、新型コロナウイルスの先行きが不透明なことから、景気が新型コロナウイルス発生前の状況まで回復するには程遠い状況にある。また、依然として、飲食業等からの雇用調整助成金に関する相談や申請が多いことから、当分の間景気が良くなるとは考えられない。
		民間職業紹介機関（職員）	・イベントの順延や規模縮小による開催などのため、人の移動により生じる経済活動が相変わらず回復していない。激安宿泊プランの提供など企業努力は見受けられるが、経済を押し上げるだけの効果がないため、今後も景気は変わらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるが、感染者数が減少しないため、飲食業界の景気は良くならない。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルスの影響もなく経済活動を展開できている企業もあれば、新型コロナウイルスの影響を受け、経済活動を縮小している企業もあり、新型コロナウイルスの影響が続く限り、数か月先の景気改善は難しい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社 (広告担当)	・新型コロナウイルス禍で、雇用満了となった派遣社員の継続雇用をしない、アルバイトの仕事を社員で補うなどの対応で、人件費の削減に取り組む企業が出てきている。情報系の会社が、人を削減し、機械でできるシステムの開発の仕事を多く受注しているという話もあり、今後、景気はやや悪くなる。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、今後、景気はやや悪くなる。
	x	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)		*	*
		衣料品専門店（経営者）	・自粛生活のストレスの反動により、来客数が少しずつ増加している。年内一杯頑張れば、来年から景気は良くなると思う。
		衣料品専門店（経営者）	・都市部で新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していることが懸念されるが、当県では感染状況が落ち着いており、来客数、客単価共に回復基調にあることから、現状が続けば更なる景気回復が期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・ワクチン接種が進み、人の動きが活発化することで景気が上向くと予想する。
		乗用車販売店（役員）	・ワクチン接種率の向上と、新型車の投入により回復傾向にある。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種の進捗を消費者が様子見している状況である。今後は感染状況が落ち着いている地域から先行して観光客が戻ってくると思う。
		タクシー運転手	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染者数が減少し、都市部での緊急事態宣言が解除されると、秋頃には客が戻ってくると思う。
		通信会社（営業部長）	・新型コロナウイルス感染防止対策を講じたイベントであれば、来客数は戻りつつある。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン接種が進んでおり、客の動きが活発になっている。
		競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種が進むことにより、感染状況の鎮静化が予想されるため、消費者の安心感の高まりに伴い経済活動が活発化し、景気が上昇すると推測する。
		設計事務所（所長）	・事業再構築補助金の申請をする事業者が増加傾向にあり、新たな事業分野への進出を検討している企業が増えていると推測する。
		商店街（代表者）	・夏祭り等のイベントが全て中止となっている。これから秋に向けて様々なイベントの仕込みが始まるが、いずれも新型コロナウイルスの感染状況次第であり、明るい兆しがみえない状況である。
		商店街（事務局長）	・首都圏を中心に新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しており、2回目のワクチン接種を終えた人も手放しで外出や旅行、レジャーを楽しめる状況ではない。接種が進んでも、大人数で会食を楽しめる日はしばらく訪れないのではないと思う。
		一般小売店〔文具店〕 (経営者)	・高齢者のワクチン接種が進み、更に若年層へもワクチンが行き渡ることによって、徐々に景気が上向いてくることを期待するしかない。
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・新型コロナウイルスと猛暑の影響で、インターネットによる予約は増加しているが、店舗での予約は減少しており、以前と変わらない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・ワクチン接種の進捗が遅く、新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加し始めており、先が見えない状況である。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が終息するまでは、景気が上向くことは考えにくい。
		百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が全国的に再拡大傾向にあり、ワクチン接種の進捗状況も滞っていることから、先行きは不透明である。
		百貨店（販売促進）	・今秋のグランドオープンに向けた改装工事中であり、今後の客の動向は不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		スーパー（店長）	・ワクチン接種が進むにつれて外食消費が活発になると思われるが、内食需要の急激な変化は起こらないと予想する。	
		コンビニ（商品担当）	・依然として変異株の感染拡大状況が予断を許さない状況である。	
		衣料品専門店（営業責任者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し続けており、ワクチンの普及にも時間を要するため、景気回復には時間が掛かると考えている。	
		乗用車販売店（従業員）	・東京オリンピック開会后、新型コロナウイルスの感染が急激に再拡大しており、景気回復はしばらく望めそうにない。	
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が発売されたが、半導体不足等の影響で生産が遅延しており、売上に繋がらない状況である。新型コロナウイルス感染症の終息も見込めず、このまま現状が続くと思う。	
		一般レストラン（経営者）	・コロナ禍による所得減少等の影響が大きく、景気の底上げには時間が掛かると思う。	
		旅行代理店（営業担当）	・全国の新型コロナウイルス新規感染者数が増加傾向にあるため、今後の動きに不安がある。	
		タクシー運転手	・今後はお盆等で人の動きが活発化することが予想されるなか、新型コロナウイルスの新規感染者数の増減によって景気が回復するかどうかが変わると思う。	
		美容室（経営者）	・コロナ禍の社会情勢の変化に振り回されており、今後の状況が見通せない。	
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、行動の自粛等が再度呼び掛けられており、今後もサービス業は苦しい状況が続くと思う。	
		商店街（代表者）	・コロナ禍の影響は都市部からの人流によって地方でも拡大を続けてきた。我々の予測をはるかに超える長期かつ甚大な影響を経済に及ぼす可能性が高まっている。	
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、今後の景気に悪影響を及ぼすと思う。	
		スーパー（財務担当）	・ワクチンの普及で内食から外食に需要がシフトすると思う。	
		コンビニ（店長）	・例年8月は売上のピークであり、後は悪化すると思う。	
		コンビニ（総務）	・現役世代のワクチン接種の状況が不透明であり、消費は必要最低限に抑えられている傾向にある。	
		家電量販店（店員）	・ボーナス商戦が盛り上がりおらず、季節商材の販売が落ち着くと、そのまま売上が低迷する懸念がある。	
		家電量販店（副店長）	・今後売上増加が期待できる商品がなく、新型コロナウイルスの新規感染者数も増加していることから、先が見えない状況である。	
		乗用車販売業（営業担当）	・当県でも変異株の感染者数が増加傾向にあるため、今後景気が悪くなる可能性が高いと思う。	
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・現在はお中元等の需要により販売が堅調であるが、後は売上が停滞すると予想する。	
		観光遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大による外出自粛の呼び掛け等により、観光客が減少するおそれがある。	
		美容室（経営者）	・長引く自粛生活で消費者の価値観が変化しており、不必要な支出は今後も減少すると思う。	
		×	コンビニ（店長）	・ワクチン接種が進んでいない状況で、新型コロナウイルスの感染再拡大や変異株により外出自粛が呼び掛けられると、景気の悪化は避けられないと思う。
		×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない。
		×	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・ワクチン接種以外に打つ手がなく、若い世代の感染が急拡大していることから、新型コロナウイルス発生以前の日常生活に戻るのには極めて困難であると感じる。
	企業 動向 関連 (四国)		繊維工業（経営者）	・在宅時間の増加による消費マインドの変化により、従来とは一味違ったインテリア雑貨やアウトドア商材を扱う小売店からの問合せが増えている。事業者の新しい動きに伴い、経済活動が活発化すると予想する。
			食料品製造業（経営者）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染者数が段階的に減少していくことで、飲食業や観光業は徐々に回復基調になると推測する。
			木材木製品製造業（営業部長）	・取引先の受注数が増加傾向にあり、後は当社の受注量もかなり回復すると思う。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		鉄鋼業（総務部長）	・受注量が伸びており、今後も販売量が増加すると予想する。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・世界的な電子部品供給不足の影響が懸念されるが、一部地域では政府による経済対策としてのインフラ投資及び再生可能エネルギー関連プロジェクト等により、客の投資マインドに回復の動きがみられる。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・コロナ禍で再生可能エネルギー等の新しい事業への参入が増加しており、今後市場が活性化すると推測する。	
		輸送業（経理）	・既存客の新規輸出案件が来月から始まる予定である。出荷量についても、現在の増加傾向が継続すると予想する。	
		通信業（企画・売上管理）	・東京オリンピック後に景気が良くなることを期待している。	
		通信業（総務担当）	・ワクチン接種が徐々に進んでいることから、若干の改善が見込まれる。	
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種の状況次第であるが、販促広告案件の受注数も徐々に増加すると予想する。	
		税理士事務所	・ワクチンが普及し、新型コロナウイルスの感染が終息に向かうと思う。	
		農林水産業（職員）	・今後も新型コロナウイルスの感染再拡大は継続するが、コロナ禍の生活が日常になりつつある。	
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・除菌用や掃除用のウェットクリーナーは、新型コロナウイルスの影響で需要が高いが、供給量も多いため売行きは変わらない。	
		化学工業（所長）	・第5波が収束し、ワクチン接種率が上がるまでは先が見えない。	
		電気機械器具製造業（経理）	・コロナ禍による特需が落ち着いてきている。	
		建設業（経営者）	・今後も新型コロナウイルスの影響により、経済活動は停滞することが予想されることから、景況は変わらないと思う。また、業種によって格差が広がると考えている。	
		輸送業（経営者）	・今後の状況が見通せない。	
		金融業（副支店長）	・ワクチン接種は進んでいるが、依然として新型コロナウイルス感染症の終息は見通せず、先行きの不透明感は払拭できていないことから、個人消費の増加等による景気回復はしばらく見込めないと考える。	
		建設業（経営者）	・ウッドショックや鋼材の高値が今後の景気に影響を及ぼすと思う。	
		輸送業（営業）	・ワクチン接種が進む一方で、新型コロナウイルスの新規感染者は増大傾向にあることを鑑みると、景気の先行きは極めて不透明である。東京オリンピックとパラリンピック終了後には国政選挙も控えていることから、早期の景気回復は期待できない。	
		x	-	-
	雇用 関連 (四国)		-	-
			求人情報誌（営業）	・前年と比較すると求人広告案件が少し増加傾向にある。業種に偏りはあるが、今後もこの傾向は続く見込みであり、景気はやや良くなると予想する。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り、求人数が増加すると考えている。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染が終息することを期待している。	
		職業安定所（求人開発）	・新規求職者数は減少傾向であるが、新規求人数はやや増加傾向にある。今後も充足率は増加すると予想する。	
		民間職業紹介機関（所長）	・ワクチン接種が進み、景気が回復すると思う。	
		学校〔大学〕（就職担当）	・ワクチン接種が順調に進むことにより、新型コロナウイルスの新規感染が落ち着き、景気が少しずつ回復すると思う。	
		人材派遣会社（営業）	・人流が増えることによる景気の回復を期待しているが、新型コロナウイルスの感染が急速に再拡大しており、東京オリンピックの開催を手放して喜べない状況である。	
		人材派遣会社（営業担当）	・コロナ禍で企業の動きが鈍化している。	
	-	-	-	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックの特需による求人は少なく、新型コロナウイルスの更なる感染再拡大に伴う景気悪化を懸念している。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		競馬場（職員）	・ワクチン接種が進むことで、更なる客の来場が見込まれる。
		商店街（代表者）	・現在、非常に厳しい状況が続いており、全体的にワクチン接種等対策が進み新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくれば、2～3か月先の景気は良くなると期待をしている。
		商店街（代表者）	・高齢者中心にワクチン接種の普及もあり、期待している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新規感染者数が、ある程度減少するとは考えられるが、ワクチン接種が若年層まで広がれば、行動範囲が自由になるため、高齢者の外出も多くなり、売上も伸びると予想している。
		百貨店（企画担当）	・ワクチン接種が広まり、外出への抵抗感が薄れ、消費マインドが少しずつ上昇すると予想している。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種状況次第では、客の行動が広域になり、旅行・行楽等で衣料品関連商材の売上が上昇するなど、売れる商品が変動してくると想定している。
		スーパー（経理担当）	・東京オリンピックによる内食需要の増加やワクチン接種による新規感染者数の減少で、経済活動の活発化に期待している。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種率が高まることによる人の動きに期待している。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種も進み、一時期と比べると消費者のマインドも良くなっているが、元の状況に戻るのにはもう少し時間が掛かる。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進むにつれ、客の出入りも多くなると予想している。スポーツイベントを中心に開催されれば、売上も上昇するものと考えられるが、今は新型コロナウイルスの感染者数減少だけを期待している。
		家電量販店（店員）	・来客数は80%が続いていたが、今月は前年のほぼ100%になっている。販売量は新型コロナウイルスの影響でリモート等が増加しているものの、パソコン等の需要は今年は少ない。一方、東京オリンピックの影響で、レコーダーやハードディスクがよく売れており、白物家電である冷蔵庫や洗濯機、エアコンディショナーは相変わらず売上が大きい。今後の売上は微増していくと予想している。
		家電量販店（従業員）	・暑くなり、エアコンディショナーの需要が増加する。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足が解消されれば期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・新商品が多く発売される時期になり、ワクチン普及や東京オリンピック開催等で流れが良くなると予想している。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型車が投入された。新型車効果を最大限に活用して販売台数を伸ばしていく。
	住関連専門店（従業員）	・秋冬に向け、直近3か月で単価の高い冬物寝具の売上が上がることが見込まれる。ここ1年間は新型コロナウイルス感染症の動向がどう影響するかみえていなかったが、業態として大きな影響を受けにくいことが分かっており、加えて、ワクチン接種が進んでいることから例年同様の推移を見せるのではないかと予想している。	
	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・ワクチン接種率の向上や、行政主導の買物券が発行されたりと消費者動向が上がる要素が多く、また、核店舗であるスーパーマーケットが大規模なリニューアルを控えており、少なくとも当施設では新規感染者数の増減にかかわらず、現状よりは良くなると見込んでいる。	
	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・ワクチン接種が進み、国内旅行等の回復に期待している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・県内需要は少しずつ増えているが、夏休みを利用した首都圏からの観光客や帰省客が見込めそうになく、これまでのようににぎわいにはならない。
		観光型ホテル（専務）	・今は団体客が全くないが、高齢者の団体客に期待している。
		旅行代理店（職員）	・自治体の旅行補助金キャンペーンが7月末よりスタートするため、若干良くなる。
		タクシー運転手	・再び新型コロナウイルスの感染者が急増し、先行き不透明で非常に不安であり、見通しが立たない。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン接種も進み、経済活動は段々と活発化する。
		観光名所（従業員）	・ワクチン接種の普及で、人の移動が広がり来客数が増加することに期待ができる。
		ゴルフ場（従業員）	・台風等の悪天候がない限り、今後も現在の傾向が続く。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・新型コロナウイルス変異株の増加に伴う感染拡大にもよるが、客の中心である高齢者のワクチン接種は進んでおり、高齢者の感染に伴う重症化率が減少していることから、来客数は上向くと想定している
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの感染が収束すれば、イベント等の再開ができ景気は上昇する。
		住宅販売会社（従業員）	・現行の住宅ローン控除3年延長の適用が注文住宅で9月末、分譲住宅で11月末までの契約要件があり、駆け込みの商談も増え、今後も継続される。
		商店街（代表者）	・商店街の通行量は増えたが、生鮮食料品目当ての購買者ばかりで買い回り客は少ない。コロナ禍での消費を控える生活に慣れ、購買意欲がない。
		商店街（代表者）	・テレビ等で現状を聞いていると、厳しい状況がまだまだ継続されることが分かる。それでもどうにか維持する気持ちがとても保っているのか、とても不安である。
		商店街（代表者）	・先行き不透明なため、見込みが読めない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況の収束と東京オリンピック開催の成功を期待している。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・新型コロナウイルス感染者数が増え続けている状況では、すぐに回復する見込みはなく、先行き不透明である。消費者の購買意欲は、ますます薄れており、我慢が必要な時期は当分続く。
		百貨店（企画担当）	・お中元商戦や初盆需要等は、前年実績を上回って推移しており、ネット通販は小さいながら伸長している。しかし、旅行需要が低調であるため、衣料品を中心に苦戦傾向は継続する見込みであり、大きな景気回復は望めない。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種状況等の予測が困難である。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種は進んだが、県内への夏休みの旅行や帰省への警戒感が強まり依然早急な回復は難しい。一方、店頭外のサテライトショップやギフトショップ、ネット受注は期待でき、店頭の自家需要商材や紳士雑貨、リビング用品、家電製品や嗜好性の高い舶来雑貨・時計美術工芸等は依然堅調であり、客単価、商品単価は維持している。慎重な行動と生活防衛は継続しており、物産催事の再開や県内外との往来の回復は見込めず、自家需要中心の来店と購買は継続する。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えつつあり、先行き不透明なため景気が良くなるとは考えられない。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、感染者数が増加していくと客は外出を控えるため悪くなっていく。しかし、最近の動きとしては、衣料品が好調な店舗があり、また、一部の店舗でレストラン等飲食関係の状況が良くなっており、全体的にも押し上げている。そのため、この先、悪い状況にはならないと予測している。
		百貨店（経営企画担当）	・東京オリンピック開催の影響を受け、客足が鈍化している。特に午後以降の入店が減少傾向となっている。東京オリンピック開催以前は週末の客足が回復基調にあったが、新型コロナウイルス感染者数の増加により、再び先行き不透明な状況である。
		百貨店（業務担当）	・これから端境期に入り、客の購買意欲は例年下がる。その上、この2年間は、人の動きやイベントもなくなり、需要に応じた買物が発生するとは考えにくい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・ワクチン接種で人流が活性化するのではないかと予想していたが、都市部中心に感染拡大傾向で、今後地方まで感染者数の増加が懸念される。そうなると更に人流は減少する。
		スーパー（総務担当）	・ワクチン接種が進んでいけば、新型コロナウイルス新規感染者数が減少し、客も以前のように回遊すると考えられるため、ディスカウント店を始め、し烈な価格競争にさらされることが想定される。
		スーパー（企画担当）	・都市部における新型コロナウイルス感染拡大の第5波が、どれだけ地方に影響を及ぼすかにもよるが、東京オリンピックが無観客開催になったものの、お盆を中心とした人の移動状況によっては大きく変わってくると予想しており、現状と大きく変わらない。
		コンビニ（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックが終わる頃には、感染者の急増で当県でも緊急事態宣言が発出される可能性が非常に高く、景気回復のめどは立たない。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進捗しているが、消費拡大の動きは当店ではみられないことから、当面は現状維持と考えられる。
		衣料品専門店（総務担当）	・今後は全て新型コロナウイルスの感染状況次第で、景気は良くも悪くもなる。ただ、現状では変化がないため、景気は変わらない。
		衣料品専門店（取締役）	・10月は、東京オリンピック終了後には新型コロナウイルス感染が拡大していることも否定できない。ワクチン接種も普及しているが、変異株の影響等は、10月に急に全てが良くなるとは考えられず、少しでも良くなることに期待はしたいが、変わらないと考えている。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス発生前との比較では、3割の来客数減少が続いており、今後は現状より大きく変化する要因がないため、この状況が続く。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないと景気が良くなる兆しもみえない。しばらくは、この傾向から抜け出せない。
		家電量販店（店員）	・東京オリンピックも8月で終わり、新型コロナウイルス感染症も収束をしていくと予測はしているが、家電の動きは、このまま9～11月と余り大きな変動がないと考えている。
		家電量販店（総務担当）	・コロナ禍の影響により、徐々に来客数が減少している。8～9月の閑散期に来客数の減少をばん回すのはかなり難しい。
		住関連専門店（経営者）	・東京オリンピックは開催され、景気回復の引き金になってもらいたい。新型コロナウイルスの感染が拡大しつつある。家具業界もウッドショックのおおりで値上がりが始まり、仕入れしづらくなっている。若者へのワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染症が終息に向かえば、景気も回復してくる。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・お盆は、進物関係の需要が引き続きある。店頭に来店する客は減少しているが、1人当たりの購入単価は増加しているため、売上は若干増加すると予想している。
		スナック（経営者）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されてもワクチン接種が完了するまでは、夜の外食需要は伸びないと考えている。現在、来店客は若年層が中心で、会社帰りのサラリーマンはほとんどみられない。新型コロナウイルスの感染が収束しても、客が戻るかどうか不安である。
		観光型ホテル（総務）	・7月下旬に新型コロナウイルスの感染拡大の第5波が深刻化しており、8月下旬まで飲食店の時短営業を求めたことでマイナス要因となっている。また、県の認証基準を満たした飲食店は、対策費用を支援される。コロナ禍次第ではあるが、10月は回復基調になると予想する。
		都市型ホテル（販売担当）	・秋ぐらいまでは余り動かない。
		タクシー運転手	・社会全体で新型コロナウイルスの感染を防止しようとしているが、結果がみえてこないために余り変わらない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で暖めていた、前年度からの事業予算の動きが活発化しているが、追加要素としての新型コロナウイルスや東京オリンピック・パラリンピック開催による特需は余り感じられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（統括者）	・客の来店予約は平準化し、店が混雑することが少なくなっている。また、販売台数見込みは、前々年並みで推移しており、携帯電話の新品発売等の需要を期待したい。
		通信会社（企画担当）	・根拠が不明瞭な需要増加が続いている。ここ数か月で事業環境が変化するイベントも想定されず、今の状態が続く。
		美容室（経営者）	・2～3か月後の景気は期待はしているが、現況からでは回復は難しいため、東京オリンピック閉幕後も客の動きは悪いと予想される。自粛期間が長いこと、おしゃれ感覚も悪くなっている。
		理容室（経営者）	・当地は人口が減少気味で、今後を見通せない難しい状態である。
		美容室（経営者）	・現況が非常に悪く、今以上に悪くなることはないため、このまま横ばいが続く。
		美容室（店長）	・今月は多少良くなっても、2～3か月先もこのまま継続されるとは考えられず、新型コロナウイルスに対して、恐怖心が拭い切れない客が多い。
		設計事務所（所長）	・ここ半年の仕事量は変わらず、2～3か月先の景気は、今月と変化はない。
		商店街（代表者）	・営業時短要請の発出があるため、夜の商売にはダメージが大きく、また、仕入れ関係も伸び悩むことになるため、大打撃となることが予想される。
		商店街（代表者）	・再び新型コロナウイルスの感染が拡大しており、加えて、東京オリンピックの開催でテレビ観戦が多くなり、来街者は一段と減少している。そのため、来客数も少なくなり、一層厳しい状況である。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・前年は産地も猛暑や台風でかなり被害を受けたために、野菜の高騰があったが、今年も災害を懸念している。加えて、当地でも新型コロナウイルスの感染者数がかかり増加しており、今後も緊急事態宣言等の対策があると考えられ、非常に厳しい状態になっていくと想定している。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・新型コロナウイルス感染者数の増加が危惧されるが、更に気になることは、魚の水揚げが少ないことである。海が熱くなり、魚が沖に逃げている夏枯れ状態になっており、漁獲量が非常に少なくなっている。魚価もそれなりに上がっており、商売としては厳しい状況である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数も急に増加し始め、夏休みもあり、動きが余りない。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響による景気低迷は、改善の兆しが無い。
		スーパー（統括者）	・まだまだコロナ禍と東京オリンピック需要もあり、内食中食需要は続くと思われるが、次の一手を見据えた販促、その他取組を合わせた戦術が鍵となるため、競合店の台頭を考えると容易でない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増減に応じて、客の行動変容がみられる。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・相変わらず、当地でも新型コロナウイルスの感染が広がっており、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対策で、来客数が伸び悩んでいる。この先が不透明のため、売上見込みは現状と変わらない。
		乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスによる影響が危惧される。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しており、緊急事態宣言が再度発出されると、来客数が減少していく。
		一般レストラン（スタッフ）	・東京オリンピックや夏休みも終わり、新型コロナウイルス感染が拡大し、再び自粛や消費の冷え込みが予想される。
		通信会社（業務担当）	・感染者数が再び増加傾向にあり、緊急事態宣言が発出されると売上に影響が出る。
		ゴルフ場（営業）	・東京オリンピック終了後、新型コロナウイルス感染が再び広がる可能性が大きく、ワクチン接種も遅延気味となっており、人の流れが停滞する可能性がある。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・新型コロナウイルスの影響で、客先の受注状況が振るわず、操業がかかり深刻化していることから、人員削減等の検討もされ、派遣事業への直接的な影響が懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（所長）	・再度の新型コロナウイルスの感染拡大で、業務が停滞すると予想される。また、業務実施においても材料費や人件費が上昇するが、その対価としての報酬は上がってこない。
		住宅販売会社（従業員）	・コロナ禍で東京オリンピックが開催されているが、東京オリンピック目当ての事業等のリターンはなくなる。今後、国の景気対策も打ち出されると考えられるが、一時的に景気は悪くなると予想している。
	×	一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルス感染拡大の第5波が差し迫っており、すぐにでも緊急事態宣言が発出されそうなため懸念している。
	×	コンビニ（店長）	・飲食業や卸業が限界に陥り、見通しが付かない。
	×	衣料品専門店（店長）	・夏物衣料品が、新型コロナウイルスの影響で、メーカーに輸入材料の入荷が遅れ、品数や売行きが少ない。秋物衣料品も生産が遅れている状態である。
	×	高級レストラン（経営者）	・東京オリンピックが開催されているが、新型コロナウイルス感染者も増加しており、都市によっては、緊急事態宣言の延長や発出、まん延防止等重点措置も出され、新型コロナウイルスの影響がまだまだ続きそうである。東京オリンピックやパラリンピック、衆議院選挙も近づき、飲食業にとっては、マイナスの事ばかりで、悲観している。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・東京オリンピックで、新型コロナウイルス感染者は増加しており、加えて、都市圏から地方への移動も多くみられ、感染者は更に増えると予測できる。
	×	タクシー運転手	・東京オリンピックの開催で、本来は盛り上がるべきであるが、コロナ禍の状況で開催すべきであったか疑問である。大会開催中での爆発的感染の状況は、感染に対する正確な対応ができていないと考えており、景気は上向かない。
企業 動向 関連 (九州)		電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先からの増産対応要請に対応するために、3か月以内に設備や人員増強が整う見込みである。
		食料品製造業（経営者）	・これから製造、販売共に増えていくことが予想される。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスは今が最も危険な状態であるため、今月の落ち込みがひどく、秋口には幾らか収束し、持ち直すのではないかと期待をしている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・半導体生産の動きに係ることを客から伝えられ、この2～3か月のうちに半導体の動きが良くなると予想している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・この先の引き合い見積りは、以前と比べて少しずつではあるが増えつつあり、若干景気は回復傾向である。しかし、単価が厳しく予断を許さない状況である。
		電気機械器具製造業（取締役）	・当社対象となる多くの事業で、売上見込みが上昇傾向になっている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連の取引先生産計画では、増産傾向にある。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・半導体や鋼材等の供給リスクは引き続きあるが、当初計画以上の生産台数が見込まれており繁忙が続く。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・供給の遅れで、増産維持は続く予想されるが、再び新型コロナウイルス感染者数が増えており、不安要素になっている。
		輸送業（総務担当）	・ワクチン接種率が高まれば、外出する機会も増え、自然と経済が回ると考えられる。それを期待してか在庫の量も多く、反動による経済回復を見込んでいるが、依然アパレル関係の厳しい状況は続いている。
		金融業（営業担当）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの新規感染者数が2～3か月減少傾向になれば、消費活動は活発化するため、飲食業を含めたサービス業の売上は、現状より改善すると予想している。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・8月も引き続き東京オリンピック、秋は衆議院選挙等材料が少しある。
		経営コンサルタント（社員）	・東京オリンピック以降ゆっくり回復していく。
		農林水産業（経営者）	・本来であれば、夏の需要に期待するところであるが、東京オリンピックや夏休み効果は期待できない。早期のワクチン接種と新規感染者数の減少で、新型コロナウイルス収束で10～11月には期待したいところである。
	農林水産業（従業者）	・夏場は産直が主力となり、北海道の出荷が始まる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家具製造業（従業員）	・大型案件や確実な案件情報は来期以降しかめどが立っており、まだまだ厳しい状況が予想される。また、新型コロナウイルス第5波の感染拡大の規模や沈静するタイミングにも大きく左右される。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・受注量等により判断すると、現状と変わらない。
		金属製品製造業（事業統括）	・半導体不足は、当社のような機械メーカーにも影響を与え始めており、現場の混乱が大きくなり始めている。したがって、今後受注が大きく改善する見通しが立たない。
		建設業（社員）	・技術者が余っている状況で、発注の増加を期待している。下請を多く実施する予定である。
		輸送業（従業員）	・消費者の考え方や消費の仕方を新型コロナウイルス発生以前と比較すると、変化していることもあり、景気が戻ることはない。
		輸送業（従業員）	・受注価格は低下しているが、受注量が伸びている。変わらず店舗向けより通販が中心であるが、定期購入よりセールやまとめ売りに需要が変化している。
		通信業（経理担当）	・ワクチン接種は進んでいるが、感染者数増加に対する歯止めが掛かっておらず、先行き不透明である。
		金融業（従業員）	・公共工事が高水準で推移しており、住宅販売は持ち直しの動きがみられる。一方、東京オリンピックが始まったとはいえ、新型コロナウイルスの影響により、飲食店やホテル、旅館及び旅行業等では厳しい状態が続いている。
		金融業（調査担当）	・ワクチン接種が進展していることもあり、商店街の人は徐々に回復しつつあるが、不要不急の外出を控える動きは根強く、大きな改善は期待できない。天候不順が続いたことにより、今後の農作物価格の上昇も懸念される。
		金融業（営業）	・景気は低い水準で維持される。ワクチン接種が行き渡り、感染状況が落ち着くまでは、消費は回復せず、年内の落ち込みは続く。
		金融業（調査担当）	・緊急事態宣言が再び発出された地域があるが、新型コロナウイルス新規感染者数は再び増加に転じている。また、ワクチン接種の普及も進んでいるが、ワクチン供給不足が露呈され、今後のワクチン接種の普及が懸念される。以上のことから、新型コロナウイルス感染者数の抑制には時間を要すると予想されるが、景気回復は不透明な状況である。
		不動産業（従業員）	・賃貸物件の入居率が横ばいに推移している。
		広告代理店（従業員）	・景気回復に向け企業の前向きな投資が出るまで、しばらく時間が掛かる。
		広告代理店（役員）	・新型コロナウイルスによる悪影響が一息ついたと思っていたが、東京に比べて客サイドが、失われた期間をリカバーしようとする意志が弱いを感じる。
		経営コンサルタント（社員）	・今後の景気に変化の兆しがみえない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数及び問合せ件数に変化がない。
		その他サービス業[物産リース]（職員）	・新型コロナウイルス感染者数は、徐々に拡大方向に動いており、東京オリンピック閉幕後再び緊急事態宣言等が発出となる可能性もあり、景気に変動はない。
	×	繊維工業（営業担当）	・この時期の最低賃金の上昇は、必ず失業者が増えていくことにつながり、残業が出ないように取り組みたい。
	×	その他サービス業[コンサルタント]（代表取締役）	・市町村の6月の補正予算では、通常、当該市町村の行政計画に関する調査等の委託業務が追加で予算措置されているが、今回は、ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染対策に予算配分が行われており、委託業務への予算措置が少ない状況にある。そのため、今後、受注できる業務があるかどうか不透明である。
雇用関連		職業安定所（職員）	・新規求人数は増加傾向にあり、雇用調整助成金の相談件数は減少傾向となっており、更なる雇用情勢の改善が見込まれる。
(九州)		人材派遣会社（社員）	・求人の動きは、前々年に迫る様子で、回復傾向となっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社（編集者）	・再び新型コロナウイルスの感染拡大で、8月1日より時短営業の要請が出され、地場経済に水を差すことになる。各社、夏休み需要の取り込みが厳しくなると予測され、大きな期待はできない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響により、新しい生活様式が定着し始めると、消費もまた新しい形で増えてくる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響を受けていない企業からは、継続的に注文は入っている。しかし、ワクチン接種をする人が増えてはいるが、今後の感染者数の状況は不透明であるため、まだ慎重な企業が多い。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスに関する業務の派遣以外は厳しい状況が続いており、終了者に対しても次の案件がスムーズに案内できない状況が続いている。派遣スタッフでもダブルワーク等が増えている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増減次第で、キャンセルもすぐに出るため、先行き不透明で何とも予想が付かない。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・2～3か月後はワクチン接種が高齢者以外にも普及し、景気回復に期待したいが、周辺企業の動きは余り感じられない。Go To Travelキャンペーンも全国可能であったが、同一県内のみ補助が出るというのが現在の主流であり、旅行業界からの広告出稿も、以前ほどの勢いはない。新型コロナウイルスの感染者数は増えつつあり、短期的には再度の緊急事態宣言もあり得るが、緊急事態宣言慣れもあり、ワクチン接種普及状況をもて、景気は変わらないと推測する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・人出が増えれば新型コロナウイルスの感染者数も増え、まん延防止等重点措置や時短営業要請等が再発出されるという繰り返しになっている。この状況は、もうしばらく続くと想定され、景気も上げ下げにならざるを得ないと考える。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、前月は求人数が大きく伸びていたところ、現在は鈍化している。しばらく大きな伸びが期待できないと考えている。
		民間職業紹介機関（職員）	・採用環境の本格的な好転のためには、多人数を採用するサービス業の経済活動が活発にならないと難しい。現在、ワクチン接種が進んでいるものの、短期の復活は厳しいと考える。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・ワクチン接種のめどがついてきたことは明るい話題であるが、その一方で、緊急事態宣言発出及びまん延防止等重点措置が解除となった地域では、予想より早く感染者数が増加し、首都圏では過去最高の新規感染者数が発生するなど新型コロナウイルスの影響が続いている。変異株の感染力を危惧する声もあり、企業が業績の低迷から抜け出すには、まだ一定の時間が掛かると推測される。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況に求人数が間接的に影響を受けている。現在、都市圏を中心に感染拡大している状況であり、夏の旅行者数の減少により、観光に影響が出ていることが懸念される。
	×	職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の特例延長期限にもよるが、新型コロナウイルスの影響で、企業活動を抑制せざるを得ない状況が業種によっては長期化しており、体力が続かないことが懸念される。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		家電量販店（総務担当）	・ワクチン接種が進めば、欧米のように爆発的な消費回復が期待される。
		コンビニ（副店長）	・1回目のワクチン接種者も周りに増え、人流が今後活性化することに期待する。
		観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの7月の販売室数は、東京と沖縄の緊急事態宣言の影響もあり前年比49%減なのに対し、7月末時点での10月の予約室数は前年比9%減で、マイナス幅が小さくなっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（役員）	・ワクチン接種効果の期待もあり、現状が芳しくないことも考慮し、景気は上向くとみられる。
		一般小売店〔酒〕（店長）	・東京オリンピックで人流も増えて、新型コロナウイルスもまん延している。それでも国民は関係なく、外を出歩いている。人流を止めない限り新型コロナウイルス感染者は増える。経済も円滑に行かない。
		百貨店（店舗企画）	・緊急事態宣言中であるにもかかわらず、新型コロナウイルス新規感染者数が減らないこともあり、イベントや物産展の大々的告知を控えざるを得ない状況である。
		スーパー（販売企画）	・ワクチン接種が進めば景気は良くなるとみられるが、現状は余り進んでいないようである。また緊急事態宣言が8月未だまで再々延長となっている。感染状況が緊急事態宣言発出前に戻るためには11月頃まで掛かる話もある。そのような状況であれば、景気は変わらないか、悪くなると予想される。
		コンビニ（代表者）	・全国的に新型コロナウイルス新規感染者数に落ち着きが見られず、景気はまだ回復していかない。ワクチン接種のスピードにより左右されると考える。
		衣料品専門店（経営者）	・今月も緊急事態宣言の影響が、購買意欲の減少もあるとみられ、客が少ない状態である。セール時期である今月でも、売上の増加にはつながっていない。景気は悪い状態のままである。
		衣料品専門店（経営者）	・変わらないと答えたのは、先が読めないからである。県内の新型コロナウイルス新規感染者数が連日300人以上となってしまえば、そう簡単には景気も戻らないとみている。
		乗用車販売店（経理担当）	・一般向けの販売は悪くないが、長引く緊急事態宣言でレンタカー会社は新車を導入しづらい状況である。
		旅行代理店（マネージャー）	・新型コロナウイルス感染の収まる手立てが、効くかどうか分からないワクチン頼みで、このような状態でどうやって景気が良くなるのかが分からない。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・受注状況は2019年比50%前後が続いており、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか見当も付かず非常に不安である。観光業を回復させる旅行需要喚起のため、Go To Travelキャンペーン以外の即効性がある政策が必要である。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築請負契約の減少傾向がみられ、この先に不安が残る。同業他社からも同様の声がある。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数や緊急事態宣言の延長にもよるが、しばらくは不安定な状況が継続するものとみられる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り景気が上向くことは考えにくい。感染者数も増えて緊急事態宣言も延長されるので、外出も控えるようになり客足に影響が出てくるとみられる。
		観光名所（職員）	・修学旅行などのキャンセルが増えてきている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染が拡大中のため、各店舗で来客が減り大変苦慮している。新型コロナウイルスの流行が終わらない限りは厳しいとみている。東京オリンピックの影響もあるかなと考えている。
	×	コンビニ（店長）	・7月単月で見ると良くなっているように見えるが、県内新型コロナウイルスの感染爆発によりこれから数か月の景気悪化が予想される。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・コロナ疲れが、緊急事態宣言のなかで感染者数はどんどん膨れ上がっており、飲食店はいつになったら、通常営業ができるのか、先のみえない戦いで疲弊して閉店廃業が目の前に迫っている。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・8月22日までの緊急事態宣言が8月31日まで延長された。これは10月までの予約に影響してくる。飲食部門も同様に低迷が続いている。
企業動向関連		食料品製造業（役員）	・東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染者数急増が懸念されるが、ワクチン接種の増加や、緊急事態宣言解除後の経済活動の回復に期待感がある。
		*	*

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(沖縄)		輸送業(代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルスの感染拡大で戦々恐々としているが、民需部門では大型ホテル等で回復しつつある。官需部門においては、宮古島は大型工事が終わり落ち込んでいるが、石垣島は陸上自衛隊関連の工事が進行中である。新規参入船の影響で、供給過多が定着しているため、燃料費高騰の転嫁が難しく苦慮している。
		広告代理店(営業担当)	・県内企業の販促活動は、業種によって多少のばらつきはあるものの、全体的には引き続きコロナ禍の影響下で消極的な状況が続くものとみている。
		窯業土石業(取締役)	・新型コロナウイルス感染が再拡大しており、影響は当面続くともみられ、民間工事が減少する懸念がある。
	×	建設業(経営者)	・見込み度の高い新規の客の相談件数が、パタッと止まっている。
	×	輸送業(経営企画室)	・例年であれば7～9月の繁忙期は物量が1.5倍ほどに増加する傾向にあるが、今年は特に増加の傾向がなく、平均を維持している。店舗の閉店等も予定が多々あるため、下降していく傾向にあると考えている。
雇用 関連		-	-
(沖縄)		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染状況により変動が予想されるが、観光についてはワクチン接種が進めば回復するのではという見立ての事業者の声がある。
		求人情報誌製作会社(営業)	・緊急事態宣言の影響が大きく、解除後の企業経済活動の再開がなければ求人需要も予測が付かない。ただし現状の求人数と比較し、短期間での急激な増減は考えにくく一定数を保ちながら、長期的に時間を掛けて緩やかな増加傾向には向かうと予測している。
		学校[大学](就職支援担当)	・企業側は新型コロナウイルスの影響をどのぐらい受けるのか様子見がありそうである。
		学校[専門学校](就職担当)	・新卒採用は今後落ち着いてくるとみられるが、10月からの早期出社に向け新たな求人が来ることが見込まれるため、現状維持ではないかとみている。
	×	求人情報誌製作会社(営業担当)	・新型コロナウイルス新規感染者数が増えて外出控えが増加し、求人数減少が予想される。